

令和 3 年度実施分  
協働事業・市民活動助成事業 報告書

～目次～			協働事業	市民活動助成事業	
ページ	事業名	団体名、事業担当課名		スタート助成	ステップアップ
p1	全ての命を大切にして、人との繋がりを考え、環境から優しい街づくりをする猫相談会事業	松戸地域猫スタートサポート			○
p9	料理教室を通じた父親の意識改革事業	MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel メゾンイザラおやつラボ*テ ナチュレル 男女共同参画課	○		
p17	発達障がい・不登校の親の会事業	発達障がい児の子育て会 あんだんて		○	
p25	働くおとなのホッとできる居場所づくり事業	まちなす・Labo/Friends		○	
p31	「まつどの介護」プロモーション事業	特定非営利活動法人 SmileResource 介護保険課	○		
p39	食のセーフティーネットづくり、生活困窮者と食品ロスの問題解消事業	まつどフードバンク		○	
p53	[生きづらさ・ひきこもり]からだとこころに栄養をあたえる場づくり事業	生きづらわーほりプロジェクト		○	
p59	いきいき体操事業	特定非営利活動法人 アイギス		○	
p65	松戸のイメージ向上のためのコミュニケーション事業	まつどのこもりかた。編集部 広報広聴課 シティプロモーション担当室	○		
p73	松戸市町会PR動画制作事業	できる街プロジェクト		○	
p79	松戸市ご当地アニメ制作事業	超普通スタジオ		○	
p85	冒険山開放に伴う見守り事業	冒険山開放委員会		○	
p91	坂川水系自然環境向上事業	坂川の花桃を愛する会		○	

p97	プレママ教室事業	ぶぶぶママ大学			○
p107	親子で安心、子ども達が楽しく育つ居場所づくり事業	なないろのもり			○
p115	松戸市民向けSDGs普及啓発事業	まつど地域活躍塾つながりの会		○	
p127	居場所提供と家出女性保護事業	NPO法人仮り暮らし		○	
p133	みんなで育て、みんなでつくる 沿道での食べられる景観事業	エディブルウェイプロジェクトチーム		○	
p141	各世代の交流を深め、地域の輪を広げる地域活性化事業	北小金ドリームプロジェクト		○	
p147	地域横断型まちづくりバーベキュー事業	竹ヶ花昭成会		○	

令和3年度実施分 市民活動助成事業・協働事業一覧

●協働事業

No.	区分	事業名・団体名・担当課	予算額		決算額		ページ
			総事業費	負担金申請額	総事業費	負担金確定額	
1	新規	「まつどの介護」プロモーション事業 特定非営利活動法人 SmileResource 介護保険課	¥398,000	¥358,200	¥260,053	¥234,047	31
2	新規	料理教室を通じた父親の意識改革事業 MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel メゾン イザラおやつラボ*テ ナチュラル 男女共同参画課	¥432,520	¥371,268	¥325,432	¥272,557	9
3	新規	松戸のイメージ向上のためのコミュニケーション事業 まつどのこもりかた。編集部 広報広聴課 シティプロモーション担当室	¥580,020	¥500,000	¥244,549	¥195,794	65

■スタート助成

No.	区分	事業名・団体名	予算額		決算額		ページ
			総事業費	助成金申請額	総事業費	助成金確定額	
1	2年目	みんなで育て、みんなでつくる 沿道での食べられる景観事業 エディブルウェイプロジェクトチーム	¥142,000	¥100,000	¥119,474	¥100,000	133
2	2年目	居場所提供と家出女性保護事業 NPO法人仮り暮らし	¥1,661,000	¥100,000	¥462,578	¥100,000	127
3	2年目	冒険山開放に伴う見守り事業 冒険山開放委員会	¥205,960	¥100,000	¥142,030	¥100,000	85
4	新規	発達障がい・不登校の親の会事業 発達障がい児の子育て会 あんだんて	¥142,030	¥100,000	¥133,201	¥93,101	17
5	2年目	働くおとなのホッとできる居場所づくり事業 まちなす・Labo/Friends	¥198,800	¥100,000	¥77,118	¥67,293	25
6	新規	食のセーフティーネットづくり、生活困窮者と食品ロスの問題解 消事業 まつどフードバンク	¥155,000	¥100,000	¥143,510	¥100,000	39
7	2年目	[生きづらさ・ひきこもり]からだどころに栄養をあたえる場づく り事業 生きづらわーほりプロジェクト	¥139,290	¥100,000	¥129,497	¥85,947	53
8	2年目	各世代の交流を深め、地域の輪を広げる地域活性化事業 北小金ドリームプロジェクト	¥341,000	¥100,000	¥53,534	¥47,982	141

■スタート助成

No.	区分	事業名・団体名	予算額		決算額		ページ
			総事業費	助成金申請額	総事業費	助成金確定額	
9	2年目	坂川水系自然環境向上事業 坂川の花桃を愛する会	¥169,200	¥100,000	¥111,276	¥91,449	91
10	新規	松戸市民向けSDGs普及啓発事業 まつど地域活躍塾つながりの会	¥146,960	¥100,000	¥103,593	¥85,700	115
11	新規	松戸市町会PR動画制作事業 できる街プロジェクト	¥183,000	¥100,000	¥202,057	¥100,000	73
12	新規	地域横断型まちづくりバーベキュー事業 竹ヶ花昭成会	¥179,000	¥99,000	¥0	¥0	147
13	新規	松戸市ご当地アニメ制作事業 超普通スタジオ	¥233,000	¥100,000	¥213,425	¥100,000	79
14	新規	いきいき体操事業 特定非営利活動法人 アイギス	¥182,000	¥100,000	¥154,537	¥94,995	59

■ステップアップ助成

No.	区分	事業名・団体名	予算額		決算額		ページ
			総事業費	助成金申請額	総事業費	助成金確定額	
1	新規	全ての命を大切に、人との繋がりを考え、環境から優しい街づくりをする猫相談会事業 松戸地域猫スタートサポート	¥434,100	¥300,000	¥521,498	¥196,096	1
2	新規	プレママ教室事業 ぶぶぶママ大学	¥379,440	¥300,000	¥325,387	¥290,518	97
3	新規	親子で安心、子ども達が楽しく育つ居場所づくり事業 なないろのもり	¥498,000	¥300,000	¥414,052	¥300,000	107



全ての命を大切にして、人との繋がりを考え、  
環境から優しい街づくりをする猫相談会事業

松戸地域猫スタートサポート

## 活動状況報告書

1 事業名称 全ての命を大切に、人との繋がりを考え、環境から優しい街づくりをする猫相談会事業

2 実施主体

■団体名： 松戸地域猫スタートサポート

従事者数： 5名

団体概要： 市民を対象に、地域猫活動の普及の為に地域でのセミナー相談会を開催し、屋外猫調査等を参考に参加者へ捕獲機の合法的な使い方と基礎から指導し、環境教育、地域猫活動をはじめとした環境保護の普及啓発に関する事業を行い、地域の生活環境と自然環境の改善に努める事で人と調和がとれた環境社会づくりに寄与する事を目的とする。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

I 地域相談会の実施 参加者合計70名

日付	開催場所、参加人数
2021年4月24日	二十世紀が丘市民センター 開催 参加人数6人
5月26日	東部スポーツパーク 開催 参加人数5人
6月7日	串崎新田町会 町会会館 5人
6月30日	古ヶ崎市民センター 開催 参加人数4人
7月21日	六実市民センター 開催 参加人数3人
8月18日	明市民センター 開催 参加人数5人
9月29日	馬橋東市民センター 開催 参加人数5人(5期活躍塾生1人含む)
10月10日	松飛台市民センター 開催 参加人数4人
10月27日	八ヶ崎市民センター 開催 参加人数4人
10月31日	明市民センター 開催 参加人数2人
11月24日	勤労会館 開催 参加人数6人
12月15日	小金市民センター 開催 参加人数3人
2022年1月26日	松戸市民活動サポートセンター 開催 参加人数4人
2月23日	常盤平市民センター 開催 参加人数5人
3月30日	新松戸市民センター 開催 参加人数9人
2021年4月～ 2022年3月	電話相談(猫) 182件(増えている・助きたい・譲渡会など) 電話相談(犬) 34件(犬も考えて欲しい・譲渡会について)



	電話相談（その他） 26件（新型コロナワクチン接種・人間関係・子育て他）
--	--------------------------------------

## II 各地域包括支援センター協力地域猫相談会の開催について

2021年4月	地域包括支援センター15か所に通知
5月～6月	地域包括支援センター 事業所訪問、ご説明
7月	六実六高台と本庁と馬橋と明第二西に周知チラシを50枚程置く
8月	上記の4か所の地域包括支援センター付近の住民に周知の為ポスティング（1000枚～1500枚程）
2022年3月	地域包括支援センター2ヶ所について開催にむけて協力していただくことになり、来年度の開催に向けて話し合いを開始（先ずは第一段階程度）

## III 毎月定期的に作業

日付	作業内容
毎月10日	チラシの企画及び作成
毎月15日	チラシの印刷（印刷機）
毎月16日	ポスティング
毎月第4水曜日	市民センター開催・翌月の開催について事業企画打ち合わせ
随時	チラシのポスティング・PR活動
9月1日	チラシの企画及び作成
9月24日	チラシA4両面カラー印刷注文
9月27日	A4両面カラーチラシポスティング
10月22日	チラシ折り込み委託

### (2) 事業内容のふりかえり

相談会・DVD講義鑑賞などは昨年度と同様に月一度の開催は実現しましたが、包括支援センターとの共同開催は難しく、話を持ち掛けたときは高齢者と猫の問題で困っていたので賛同を得られましたが、その場で猫問題を解決して差し上げるとその後は、地域包括支援センターは猫問題以外にも多くの問題を抱えているため、協力を得ることが困難でした。高齢者の抱える問題としては、猫の事は後回しになってしまいますが、少しでも地域包括支援センターのお忙しい部分を少なくしていただきたいとも思い提案しお手伝いできれば良いと考え、前もって理解していれば高齢者が世話をされているペットに対して、世話ができなくなった時の予防策にもなり、何かあってから大変困るより先に知識をつけておく必要性を改めてお伝えしました。

事業計画では、地域包括支援センターの協力を得て、地域づくりフォーラム等のイベント実施を掲げたものの、現実には協力を得ることが難しく、今年度中の開催はできませんでした。しかし、地域包括支援センターから全くの協力を得られなかったわけではなく、高齢の方がこの先どのように動物と暮らしていけばよいのか不安な方に対しての周知としてチラシを置くなどさせていただきました。

2022年3月に入り、飼い主が世話できなくなる前の予防策の必要性を理解して下さった3か所の地域包括支援センターとは来年度の開催に向けて話を進めることができましたので、来年度になってしまいますが、開催に向けて取り組んでまいります。

外部経験者の相談会参加依頼については新型コロナウイルスが落ち着いてからと考え、緊急事態宣言や新型コロナウイルス蔓延防止等重点措置の期間が重なり、依頼は控えました。

#### 4 事業成果について

##### ・目標の達成と課題の解決について

① 市民センターでの相談会1回の参加人数10名以上ですが、結果は14回の開催で平均4.6人でした。高齢の方が多く、参加される日までは待てずに電話で解決されたいという方が今年も多かったです、年々増えています。今後は状況から判断して緊急性が無ければ会場に足を運んで頂きたいとお伝えしようと考えています。電話相談の中で、高齢者の方と地域包括支援センターに(認知の方や御家族でお困り事がある方など)3名(3家族)ほどですがつなぐことができ、そのご家族の家庭環境も安心できたので、今後もこのような事は連携しながら進めていきたいと思えます。

② 地域包括支援センターとの相談会1回の参加人数15名以上ですが、結果は各地域包括支援センターに猫問題の重要性等をうまくお伝え出来ず、調整できなかったため、実施できませんでした。しかし年度末になってしまいましたが、3か所から来年度に実施したい、そして実行していただければいいような詳しいお話も頂きました、皆様のお気持ちの変わらないうちに、令和4年度には実施できるように進めていきたいと思えます。

③ アンケートで「地域猫活動を理解した」を80%以上の目標の結果は、電話相談と市民センターでの相談会と2つで行いました、会場でのアンケートは予め作成してあるアンケート用紙に記入頂き、電話ではアンケート用紙の内容を読み上げて答えてもらいました。理解できた方が99.5%の結果となり、0.5%は相談者様の家庭環境により実行出来なかった方でした。

参加された方への屋外猫を合法的捕獲する方法と不妊手術の悩み相談、多々ある疑問や不安などの精神的な問題も含めて活動をより長く続けていく為に対しての解消は、今回も事業は成功して99.9%となり、多くの方が前向きな意見をされてとても意義のある活動でした。

私達の団体の目標でもあった町会単位での周知ですが、実際に町会役員さんなどのご参加もあり、電話連絡もあり、熱心な町会では会館に呼んでくださり、相談会を実施できました。時間をかけて深くお伝え出来た事もあり、少しずつですが市民の皆様に伝わって来ている事が開催側として少しですが精神的にも安心になり、活力の源泉にして頑張りたいと思います。

実際に高齢の方からの電話相談がほとんどなので、それだけ問題はあると思います。高齢者の飼っている猫をはじめ動物のトラブルになる飼い方や今後のペットが何かあったとき、その時になってから困り果てるよりは多くの方に先に意識や行動等動物との暮らしの予防策や前知識を身につけられるよう活動協力を来年度も地域包括支援センターに働きかけていきたいです。

## 5 今後の事業展開

命あるものを相手にする問題は直ぐに解決をしたいと多くの皆様が当然考えて相談会の開催日まで待ってられない状況の方は相談会に参加する前に電話での相談をされます、もちろん季節やご時世により変動があるとは思いますがそれは年々とても即座に解決されたいと行動される方が増えてきています、それだけ市民の皆様の意識が変わってきて、今までは心で思うだけで終わっていた人の心が、どうしたら一つの命を小さな命を救えるには何をすれば良いかと考えて行動される方が増えてきている事だと感じました。松戸市内には動物の命の大切さを知っている市民はもっと沢山いらっしゃいます、現に広報まつどを見た、松戸地域猫スタートサポートのチラシを見て知ったという方が必ず『このような活動をされている方々がいるのね、知らなかった、これは嬉しい』と言ってくれます。とにかくもっともっと多くの皆様に、まだまだこの活動を知らない方にきちんと届くように周知活動に力を入れていきたいと考えています。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 134,100	¥ 325,402	¥ ▲191,302	対象事業費の一部を団体会員より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 134,100	¥ 325,402	¥ ▲191,302	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 196,096	¥ 103,904	
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 434,100	¥ 521,498	¥ ▲87,398	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 53,700	¥ 3,160	¥ 50,540	二十世紀が丘市民センター1120円 六美市民センター 920円 明市民センター 1120円
	報償費	¥ 15,000	¥ 0	¥ 15,000	緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の時期と重なり中止で使用
	印刷製本費	¥ 100,000	¥ 103,097	¥ ▲3,097	チラシ A4両面カラー印刷25000枚 39,841円 チラシ A4両面カラー印刷40000枚 63,256円
	消耗品費	¥ 18,000	¥ 17,828	¥ 172	プリンターインク6色セット@1 7,160円 コピー用紙(ライトグリーン)5000枚 5,119円 コピー用紙(ピンク)5000枚 5,149円 他
	食糧費	¥ 41,400	¥ 10,400	¥ 31,000	参加者用お茶代 (ペットボトル飲料80本)
	通信運搬費	¥ 24,000	¥ 9,400	¥ 14,600	定形郵便 (10円*58枚/84円*105枚)
	委託料	¥ 74,000	¥ 74,000	¥ 0	チラシ配布委託 (24916枚分)
	保険料	¥ 27,000	¥ 0	¥ 27,000	包括支援センターとの開催が実行できなかった為、不使用
		対象経費の合計(D)	¥ 353,100	¥ 217,885	¥ 135,215
(その他経費)	食糧費	¥ 40,500	¥ 13,000	¥ 27,500	500*13回*2人
	交通費	¥ 40,500	¥ 7,800	¥ 32,700	300*13回*2人
	印刷製本費	¥ 0	¥ 118,605	¥ ▲118,605	チラシ A4両面カラー印刷27000枚 41,292円 チラシ A4両面カラー印刷 2000枚 5,000円 パンフレットA4両面カラー印刷21000枚 71,553円 コピー代 760円
	使用料及び賃借料	¥ 0	¥ 3,120	¥ ▲3,120	10月10日松飛台・10月27日ハケ崎・10月31日明市民センター
	委託料	¥ 0	¥ 140,610	¥ ▲140,610	新聞折込38084枚分
	消耗品費	¥ 0	¥ 20,478	¥ ▲20,478	コピー用紙5000枚・ボールペン10本、ボイスレコーダー代
		その他経費の合計額 (E)	¥ 81,000	¥ 303,613	¥ ▲222,613
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 434,100	¥ 521,498	¥ ▲87,398	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 103,904
-----	-----------

## 収支内訳書

### 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 325,402	対象事業費の一部を団体会員より拠出
	自己資金の合計額	¥ 325,402	
市	市民活動助成金	¥ 196,096	
合計額		¥ 521,498	

### 【支出】

科目	金額	内訳・説明事項（用途など）	
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 3,160 4月24日 二十世紀が丘市民センター 会議室@270×4時間 持込器具代@10×4時間 1,120円 7月21日 六実市民センター 会議室@220×4時間 持込器具代@10×4時間 920円 8月18日 明市民センター 会議室@270×4時間 持込器具代@10×4時間 1,120円	
	印刷製本費	¥ 103,097 広報資料印刷代 A4両面カラーチラシ @1.59364×25000枚 39,841円 A4両面カラーチラシ @1.5814×40000枚 63,256円	
	消耗品費	¥ 17,828 プリンターインク6色セット@1 7,160円 A4色付きコピー用紙（ライトグリーン）@1.0268円×5000枚 5,119円 A4色付きコピー用紙（ピンク）@1.0298円×5000枚 5,149円 他	
	食糧費	¥ 10,400 参加者お茶代 ペットボトル飲料 @130円×80本	
	通信運搬費	¥ 9,400 周知チラシ郵送用 切手10円×58枚・切手84円×105枚	
	委託料	¥ 74,000 周知用チラシ配布委託 地域新聞 @2.97円×24916枚	
	対象経費の合計	¥ 217,885	
その他経費	食糧費	¥ 13,000 飲食費（上限1人500円） 500円×2人×13回	
	交通費	¥ 7,800 交通費（上限1人300円） 300円×2人×13回	
	印刷製本費	¥ 118,605 広報資料印刷代 A4両面カラーチラシ @1.52933333×27000枚 41,292円 A4両面カラーチラシ @2.5×2000枚 5,000円 A4両面カラーパンフレット @3.4072×21000枚 71,553円 コピー代@10円×76枚760円	
	使用料及び賃借料	¥ 3,120 10月10日松飛台市民センター 会議室@220×4時間 持込器具代@10×4時間 920円 10月27日八ヶ崎市民センター 会議室@270×4時間 持込器具代@10×4時間 1,120円 10月31日 明市民センター 会議室@270×4時間 1,080円	
	委託料	¥ 140,610 周知用チラシ配布委託 読売新聞折込@4.07円×25000枚・地域新聞@2.97×13084枚(38,860円)	
	消耗品費	¥ 20,478 A3コピー用紙@2.0516×5000枚10,258円・ボールペン10本220円・ボイスレコーダー1台10,000円	
	その他経費の合計	¥ 303,613	
合計額	¥ 521,498		



料理教室を通じた父親の意識改革事業

MAISON IZARRA Oyatsu labo \* T naturel  
メゾンイザラおやつラボ\*テ ナチュレル

男女共同参画課

# 活動状況報告書

1 事業名称 料理教室を通じた父親の意識改革事業

2 実施主体

■団体名： MAISON IZARRA Oyatsu labo \* T naturel  
メゾン イザラおやつラボ\*テ ナチュレル

従事者数： 6名

団体概要：2018年11月より、料理教室を通して、ものづくりの楽しさ、食の大切さを伝える活動をしています。

■事業担当課： 男女共同参画課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

- ・調理イベント（2.5時間）＋ワークショップ（30分）のプログラム組み立て
- ・レシピの作成や試作、材料の選定・調達、広報用チラシ・ポスター作成
- ・イベント当日は、調理レクチャーとサポート

■担当課の役割

- ・ワークショップ講師の選定・依頼
- ・広報まつど、市ホームページでの周知、市内施設へのチラシの配布
- ・イベント当日の司会進行

4 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

- ①講座企画打ち合わせ
  - ②チラシの企画及び作成、チラシの印刷・市の広報掲載依頼
  - ③チラシのPR活動
  - ④講座準備レシピ作成・試作
  - ⑤講座開催
- ①～⑤の内容を下記の日程で実施しました。

日付	作業内容
4月18日	講座企画打ち合わせ



4月26日	チラシの企画及び作成
4月27日	チラシの印刷
	市の広報掲載依頼（5月15日号）
～5月15日	チラシのPR活動
5月30日	講座準備（レシピ作成）市民会館料理教室
6月13日	講座準備（試作）市民会館料理教室
6月20日	第1回講座開催 市民会館料理教室 講師横沼氏参加者 20人
6月30日	講座企画打ち合わせ
7月1日	チラシの企画及び作成
7月2日	チラシの印刷
	市の広報掲載依頼（7月15日号）
～7月15日	チラシのPR活動
8月3日	講座準備（レシピ作成）
8月13日	講座準備（試作）
10月31日	第2回講座開催 市民会館料理教室 講師横沼氏参加者 20人
11月1日	講座企画打ち合わせ
11月2日	チラシの企画及び作成
11月7日	チラシの印刷
	市の広報掲載依頼（12月1日号）
～12月1日	チラシのPR活動
12月11日	講座準備（レシピ作成）市民活動サポートセンター調理室
12月19日	講座準備（試作）市民活動サポートセンター調理室
12月25日	講座準備（第4回分レシピ作成）市民活動サポートセンター調理室
12月26日	第3回講座開催 市民会館料理教室 講師横沼氏参加者 19人
1月18日	講座企画打ち合わせ
1月26日	チラシの企画及び作成
	市の広報掲載依頼（2月1日号）
～2月1日	チラシのPR活動

2月12日	講座準備（試作）市民会館料理教室
2月26日	第4回講座開催 市民会館料理教室 講師横沼氏参加者 21人

(2) 事業内容のふりかえり

<p>・計画した事業内容を全て行いました。</p> <p>・スケジュールは、感染症対策の影響により、第1回の4月開催予定を6月開催に変更しました。また、第2回8月開催分が延期になり、10月に延期分開催とし、第3回を12月、第4回を2月に開催し、計画通り4回行いました。</p> <p>・料理イベントを市内2つの場所で各2回、合計年4回開催予定でしたが、感染症対策の影響により、4回ともソーシャルディスタンスが確保可能な市民会館で開催しました。</p> <p>予算の主な変更点</p> <p>・ワークショップで備品（プロジェクター等）を使用することになった。→会場使用料増</p> <p>・予定していた印刷社より低価格な業者に発注。第4回講座のチラシは期日が短かった為（また、3回開催してきたところ全て即日満員になったので、ちらしの印刷代を節約するため）外注せず、自前で印刷。→印刷製本費減</p>
--

5 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

<p>・4回開催とも定員を超える申込があり、関心を持っていただきました。</p> <p>各回10組20～25名の参加者目標については、当日のキャンセルは想定内とし、ほぼ達成しました。目標：参加人数 全4回で40組80名 結果：33組 80名</p> <p>・ワークショップでは家庭での父親の役割についての意見交換を通して、男女は対等なパートナーであることの理解促進をし、アンケート結果により、家事・育児に関する考え方の変化がみられました。</p> <p>アンケート結果：</p> <p>イベントに参加されて子育てや家事についての考え方に変化はありましたか。</p> <p>（いくつでも○）</p> <p>①家事・育児に積極的に参加したいと思った 13名</p> <p>②父親の役割について考えるきっかけになった 17名</p> <p>③父親の交流に興味をもった 5名</p> <p>④特にない（変わらない） 5名</p> <p>イベントについて、ご感想やご意見</p> <p>・貴重な機会を提供いただき感謝しています。</p>
---

- ・時間が短く感じました。楽しかったです。
- ・非常に楽しく子どもと参加できました。
- ・子どもとワクワクを共有できて満足です。
- ・普段行わないお菓子づくりを体験出来有意義な時間でした。
- ・子供達と普段やらないことができたので、楽しかったです。

母親からのメール：

夜、家族皆でいただきました。子どもが「私が作ったよ」と得意気に話していました。

調理を通して父と子の関係が深まり、家庭に持ち帰って家族で食べる事で、父親の家庭参加のきっかけづくりができ、男性の家事・育児への心象的なハードルを下げる事ができました。

## 6 今後の事業展開

状況によりますが、次年度以降も市内各所での開催をしていきます。

安心・安全に参加してもらうことを優先し、定期的に父親と子ども対象の体験教室を開催し、地域で男性の家事・育児に関する意識を高めていきます。

## 収支決算書

【労力換算（限度額参入）】

（単位：円）

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 339,664	¥ 339,664	¥ 0	※別紙 労力換算計算書 参照

【収入】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 61,252	¥ 52,875	¥ 8,377	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 61,252	¥ 52,875	¥ 8,377	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 371,268	¥ 272,557	¥ 98,711	←精算額
合計額 (D) = (B+C)		¥ 432,520	¥ 325,432	¥ 107,088	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	¥ 60,000	¥ 0	外部講師謝礼（3時間） 講師名 横沼氏 15,000円×4回
	消耗品費	¥ 203,000	¥ 130,807	¥ 72,193	食材 2021年6月21,837円 9月9,089円、10月27,499円 11月14,418円、12月29,496円 2022年1月4,836円、2月23,632円
	消耗品費	¥ 47,340	¥ 53,829	¥ ▲ 6,489	資材 台所用洗剤、ビニール手袋 食品用保存袋、キッチンタオル、スポンジ ケーキトレー、アルコール製剤 他
	消耗品費	¥ 30,800	¥ 15,776	¥ 15,024	印刷 文具、ホルダー、ファイル、ラベル コピー用紙、インクカートリッジ
	印刷製本費	¥ 40,000	¥ 8,770	¥ 31,230	チラシ印刷 A4/1000部×3回
	使用料及び賃借料	¥ 21,280	¥ 26,260	¥ ▲ 4,980	レシピ作成試作、作業確認・共有試作 松戸市民会館 12回 まつど市民活動サポートセンター 2回
	通信運搬費	¥ 10,100	¥ 7,400	¥ 2,700	チラシ送付用レターパック370円×20枚
	対象経費の合計 (E)		¥ 412,520	¥ 302,842	¥ 109,678
（その他経費）	食糧費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ 0	会員の昼食代 500円×5人×4回
	交通費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ 0	会員の交通費 500円×5人×4回
	通信運搬費	¥ 0	¥ 2,590	¥ ▲ 2,590	ゆうパック 2回、宅配便 1回
	その他経費の合計額 (F)		¥ 20,000	¥ 22,590	¥ ▲ 2,590
合計額 (G) = (E+F)		¥ 432,520	¥ 325,432	¥ 107,088	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

清算額	¥ 98,711
-----	----------

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 52,875	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 52,875	
市	松戸市負担金	¥ 272,557	
	合計額	¥ 325,432	

## 【支出】

区分	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）	
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	外部講師謝礼（3時間） 講師名 横沼氏 15,000円×4回	
	消耗品費	¥ 130,807	食材 2021年6月21,837円 9月9,089円、10月27,499円 11月14,418円、12月29,496円 2022年1月4,836円、2月23,632円	
	消耗品費	¥ 53,829	資材 台所用洗剤644円、ビニール手袋100枚入979円、 食品用保存袋M50枚入129円、食品用保存袋L50枚入172円、 キッチンタオル6ロール411円、キッチン用スポンジ5個入×2個198円、 竹串1セット111円 ゴールド台紙5枚×2個902円、ゴールドントレー20枚418円 ゴミ袋90円、コンロ用クリーナー96円、食卓用クリーナー2点192円、 フリーザーバッグ294円、ハンドタオル225円 デコレシート1000枚605円 台所用洗剤302円、食品用保存袋M50枚入172円、 食品用保存袋M50枚入129円、キッチンタオル6ロール411円、 ラップ15cm317円、22cm292円、30cm388円 ケーキトレイ50枚1,045円 アルコール製剤800ml 1,512円 箸箸2膳×5点3,620円、ハンドソープ250ml×4点1,028円、 ハンドタオル200組×3パック593円 他	
	消耗品費	¥ 15,776	印刷 文具テープのり241円×2個、ホルダー523円、 ファイル626円×2個、ラベル229円×2個 チラシ用紙(500枚)658円×2セット インクカートリッジ5色パック6,045円×1セット、他	
	印刷製本費	¥ 8,770	チラシ印刷 1回目1000部 2,220円 2回目1000部 4,220円 3回目1000部 2,330円 (※4回目はデータのみ)	
	使用料及び賃借料	¥ 26,260	レシピ作成試作、作業確認・共有試作 松戸市民会館 12回 まつど市民活動サポートセンター 2回 2,280円×5回、1,080円×4回、他	
	通信運搬費	¥ 7,400	チラシ送付用 レターパックライト 370円×20枚	
	対象経費の合計 (E)	¥ 302,842		
	その他経費	食糧費	¥ 10,000	会員の昼食代 500円×5人×4回
		交通費	¥ 10,000	会員の交通費 500円×5人×4回
通信運搬費		¥ 2,590	ゆうパック 2回(690円、810円) 宅配便 1回(1,090円)	
その他経費の合計額 (F)		¥ 22,590		
	合計額	¥ 325,432		

# 労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×923円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座打合せ(8回)	73,840円	5人×2h×8回×923円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座試作会(8回)	59,072円	2人×4h×8回×923円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座準備(8回)	110,760円	5人×3h×8回×923円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座(4回)	55,380円	5人×3h×4回×923円
	チラシ制作	18,460円	1人×5h×4回×923円
	報告書作成	22,152円	2人×3h×4回×923円
合 計 (A)	339,664円		

発達障がい・不登校の親の会事業

発達障がい児の子育て会 あんだんて

## 活動状況報告書

1 事業名称 発達障がい・不登校の親の会事業

2 実施主体

■団体名： 発達障がい児の子育て会 あんだんて

従事者数： 4名

団体概要： 発達障害や不登校、その他見えにくい障害を持つ子の子育てをしている保護者を対象に、毎月定期的なおしゃべり会（情報交換会）や勉強会、親子レクリエーションを行なっている。最近では発達障害を持つ子の不登校や不登園、いきしぶりなどの悩みも多く、会に参加する保護者の範囲は拡大している。

3 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

①おしゃべり会（会場：さくら広場）

日 付	作 業 内 容
4月17日	参加者4名 総会同時開催
5月6日	参加者4名
5月15日	参加者4名
6月3日	参加者6名
6月19日	参加者4名
7月1日	参加者6名
7月17日	参加者3名
8月5日	オンライン開催 参加者0名
8月21日	オンライン開催 参加者0名
9月2日	オンライン 参加者6名
9月18日	オンライン 参加者6名
10月7日	オンライン 参加者0名
10月16日	参加者5名
11月4日	参加者3名
11月20日	参加者5名
12月2日	参加者8名
12月18日	参加者2名
1月6日	参加者0名



1月15日	参加者4名
2月3日	参加者2名
2月19日	施設都合につき中止
3月3日	体調不良につき中止
3月19日	参加者3名

#### ②勉強会・講演会など

日付	作業内容
10月2日	オンライン(ZOOM)で開催 講師 フリースクールムガムチュウ 大河内仁実氏 講座内容「特別支援学級についての質問会」 参加者15名
12月16日	松戸市パートナー講座「特別支援教育について」講師 松戸市職員 参加者10名 会場：絵本のある部屋こでまり
2月4日	保護者のためのリラックス講座 ヨガ講師 田村純子氏 参加者6名 会場：松戸市民会館 203, 204 和室
3月16日	保護者のためのリラックス講座 ヨガ講師 田村純子氏 参加者4名 会場：松戸市民会館 203, 204 和室
3月20日	発達障害子育て講演会 講師 かなしろにゃんこ。氏 オンライン開催 講座内容「発達障害児子育ての思い出、経験談」参加者26名 会場：興学社高等学院

#### ③親子のイベント・レクリエーション

日付	作業内容
7月10日	江戸川河川敷にて親子ピクニックを開催 親子9組参加
11月29日	親子会 親子2組参加 場所：絵本のある部屋こでまり

#### ④その他打ち合わせ

日付	作業内容
10月11日	チラシ送付にかかわる事務作業 3名参加
2月17日	次年度に向けた打ち合わせ 3名参加

#### (2)事業内容のふりかえり

新型コロナウイルスの感染拡大により、8～10月は、おしゃべり会、外部講師による勉強会・講演会ともに対面開催ができず、オンラインに切り替えた。しかしオンラインに不慣れな方

も多く、事前の準備やレクチャーもしたものの会の開催は思うように開催できなかった。一方で、河川敷といった広い場所で親子のレクリエーションを行い、こちらは好評だった。同じような悩みを持つ保護者同士（特に父親も）一緒に触れ合うことで、気兼ねない交流が実現できた。

予算の変更について

主な変更点

- ・従来、月1回土曜に開催していたおしゃべり会について、事業計画作成後に平日開催を希望する声が多く寄せられたため土曜と平日の月2回開催。→おしゃべり会会場使用料増
- ・感染急拡大の影響で対面イベントへの参加人数が減少。しかしながら、何かしらの学びは継続したいとのニーズがあり、勉強会と講演会はオンラインを中心としたものに変更。→オンライン対応可能な講師の選定や開催回数の増加により外部講師謝礼増／ZOOM 使用料増／勉強会会場使用料減
- ・感染急拡大の状況をふまえ、飲食を控えた。→お茶菓子やBBQ大会の食材、コンロ機材レンタル費等減

#### 4 事業成果について

- ・目標の達成と課題の解決について

目標①発達障害の子育ては通常の子育てに比べて大変さが多いので、そこを保護者同士で励ましあいながら、仲間づくりをする。

結果：発達障害児の子育ては発達障害と診断されてまもない保護者や、もしかしてそうかもしれないと悩む保護者、また学齢期（それも高学年や中学生）に入ってから診断された保護者など、様々な月齢の子の保護者の参加があった。市民自治課のパネル展や、市民活動登録団体としてのチラシの配架など、積極的に活動ができたことで、会を知り、仲間づくりをする様子が見られ、目標の達成につながった。

目標②新規の参加者が前年度より2倍になるようにする（10名以上）

結果：保育園・幼稚園にチラシを送付し、掲示を依頼した。そのチラシを見て来てくださった新規の方が5名。市役所・市民センターの掲示を見て来てくれた方が3名。10名以上には届かなかったが、新規で来てくれた方が、繰り返し来てくれていることを見ると、必要な方に情報が届いたと言える。

#### 5 今後の事業展開

会に新たに参加してくださった方から色々な要望を聞くことができた。

参加者の多くは、日々の不安や情報交換をしたい方、それ以外にも、日常的にふらっとおし

やべりしたり、障害とは関係のない話題でも繋がれる関係性を求めていることがわかった。このことから、本年度の後半には、リラックスヨガなど保護者の心や体のメンテナンスに関わるようなイベントも開催してみたところ、好評だった。このように、ただ専門的な知識、詳しい情報だけでなく、緩やかな関係性を持っていたい、孤独を感じない居場所が必要だ感じている保護者も多い。なるべく、発達障害に限らず、何か不安を抱えている保護者の拠り所になるような展開を考案したいと思っている。(居場所作りや、親子のレクリエーションを増やすなど)

## 収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 22,830	¥ 0	¥ 22,830	
	参加料	¥ 19,200	¥ 40,100	¥ ▲20,900	通常おしゃべり会200円×73名 勉強会500円×10名(12/16) 勉強会500円×26名(3/20) 親子会500円×2名(11/29) ヨガ500円×6名(2/4)、ヨガ500円×4名(3/16) デイキャンプ500円×3名(3/28)
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 42,030	¥ 40,100	¥ 1,930	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 93,101	¥ 6,899	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 142,030	¥ 133,201	¥ 8,829	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 30,000	¥ 55,000	¥ ▲25,000	外部講師謝礼 50,000円×1回 2,500円×2回
	消耗品費	¥ 22,450	¥ 5,126	¥ 17,324	マスキングテープ、収納ケース等 1,210円 宛名シール727円×2セット、742円×1セット ペン・封筒など文房具類 1,720円
	印刷製本費	¥ 10,000	¥ 5,890	¥ 4,110	チラシ印刷1,850円×1回(600部) チラシ印刷1,490円×1回(400部) チラシ印刷2,550円×1回(300部)
	使用料及び賃借料	¥ 32,000	¥ 23,880	¥ 8,120	会場使用料 さくら広場1000円×16回、松戸市民会館640円×2回、ZOOM使用料2,200円×3回
	通信運搬費	¥ 41,580	¥ 25,680	¥ 15,900	120円定形外×214通
	食糧費	¥ 6,000	¥ 2,786	¥ 3,214	レクリエーション食糧費2,786円×1回
				¥ 0	
		対象経費の合計(D)	¥ 142,030	¥ 118,362	¥ 23,668
(その他)経費	講師謝礼	¥ 0	¥ 5,000	¥ ▲5,000	外部講師謝礼 5,000円×1回
	消耗品費	¥ 0	¥ 5,442	¥ ▲5,442	団体判子 4,950円×1回 コピー用紙492円
	講師手土産	¥ 0	¥ 4,397	¥ ▲4,397	講師手土産4,397円×1回
		その他経費の合計額(E)	¥ 0	¥ 14,839	¥ ▲14,839
	合計額(F) = (D+E)	¥ 142,030	¥ 133,201	¥ 8,829	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 6,899
------------	---------

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	参加料	¥ 40,100	通常おしゃべり会200円×73名 勉強会500円×10名(12/16)勉強会500円×26名(3/20) 親子会500円×2名(11/29) ヨガ500円×6名(2/4)、ヨガ500円×4名(3/16) デイキャンプ500円×3名(3/28)
	自己資金の合計額	¥ 40,100	
	市 市民活動助成金	¥ 93,101	
合計額		¥ 133,201	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 55,000	3/20 かなしろ氏 50,000円×1回 2/4,3/16 田村氏2,500円×2回
	消耗品費	¥ 5,126	マスキングテープ、収納ケース等 1,210円 宛名シール727円×2セット、742円×1セット ペン・封筒など文房具類 1,720円
	印刷製本費	¥ 5,890	団体広報用チラシ600部 1,850円 団体広報用チラシ400部 1,490円 3/20講演会用チラシ600部 2,550円
	使用料及び賃借料	¥ 23,880	会場使用料1000円×16回(さくら広場) 松戸市民会館640円×2回 ZOOM使用料2,200円×3回
	通信運搬費	¥ 25,680	120円定形外×214通
	食糧費	¥ 2,786	親子レクリエーション時のおやつ代 2,786円×1回
	対象経費の合計	¥ 118,362	
その他経費	報償費	¥ 5,000	外部講師謝礼 5,000円×1回
	消耗品費	¥ 5,442	団体判子 4,950円×1回 コピー用紙492円
	講師手土産	¥ 4,397	講師手土産4,397円×1回
	その他経費の合計	¥ 14,839	
合計額		¥ 133,201	



働くおとなのホッとできる居場所づくり事業

まちなす・Labo/Friends

## 活動状況報告書

1 事業名称 働くおとなのホッとできる居場所づくり事業

2 実施主体

■団体名： まちなす・Labo/Friends

従事者数： 2名

団体概要： 健康・未病・セルフケアをテーマに活動している。学校にある「保健室」のような機能を持ち、癒しと安心が得られる居場所づくりを心掛けている看護師を中心とした団体。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

①出張型「働くおとなの保健室」および②オンライン相談室の実施【新型コロナウイルス感染拡大防止対策により事業計画内の内容で微調整を行い、相談および交流を対面およびオンラインで実施するなど対応した】

日付	作業内容
4月10日～30日	事業企画打ち合わせ・コロナ感染による開催基準の検討
4月11日～	オンライン相談室の実施
4月21日～5月30日	事業内容の調整および打合せ
6月15日	オンライン保健室「突然熱がでたら…」ミニ講座実施
7月7日～7月31日	チラシの企画及び作成チラシの印刷(8～10月分)
8月1日～10月27日	チラシのPR活動(8～10月分)
8月25日	保健室(開催中止)
8月27日～9月24日	オンライン保健室「瞑想体験会」ミニ講座実施(8/27.9/10.9/24実施)
8月30日	市の広報掲載依頼(10月15日号)
9月22日	保健室(開催中止)
10月1日～10月29日	チラシの企画及び作成チラシの印刷(11～12月分)
10月5日～	チラシのPR活動(10月分)保健センターにチラシ配架依頼
10月14日	商工振興課にチラシ配架相談
10月27日	保健室開催①(参加者:5人)、チラシのPR活動(11～12月分)
11月10日～12月7日	チラシの企画及び作成チラシの印刷(1.2月分)
11月22日	保健室開催②(参加者:1人)



12月10日～2月18日	チラシのPR活動(1～2月分)
12月13日	保健室開催③(参加者:0人)

①E 健康に関するイベントの実施 【事業計画よりスケジュールおよび回数を変更】

日付	作業内容
4月21日～5月30日	事業内容の調整および打合せ
11月1日～11月14日	1.2月イベント企画打ち合わせ
11月14日～12月7日	チラシの企画及び作成・イベント準備
12月8日～2月19日	チラシの印刷及びPR活動
1月15日～1月20日	1月イベント開催について打合せ(→開催中止)
2月5日～2月16日	2月イベント企画打ち合わせ
2月19日	イベントの開催 場所:みかんハウス(松戸市常盤平) 講師:阿部 緑氏 参加者:6人

(2) 事業内容のふりかえり

今年度は、新型コロナ感染において、緊急事態宣言やまん防などの対策が発令している間や感染者数が落ち着かない場合の開催基準を定め、状況に応じて対応できたことは良いと考える。しかし、イベントや保健室の開催を希望する問い合わせもあり、後半の開催については、本来の基準にその時の状況や対応策、参加者からの意見などを聞きつつ、総合的に判断し、感染対策をしっかりと実施して開催した。結果として、参加者や関係者の感染対策に対する認識も高まり、無事に実施することができた。また、今年度は、エッセンシャルワーカーといった専門職にターゲットをおいての健康サポートができたらと考えて、イベントを実施した。専門職同士の繋がりや会話をすることで、気分転換や安心に繋がったとの感想をいただき、開催してよかったと考えている。成果としては、チラシの配架に対して保健センターに依頼をし、置いていただけたことで少しでも多くの方に情報を届けることができたのではと考える。なお、ハンドマッサージと当日提供する飲み物は、参加者からご意見いただき、中止とすることが多かった。

4 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

①働くひとの保健室の利用人延べ100人を目指す。(利用者延べ 12人)  
 ②賛同していただける協力員(看護師を含む)を3人増やす。(協力員 1人)  
 ・コロナ禍において、その時々での感染状況によって予定通りの開催回数が予定通りいかず、「利用者100人」と「協力者を3人増やす」という目標について、残念ながら目標達成に至らずとなってしまった。課題の解決に繋がりたいと考えていたが、目標達成していないため、これについても尽力に至らずに終わってしまった。参加してくださった方か

らは、「来てよかった」との言葉をいただいているため、もっとこの活動をもっと届いてほしい方々（働き世代）に届ける方法にひとひねりが必要だと考える。

・今年度は心のケアのきっかけ作りとして、ミニ講座で「瞑想体験会」を実施した。興味のもっていただけた方もいたが、仕事の都合などで参加できなかった方も何人かいた。少しずつ、40代50代の働く方々に知っていただき、自身の健康のために向き合っていただくきっかけになってもらいたい。オンラインでの開催は、参加できる人が限定してしまうため、今後の課題なのかもしれない。

・専門職対象として「医療介護職」を対象に交流会兼勉強会を企画・実施した。「同じ悩みがある」ということがお互いわかることで、「自分だけではない。一人じゃないんだ」という気持ちになり、「孤独感」が少しなくなったという言葉も聞かれた。

## 5 今後の事業展開

出張型の保健室の開催をベースにとは考えているが、実施できる先がなかなかないのは以前からの課題である。方法そしてマネタイズをどうしていくかをしっかりと定め、継続していけるようにしていく必要があると考える。また、医療職だけだと今のこのコロナ禍は行動制限がかかりやすいため、ほかのボランティアなどを巻き込んで活動していく事で、もっと安定した活動が可能になるかもしれないと考えている。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	事業収入(実地開催分)	¥ 70,000	¥ 3,000	¥ 67,000	保健室500円×6名
	イベント参加料(実地開催分)	¥ 28,800	¥ 0	¥ 28,800	無料×6名
	団体拠出金	¥ 0	¥ 6,825	¥ ▲6,825	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
	自己資金の合計額(A)	¥ 98,800	¥ 9,825	¥ 88,975	
市	市民活動助成金(B)	¥ 100,000	¥ 67,293	¥ 32,707	←精算額
	合計額(C) = (A+B)	¥ 198,800	¥ 77,118	¥ 121,682	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 30,000	¥ 5,000	¥ 25,000	外部講師謝礼(イベント) 5,000円×1回
	印刷製本費	¥ 24,000	¥ 8,800	¥ 15,200	チラシ印刷 保健室分：2.91円×1000枚、4.27円×700枚 チラシ印刷 イベント分：7.25円×400枚
	消耗品費	¥ 19,800	¥ 11,746	¥ 8,054	(保健室実施開催用) デジタルレコーダー 7128円×1、 CD4枚 440円、血圧計 4178円×1、
		¥ 8,600	¥ 7,023	¥ 1,577	(事務用品) プリンター用インク 6006円、コピー用紙 797円、文房具類 220円
	食糧費	¥ 20,000	¥ 1,586	¥ 18,414	お菓子代1055円、お茶代531円
	使用料及び賃借料	¥ 48,400	¥ 14,215	¥ 34,185	●保健室会場使用料 10/27：3795円(3300円+495円超過料)、11/22：4125円(3300円+825円超過料)、 12/13：3795円(3300円+495円) ●イベント会場使用料 2/19：2500円
		¥ 14,400	¥ 0	¥ 14,400	プロジェクターレンタル料 およびキーボードレンタル料 (今年度はレンタルなし)
	通信運搬費	¥ 26,400	¥ 26,400	¥ 0	zoom利用料 2200円×12ヶ月
		対象経費の合計(D)	¥ 191,600	¥ 74,770	¥ 116,830
(その他経費)	交通費	¥ 7,200	¥ 2,348	¥ 4,852	会員の交通費 440円×4人分、294円×2人分
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額(E)	¥ 7,200	¥ 2,348	¥ 4,852	
	合計額(F) = (D+E)	¥ 198,800	¥ 77,118	¥ 121,682	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 32,707
-----	----------

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	講座参加料	¥ 3,000	10/27参加者：5名×500円、11/22参加者：1名×500円
	イベント参加料	¥ 0	2/19参加者：6名×0円
	団体拠出金	¥ 6,825	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 9,825	
市	市民活動助成金	¥ 67,293	
合計額		¥ 77,118	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 5,000	講師謝礼（2/19イベント分） 阿部緑氏 5,000円×1回
	印刷製本費	¥ 8,800	広報チラシの印刷代 働く人の保健室の実施分チラシ 2.91円×1000枚、4.27円×700枚 イベント実施分チラシ 7.25円×400枚
	消耗品費	¥ 18,769	（保健室実施開催用）デジタルレコーダー 7128円×1、CD 110円×4枚、電子血圧計 4178円×1 （事務用品）プリンター用インク 6006円、コピー用紙 797円、文房具類 220円
	食糧費	¥ 1,586	お菓子代1055円、お茶代531円
	使用料及び賃借料	¥ 14,215	会場使用料 ●保健室会場使用料 10/27：3795円（3300円+495円超過料）、11/22：4125円（3300円+825円超過料）、12/13：3795円（3300円+495円） ●イベント会場使用料 2/19：2500円
	通信運搬費	¥ 26,400	zoom利用料 2200円×12ヶ月
	対象経費の合計	¥ 74,770	
その他経費	交通費	¥ 2,348	会員の交通費 440円×4人分、294円×2人分
	その他経費の合計	¥ 2,348	
合計額		¥ 77,118	

「まつどの介護」プロモーション事業

特定非営利活動法人 SmileResource

介護保険課

# 活動状況報告書

1 事業名称 「まつどの介護」プロモーション事業

2 実施主体

■団体名： 特定非営利活動法人 SmileResource

従事者数： 会員 10 人

団体概要： 当法人は、国民の超高齢化が増す近い将来に迫る介護離職の増大化を防ぐため、介護人材発掘及び就業・定着促進事業、仕事と介護の両立サポート事業や障がいの有無や世代に関わらず、その人が自立した生活を送ることをサポートする自立支援サポート事業等を実施し、介護離職0の社会づくりへの貢献と地域福祉の発展に寄与することを目的とし活動しております。

■事業担当課： 介護保険課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

- ・動画制作における、企画・撮影・編集
- ・ボランティア（学生等）との連携

■担当課の役割

- ・総合企画（監修・市役所内の他課や介護系団体、学校等への紹介など）
- ・活動の市民などへの周知

4 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

市内の介護支援体制（行政・事業・市民活動等）をPV化し、松戸市公式サイトにアップロードするため、下記のスケジュールで作業を進めました。

日付	作業内容
4月2日	動画制作定例打ち合わせ 「まつどの介護」プロモーション事業 PR 動画およびコロナ感染対策動画制作の企画準備（一部撮影）（2H）
4月3日～15日	「まつどの介護」プロモーション事業 PR 動画制作・編集 *総編集時間（10H）
4月20日	コロナ感染対策動画企画準備（2H）
4月22日	コロナ感染対策動画（特別養護老人ホームあすなろ）撮影（3H）
4月28日	「まつどの介護」プロモーション ボランティア説明会

	*参加 3名
4月23日～5月30日	コロナ感染対策動画制作・編集期間 *総編集時間 (15H)
5月1日	動画制作定例打ち合わせ (ZOOM)
5月28日	PR動画 YouTubeへアップロード
6月1日	動画制作定例打合せ (ZOOM)
6月2日	グループホーム動画制作企画準備(2H)・撮影(4H) (愛の家) *ボランティア2名
6月3日	コロナ感染対策動画 YouTubeへアップロード
6月3日～7月15日	グループホーム動画制作・編集期間 *総編集時間 (15H)
7月1日	動画制作定例打ち合わせ (ZOOM)
7月2日	グループホーム動画撮影② (2H) *ボランティア2名
7月27日	グループホーム動画 YouTubeへアップロード
8月1日	動画制作定例打合せ (ZOOM)
8月5日	撮影企画・準備 (2H)
9月1日	動画制作定例打合せ (ZOOM)
9月4日	撮影企画準備 (2H)
9月10日	介護保険課 打ち合わせ
9月10日、11日、 28日	介護のお仕事紹介動画企画準備(2H)、撮影(4H) *ボランティア3名
9月12日～28日	介護のお仕事動画制作・編集期間 *総編集時間 (15H)
10月1日	動画制作定例打合せ (ZOOM)
10月10日	ケアマネジャーについて動画企画準備打ち合わせ *ボランティア1名
10月26日、11月15 日	ケアマネジャーについて動画撮影 (①4H ②2H) *ボランティア3名
10月27日～11月30 日	ケアマネジャーについて動画制作・編集期間 *総編集時間 (15H)
11月1日	動画制作定例打合せ (ZOOM) 高齢者いきいき安心センター動画制作企画準備 (2H) *ボランティア2名
11月11日、11月26 日	高齢者いきいき安心センター動画撮影 (①3H ②2H) *ボランティア2名
11月11日	広報まつど「介護の日介護保険特集号」(令和3年11月11日号) にて活動を紹介
11月14日	介護保険申請動画撮影 (松戸市役所) (1H)

11月28日	高齢者いきいき安心センター動画撮影（ナレーション）（2H） *ボランティア1名
11月12日～12月5日	高齢者いきいき安心センター動画制作・編集期間 *総編集時間（15H）
12月1日	動画制作定例打合せ（ZOOM）
12月7日	高齢者いきいき安心センター動画 YouTube へアップロード
12月11日	介護保険課 打ち合わせ（1H）*介護保険申請動画企画準備（打ち合わせ含む）
12月24日、30日	介護保険申請動画撮影（①3H ②2H） *ボランティア2名
12月15日	松戸向陽高等学校福祉教養科2年生へボランティア説明会を開催 場所：松戸向陽高等学校内 参加：2年生8名 *介護保険課職員2名同席 所用時間（計2H）
12月16日	NPO法人Jワールド主催 ゲッドユアドリーム参加 六実中学校の学生さん25名へ協働事業動画を紹介（2H）
12月28日	介護保険課 打ち合わせ（1H）
12月30日	デイサービス紹介動画制作企画準備
1月5日、28日	デイサービス紹介動画撮影（ケアパートナー馬橋） *ボランティア2名（①4H ②2H）
1月5日	動画制作定例打合せ（ZOOM）
1月6日～	デイサービス紹介動画制作 *編集中
1月7日～15日	介護保険申請動画制作・編集 *総編集時間（15H）
1月14日	NPO法人Jワールド主催 ゲッドユアドリーム参加 旭町中学校の学生さん20名へ協働事業動画を紹介
1月19日	ケアマネジャーについて/介護保険申請動画 YouTube へアップロード
1月28日	介護職員永年勤続表彰企画準備（2H）
1月28日～2月17日	令和3年度介護職員等永年勤続表彰式動画制作・編集 *撮影 2月3日 松戸市役所内 *ボランティア2名（3H） 2月9、11日 ナレーション撮り *ボランティア1名 *総編集時間（30H）
2月1日	動画制作定例打合せ（ZOOM）
2月11日	デイサービス紹介動画ナレーション撮り（2H） *ボランティア2名



2月21日	令和3年度介護職員等永年勤続表彰式動画 YouTubeへアップロード
3月1日	動画制作定例打合せ（ZOOM）
3月2日～15日	デイサービス紹介動画制作・編集 *総編集時間（15H）
3月2日	松戸向陽高等学校連携企画準備（2H）
3月22日	松戸向陽高等学校のボランティア2年生20名と動画撮影（2H） でしたが、雪のため学校側から延期の相談あり、22日の撮影は急遽延期となりました。

## (2) 事業内容のふりかえり

今年度の事業は、スタートから新型コロナウイルス感染拡大が大きな障壁となり、描いていた活動ができませんでした。特に施設系事業所内での撮影ができないことや学生との活動ができないことが大きくハンデキャップとしてありました。

予定していた動画作成数は達成できませんでしたが、その中でもできる活動の範囲内で完成公開が8本（制作中1本）の動画を制作、YouTubeへアップロードできました。

会議も集合型からZOOMを利用したWEB会議へ変更しています。

スケジュールについては、コロナ禍により撮影計画が大幅に変更されましたが、毎月の定例会にて随時修正しながら進められました。

予算については、チラシデザイン委託料が予算より高額となってしまいました。理由としてはチラシにより活動を効果的に伝えるために多くの方の目を引くデザインが必要と考えました。幾つかのデザインをもとに担当課の意見をいただきながら現在のデザインとしています。

それらの調整により、複数のデザインを依頼したことが理由です。

## 5 事業成果について

### ・目標の達成と課題の解決について

#### ①介護保険サービスを種別ごとに5～10分程度のPVとして作成

目標 大よそ30種別中14種別（10～14本程度）

結果 8本（制作中1本）

#### ②介護を学ぶ学生及び動画制作に興味ある学生ボランティアの参画

目標 1クールごとに、4～6名程度を募集

結果 学生ボランティアは2名の参加（東京未来大学福祉保育専門学校）

\*1月5日、28日実施

（3月22日に松戸向陽高等学校生徒20名が参加予定でしたが、雪のため延期）

一般ボランティア（介護に興味がある方）4名参加

#### ③完成したPVの上映会を開催

目標 1回

結果 2回

12月16日に松戸六実中学校及び1月14日に旭町中学校の学生対象で開催しました。

(課題の解決について)

課題① 制度の複雑化がもたらす市民への周知、理解への難しさ への対応

事業計画として30種の制度ごとの事業を実施する事業所を撮影する計画でしたが、各施設、事業所でコロナ禍による感染予防対策が強化されたことで撮影が困難となりました。担当課と協議の上、施設を含む事業所は感染状況が緩和された時点での取組とし、それ以外の介護保険申請や高齢者いきいき安心センターなどを優先していくことで進めてきました。

年1回の上映会を開催することで高齢者の方に周知する計画を行っていましたが、上記同様にコロナ感染状況の悪化から高齢者向け試写会等の企画を進めることができませんでした。若者へは他法人が企画するイベントへ参加することで上映会を2回実施できています。

動画の再生数を伸ばす取組みとして、当法人のTwitter及びFacebook、ホームページを通じての動画紹介や松戸市の広報誌による紹介(担当課企画)なども行っています。グループホーム動画については、3700回の再生数があり現在も伸び続けています。

課題② 若者の力をもっと活用したい への対応

学生ボランティアとの活動についても、コロナ禍であることで企画するも感染予防に配慮し進めることができませんでした。

コロナ感染状況が一時期緩和された12月に松戸向陽高等学校の学生に動画制作の紹介とボランティア説明会を実施できています。

年始には学生ボランティアの参加を増やして撮影を実施できました。

この取組みに関して、第三者からの評価は得ていない状況ですが、事業を実施する前には存在のしなかった【介護保険課まつどDE介護ちゃんねる】やそのチャンネル内にアップロードされている【9つの介護制度を紹介する動画】が社会資源として存在していることは確かです。またその動画を見てくれている方がいるという事実。それ自体がこの取組の効果であると感じています。(Twitter内でも“いいね”が入っています)

## 6 今後の事業展開

令和4年度へ向けて下記の展開を予定しています。

①松戸向陽高等学校と連携した企画・撮影・編集など

②東京未来大学と連携した企画・撮影・編集など

③コロナ禍へ対応したWEBを活用した活動

④より多くの市民へ動画を知ってもらおう。広報活動 等

上記の活動を協力いただける若者達と手を取り、より松戸の介護を市民へわかりやすく伝えていく動画づくりを目指していきます。

## 収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 475,345	¥ 504,881	¥ ▲29,536	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 39,800	¥ 26,006	¥ 13,794	事業費の一部を団体の会計より一部拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 39,800	¥ 26,006	¥ 13,794	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 358,200	¥ 234,047	¥ 124,153	←精算額
	合計額 (D) = (B+C)	¥ 398,000	¥ 260,053	¥ 137,947	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
	印刷製本費	¥ 5,000	¥ 1,889	¥ 3,111	チラシ印刷 500部（一枚約3.77円）
	消耗品費	¥ 98,000	¥ 82,885	¥ 15,115	スマホ三脚アクセサリ 1030円 SDカード 1280円 クラフト封筒 330円 他
	使用料及び賃借料	¥ 160,000	¥ 67,130	¥ 92,870	会議室使用料 930円×1時間 編集ソフト（ライセンス料） 6200円/年 撮影機材リース 5000円×12ヶ月
	通信運搬費	¥ 75,000	¥ 35,416	¥ 39,584	定形外郵便 120円×101事業所 切手 84円×4事業所 他 インターネット利用料 5ヶ月計22,400円
	委託料	¥ 20,000	¥ 33,000	¥ ▲13,000	チラシデザイン 33000円×1回
	食糧費	¥ 40,000	¥ 39,733	¥ 267	撮影時のお茶・菓子代（ボランティア）
		対象経費の合計 (E)	¥ 398,000	¥ 260,053	¥ 137,947
（その他 対象外）				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
		その他経費の合計額 (F)	¥ 0	¥ 0	¥ 0
	合計額 (G) = (E+F)	¥ 398,000	¥ 260,053	¥ 137,947	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 124,153
------------	-----------

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 26,006	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 26,006	
市	松戸市負担金	¥ 234,047	
	合計額	¥ 260,053	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
負担金の 交付対象 経費	印刷製本費	¥ 1,889	広報チラシ印刷代 「まつどの介護」プロモーション紹介チラシの印刷代500部 一枚約3,77円)
	消耗品費	¥ 82,885	事業用消耗品（撮影用機器、事務用品、感染予防備品等） スマホ三脚アクセサリ 1,030円×1セット SDカード32G 1,280円×1個 クラフト封筒 330円×1セット 他
	使用料及び賃借料	¥ 67,130	会議使用料 ボランティア説明会 松戸市市民交流会館会議室 930円×1時間 編集ソフトライセンス料及び撮影機器リース料 編集ソフト「パワーディレクター」年間使用料 6,200円/年 HDカメラリース 5,000円×12ヶ月
	通信運搬費	¥ 35,416	チラシ郵送用 定形外郵便 120円×101事業所 事業案内手紙切手代 84円×4ヶ所 140円×4ヶ所 インターネット利用料 5ヶ月分 計22,400円（10月～2月利用分）
	委託料	¥ 33,000	協働事業チラシデザイン料 「まつどの介護」プロモーション事業チラシデザイン 33,000円×1回
	食糧費	¥ 39,733	撮影時のお茶・菓子代（ボランティア） 延べ43名分
	対象経費の合計	¥ 260,053	
	その他 経費		
その他経費の合計		¥ 0	
	合計額	¥ 260,053	

食のセーフティネットづくり、  
生活困窮者と食品ロスの問題解消事業

まっどフードバンク

## 活動状況報告書

1 事業名称 食のセーフティーネットづくり、生活困窮者と食品ロスの問題解消事業

2 実施主体

■団体名： まつどフードバンク

従事者数： 6名

団体概要： 私たちは、生活困窮者と食品ロスをなくすため、余った食品・食材を必要人へ届け、みんなが豊かに暮らせる社会をつくることを目的とする。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

zoom 会議の実施 事業実施にあたり、会員と以下スケジュールにて打合せを行った。

日 付	作 業 内 容
4月16日	みらいフェスタ振り返り、情報交換、次回イベントについて
5月14日	5月イベントについて、Flat
5月20日	運営会議、Flat 契約とパントリーとしての使い方について
6月4日	5月イベントの振り返り、6月イベントについて、Flat
6月25日	7月4日イベント(新松戸と五香フードパントリー)の内容と準備するものの最終確認
7月23日	8月7日イベントについて、根本天満宮
7月30日	8月7日イベントについて、根本天満宮、コロナ感染拡大のため中止とした
8月27日	塾生の受け入れと報告事項、9月イベントについて、二か所同時開催
9月17日	9月26日フードパントリー最終確認
10月1日	9月イベントの振り返り、10月30日ハロウィンイベントについて
10月15日	10月30日ハロウィンイベント、根本天満宮、最終確認
11月19日	12月クリスマスイベントについて、新松戸 12/11、五香 12/18
12月3日	12月クリスマスイベント、新松戸 12/11、五香 12/18 最終確認
1月21日	3月26日みらいフェスタ参加について
2月18日	3月イベントについて、フードドライブ

① 企業・農家・一般家庭から余った食品や食材を譲り受ける＝受け取り/引取り

③ 他のフードバンクから食材を譲り受ける

日 付	作 業 内 容
4/3～4/25	食材の受け取り（譲り受け）、マイファーム松戸農園（4回）、野菜や果物など
4/1	食材の受け取り（譲り受け）、千葉社協ボランティアセンター、食品・日用品など フードバンクちば、お米・乾麺・お菓子・飲料・非常食など
4/15	食材の受け取り（譲り受け）、松戸社会福祉協議会、お米
4/22	食材の受け取り（譲り受け）、松戸市役所危機管理課、備蓄米
4/29	食材の受け取り（譲り受け）、石渡農園から野菜などを引取り
5/1	食材の受け取り（譲り受け）、千葉社協ボランティアセンター、食品・日用品など
5/6	食材の受け取り（譲り受け）、松戸市役所危機管理課、備蓄米 フードバンクふなばし、フードバンクちば、食材
5/9～5/30	食材の受け取り（譲り受け）、マイファーム松戸農園（4回）、野菜や果物など
5/15	食材の受け取り（譲り受け）、石渡農園から野菜などを引取り
6/5	食材の受け取り（譲り受け）、コープみらいまつどセンター、お米
6/10	食材の受け取り（譲り受け）、千葉社協ボランティアセンター、食品・日用品など
6/10	非常食の受け取り、千葉銀行常盤平支店、備蓄品
6/12	食材の受け取り（譲り受け）、小幡ファームと唐澤農園から野菜など引取り
6/6～6/27	食材の受け取り（譲り受け）、マイファーム松戸農園（4回）、野菜や果物など
6/17	非常食の受け取り、千葉銀行矢切支店、備蓄品
7/1	食材の受け取り（譲り受け）、千葉社協ボランティアセンター、食品・日用品など フードバンクちば、お米・乾麺・お菓子・飲料・非常食など
7/3	食材の受け取り（譲り受け）、石渡農園から野菜などを引取り
7/3～7/31	食材の受け取り（譲り受け）、マイファーム松戸農園（6回）、野菜や果物など
7/4	食材の受け取り（譲り受け）、ダイエー松戸西口店からフードドライブ品引取り
7/29	食材の受け取り（譲り受け）、フードバンクちば、お米・乾麺・お菓子・飲料・非常食など

8/8	食材の受け取り（譲り受け）、ダイエー松戸西口店からフードドライブ品引取り
8/9～8/29	食材の受け取り（譲り受け）、マイファーム松戸農園（4回）、野菜や果物など
9/2	食材の受け取り（譲り受け）、千葉社協ボランティアセンター、食品・日用品など
9/4	食材の受け取り（譲り受け）、ダイエー松戸西口店からフードドライブ品引取り
9/5～9/9/25	食材の受け取り（譲り受け）、マイファーム松戸農園（4回）、野菜や果物など
9/16	食材の受け取り（譲り受け）、フードバンクちば、お米・乾麺・お菓子・飲料・非常食など
9/19	食材の受け取り（譲り受け）、小幡ファームと唐澤農園から野菜など引取り
10/2	食材の受け取り（譲り受け）、相模台町会、備蓄品のお米、乾パン、お水などの提供
10/3～10/31	食材の受け取り（譲り受け）、マイファーム松戸農園（5回）、野菜や果物など
10/3	食材の受け取り（譲り受け）、ダイエー松戸西口店からフードドライブ品引取り
10/7	食材の受け取り（譲り受け）、(株)宮田、ハロウィンお菓子の提供
10/19	食材の受け取り（譲り受け）、(株)宮田、クリスマス用駄菓子の提供
10/14	食材の受け取り（譲り受け）、千葉社協ボランティアセンター、食品・日用品など
11/3～11/28	食材の受け取り（譲り受け）、マイファーム松戸農園（5回）、野菜や果物など
11/3	食材の受け取り（譲り受け）、ダイエー松戸西口店からフードドライブ品引取り
11/4	食材の受け取り（譲り受け）、千葉社協ボランティアセンター、食品・日用品など
11/11	食材の受け取り（譲り受け）、南部市場(個人)お米の提供
12/2	食材の受け取り（譲り受け）、千葉銀行（松戸支店）から備蓄品を引取り
12/5～12/25	食材の受け取り（譲り受け）、マイファーム松戸農園（4回）、野菜や果物など



12/16	食材の受け取り（譲り受け）、小幡ファームと唐澤農園から野菜など引取り
12/23	食材の受け取り（譲り受け）、フードバンクちば、お米・乾麺・お菓子・飲料・非常食など
12/30	食材の受け取り（譲り受け）、ダイエー松戸西口店からフードドライブ品引取り
1/4～1/30	食材の受け取り（譲り受け）、マイファーム松戸農園（5回）、野菜や果物など
2/3	食材の受け取り（譲り受け）、二十世紀が丘保育所から食材とダイエー松戸西口店からフードドライブ品引取り
2/6～2/26	食材の受け取り（譲り受け）、マイファーム松戸農園（4回）、野菜や果物など
2/10	食材の受け取り（譲り受け）、千葉社協ボランティアセンター、食品・日用品など
3/3	食材の受け取り（譲り受け）、市役所危機管理課から備蓄品の提供引取り
3/5～3/27	食材の受け取り（譲り受け）、マイファーム松戸農園（4回）、野菜や果物など
3/5	食材の受け取り（譲り受け）、ダイエー松戸西口店からフードドライブ品引取り
3/17	食材の受け取り（譲り受け）、イワブチ（株）から備蓄品の提供引取り
3/24	食材の受け取り（譲り受け）、フードバンクちば、お米・乾麺・お菓子・飲料・非常食など

## ② フードドライブの開催

日 付	作 業 内 容
4/8	フードドライブ実施について、ダイエー様と打ち合わせ
6/21～6/27	フードドライブ、ダイエー様と連携して松戸西口店と新松戸店で実施
7/19～7/25	フードドライブ、ダイエー様と連携して松戸西口店と新松戸店で実施
8/23～8/29	フードドライブ、ダイエー様と連携して松戸西口店と新松戸店で実施
9/20～9/26	フードドライブ、ダイエー様と連携して松戸西口店と新松戸店で実

	施
10/18～10/24	フードドライブ、ダイエー様と連携して松戸西口店と新松戸店で実施
11/22～11/28	フードドライブ、ダイエー様と連携して松戸西口店と新松戸店で実施
12/20～12/26	フードドライブ、ダイエー様と連携して松戸西口店と新松戸店で実施
1/17～1/23	フードドライブ、ダイエー様と連携して松戸西口店と新松戸店で実施
2/21～2/27	フードドライブ、ダイエー様と連携して松戸西口店と新松戸店で実施
3/21～3/27	フードドライブ、ダイエー様と連携して松戸西口店と新松戸店で実施

④⑤⑥生活困窮者・団体（子ども食堂/子どもの居場所など）への食料支援＝お届け/郵送

日 付	作 業 内 容
4/8	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 1 人
4/22	子ども食堂への食料支援、車にて新松戸みかん子ども食堂へお届け
4/29	子どもの居場所へ食料支援（お野菜）、車にて根本天満宮へお届け
5/13	子ども食堂への食料支援、車にて新松戸へお届け、子どもの居場所へ食料支援、車にて五香へお届け
5/16	子ども食堂への食料支援、車にて二十世紀が丘陣が前子ども食堂へお届け
5/17	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 1 人
5/27	子ども食堂への食料支援、車にて新松戸みんなの食堂へお届け
6/1	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 1 人
6/2	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 1 人
6/6	子どもの居場所へ食料支援、車にて根本天満宮へお届け
6/10	子ども食堂と居場所への食料支援、車にて根本さくら広場と二十世紀が丘陣が前子ども食堂へお届け
6/17	子ども食堂への食料支援、車にて二十世紀が丘陣が前子ども食堂へお届け
7/5	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 2 人

7/7	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送2人
7/8	子どもの居場所への食料支援、車にて根本天満宮とさくら広場へお届け
7/15	子ども食堂と居場所への食料支援、車にて新松戸みんなの食堂と五香ふらここへお届け
8/5	子どもの居場所への食料支援、車にて根本天満宮とさくら広場へお届け
8/5	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送7人
8/7	子ども食堂と居場所への食料支援、車にて五香ふらここへお届け
8/14	子ども食堂への食料支援、車にて新松戸みかん子ども食堂へお届け
8/26	子ども食堂と居場所への食料支援、車にてみんなみダイナー子ども食堂とふらここへお届け
9/4	子どもの居場所への食料支援、車にて根本天満宮とさくら広場およびふらここへお届け
10/2	子どもの居場所への食料支援、車にてふらここへお届け
10/7	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送7人
10/7	子どもの居場所への食料支援、車にてさくら広場とふらここへお届け
10/9	子ども食堂への食料支援、車にて河原塚みんなのダイナー子ども食堂へお届け
10/9	子ども食堂への食料支援、車にて新松戸みかん子ども食堂へお届け
10/10	子ども食堂への食料支援、車にて二十世紀が丘陣が前子ども食堂へお届け
10/21	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送1人
10/21	子ども食堂への食料支援、車にて河原塚みんなのダイナーと二十世紀が丘陣が前子ども食堂へお届け
11/4	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送8人
11/11	子どもの居場所への食料支援、車にてさくら広場とふらここへお届け
11/12	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送1人
11/13	子ども食堂への食料支援、車にて新松戸みかん子ども食堂へお届け
11/21	子ども食堂への食料支援、車にて二十世紀が丘陣が前子ども食堂へお届け
11/25	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送1人
11/25	子どもの居場所への食料支援、車にて根本天満宮とさくら広場へお

	届け
11/30	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 1 人
12/2	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 7 人
12/12	子ども食堂への食料支援、車にて二十世紀が丘陣が前子ども食堂へお届け
12/23	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 1 人
12/25	子どもの居場所への食料支援、車にてふらここへお届け
12/30	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 3 人
1/6	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 5 人
1/8	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 1 人
1/13	子どもの居場所への食料支援、車にてさくら広場へお届け
1/22	子どもの居場所への食料支援、車にてふらここへお届け
1/27	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 4 人
1/27	子どもの居場所への食料支援、車にてさくら広場へお届け
1/29	子どもの居場所への食料支援、車にてふらここへお届け
2/3	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 5 人
2/5	子どもの居場所への食料支援、車にてさくら広場へお届け
2/11	生活困窮者への食料支援、車にて五香西個人宅へお届け 1 人
2/12	子ども食堂への食料支援、車にて新松戸みかん子ども食堂へお届け
2/17	子ども食堂への食料支援、車にて新松戸みかん子ども食堂へお届け
2/24	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 4 人
2/27	子ども食堂への食料支援、車にて二十世紀が丘陣が前子ども食堂へお届け
3/3	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 4 人
3/5	子ども食堂への食料支援、車にて新松戸みかん子ども食堂へお届け
3/6	生活困窮者への食料支援、車にて五香西個人宅へお届け 1 人
3/10	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 1 人
3/17	子どもの居場所への食料支援、車にてふらここへお届け
3/24	生活困窮者への食料支援、ゆうパックにて郵送 4 人

⑦ フードパントリーの開催

日 付	作 業 内 容
5/29	子どもをお持ちの貧困家庭を対象としたフードパントリーを開催、 会場：新松戸 Flat、20 食分の食料、お米・飲料・野菜・非常食など
7/4	子どもをお持ちの貧困家庭を対象としたフードパントリーを開催、

	会場：新松戸オレンジハウスと五香ふらここで 2 か所同時開催、20食分の食料、お米・飲料・野菜・非常食など
9/26	子どもをお持ちの貧困家庭を対象としたフードパントリーを開催、会場：新松戸オレンジハウスと五香ふらここで 2 か所同時開催、20食分の食料、お米・飲料・野菜・非常食など

⑧ イベントの開催（子どもを対象としたもの/フードパントリー/フードドライブ）

日 付	作 業 内 容
5/29	子どもを対象としたイベントを開催、会場：新松戸 Flat、内容：ゲーム、食料配布など、参加者 30 名
8/19	新松戸市民センターで、専大松戸高校（4 名先生含む）とまつどフードバンク（3 名）のインタビューと交流会、会場：新松戸市民センター、内容：インタビューおよび交流会
10/30	子どもを対象としたハロウィンイベントを開催、会場：根本天満宮、内容：ゲーム、焼き芋、ポップコーン、食料配布など、参加者 95 名
12/11	子どもを対象としたクリスマスイベントを開催、会場：新松戸オレンジハウス、内容：ゲーム、ポップコーン、食料配布など、参加者 99 名
12/18	子どもを対象としたクリスマスイベントを開催、会場：五香ふらここ、内容：ゲーム、ポップコーン、食料配布など、参加者 72 名

⑨ 外部講師による講義の実施 【コロナ感染拡大防止のため未実施】

(2) 事業内容のふりかえり

計画した事業内容は①～⑨であったが、⑨に関しては実施することができなかったが、そのほかの事業内容についてはおおむね実施することができた。

- ① 企業や農家、一般家庭で余った食品や食材を譲り受ける。
- ② フードドライブを開催する。
- ③ 他のフードバンクから食材を譲り受ける。
- ④ 子ども食堂に食材を提供する。
- ⑤ 子どもの居場所に食べ物や飲み物を提供する。
- ⑥ 生活困窮者に食品や食材を提供する。
  - ・食品や食材を取に来られない方には郵送または自宅にお届けする。
- ⑦ フードパントリーを開催する。
- ⑧ 子どもを対象としたイベントを開催する。
  - ・松戸市が開催するイベントに参加したり、新松戸または東松戸で運営している子ども食堂と共同で 3 時間程度のイベントを開催する。

⑨外部講師による講義の実施（対象：生活困窮者、内容：食と生活）

※新規会員や食品・食材を提供して頂いた方にお礼状を送付する。

新規会員：1人、食材の提供：延べ18人、お礼状：13通送付

スケジュール的には、コロナ感染などの問題もあり、スケジュール通り実施することができなかつた。特に⑧のイベントに関しては、コロナの状況をみながら中止にしたり、スケジュールを変更したりして苦労した部分はあるが、事業的にはおおむね実施することができた。

- ・感染症対策では、マスク・消毒液・非接触電子体温計などを購入しました。
- ・子供を対象としたイベントで子供用のおもちゃの購入をしました。
- ・コロナ対策として、イベントの受付で検温をするため電子体温計を購入しました。

#### 4 事業成果について

- ・目標の達成と課題の解決について

目標と結果

① フードバンクの利用者が増える（生活困窮者が減る）

【年間フードバンク利用者】：目標：個人40人/団体60団体

結果：個人延べ311人（回）/団体延べ113団体（回）

【年間フードパントリー利用者】：目標：60組（人）

結果：延べ82人

【年間イベント参加者】：目標：60組（人）

結果：延べ266人

・コロナ禍ということもあり、フードバンクの利用者が増加した。また、フードパントリーやイベントは、コロナにより開催を中止にしたケースもありましたが目標を上回った。

目標と結果

② フードロスが減る（取扱量が増える）

【年間フードロス】：目標：提供量2.0トン＝削減量2.0トン

結果：1,070.8Kg+660Kg+2,105.2Kg=3,836Kg=3.8トン

【年間譲り受けた支援量】：目標：1.0トン

結果：3,718.7Kg+200Kg=3,918.7Kg=3.9トン

【年間フードドライブ収集量】：目標：1.0トン

結果：436.7Kg=0.4トン

・フードロスもフードバンクの利用者が増えたため、取扱量が増えフードロスが減った。企業や農家から譲り受けた食料は備蓄品や野菜・果物などを多くいただきました。また、フー

ドドライブに関しては、単独でのフードドライブはできず、ダイエーとの連携でフードドライブが実現できました。

事業の目的としていた、食べ物と食料に困っている人を結ぶ仲介役となる目標については、まだ入り口だと思っています。

当団体の目標を達成するには時間と月日と地域のご協力が必要だと考えています。

我々の活動を継続することで少しずつでも目標に近づければと思います。

課題としていた項目の解決についても目標達成と同様に考えています。

コツコツと活動することが必要で、地域に寄り添う形でこれからも取り組んでいきたいと思っています。

近年ではひとり親世帯や子供の貧困なども増えつつあり深刻な問題にもなっています。

子どもの生活環境が変わってきている中で、地域の人たちがどのように支えあっていくのか、支援していくのかが、子どもの未来を創ることができるのだと思います。

コロナ感染のため、できなかったことのほうが沢山ありますが、逆にコロナ感染による生活困窮者が増え、その人たちの支援はできたのではないかと考えています。

## 5 今後の事業展開

今後の事業の展開としては、まずは活動を継続することですが、生活困窮者や子ども食堂・子供の居場所を運営する団体を支援していくには、もっと企業様とのつながりを増やしていくことが必要だと思っています。

また、一般家庭から出る食品ロスを少なくするためにも、もっとフードドライブの活動を増やしていきたいと考えています。

将来的には、生活困窮者を減らすために、フードバンクや生活困窮者を支援するような団体を増やす必要があると感じています。松戸市や近隣の市に同様な活動をする団体を増やすような活動もできたらと思っています。

## 収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	会費収入	¥ 30,000	¥ 0	¥ 30,000	新規会員入会なし、当事業は団体拠出金より支出した為¥0
	イベント収入	¥ 25,000	¥ 2,850	¥ 22,150	1,000円+800円+1,050円=2,850円 (3回)
	松戸フードバンク団体拠出金	¥ 0	¥ 40,660	¥ ▲40,660	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 55,000	¥ 43,510	¥ 11,490	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 155,000	¥ 143,510	¥ 11,490	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 26,000	¥ 15,200	¥ 10,800	イベント&パントリー会場使用料 5月パントリー使用料3200円、6月パントリー使用料2400円、7月パントリー使用料3000円(1000×3時間)、9月パントリー使用料2000円(1000×2時間)、9月パントリー使用料1600円、10月イベント使用料1000円(3時間)、12月イベント使用料2000円
	消耗品費	¥ 12,600	¥ 41,955	¥ ▲29,355	ポスター用紙100枚入668円、表示ラベル836円、フードバンク旗代7060円、非接触デジタル体温計2セット5798円、デジタルはかり7880円、イベント用バッジ1350円、駐輪場POP200円、ポリ袋220円、ジップロック220円、布テープ220円、乾電池・延長コード1936円、食材保管用かご1760円、イベント用UF0キャッチャー3980円、イベント用プール1739円、釣り竿マグネット785円、アルミホイールほか7303円
	通信運搬費	¥ 68,100	¥ 66,222	¥ 1,878	ガソリン代合計24412円、送料(ゆうパック38名 40830円、郵送料11名 980円)
	印刷製本費	¥ 15,000	¥ 8,190	¥ 6,810	リーフレット300部8190円
	食糧費	¥ 25,500	¥ 11,943	¥ 13,557	イベント用仕入代：イベント用食糧費10943円(お菓子、缶詰、乾麺など)、サツマイモ1000円
	報償費	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	
	保険料	¥ 2,800	¥ 0	¥ 2,800	
				¥ 0	
	対象経費の合計(D)	¥ 155,000	¥ 143,510	¥ 11,490	
(その他経費)	食糧費			¥ 0	
	交通費			¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額(E)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	合計額(F) = (D+E)	¥ 155,000	¥ 143,510	¥ 11,490	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----



## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	イベント収入	¥ 2,850	1,000円+800円+1,050円=2,850円（10月根本天満宮、12月新松戸、12月五香、3回）
	まっどフードバンク団体拠出金	¥ 40,660	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 43,510	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合計額	¥ 143,510	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 15,200	イベント&パントリー会場使用料 5月パントリー使用料3200円、6月パントリー使用料2400円、7月パントリー使用料3000円（1000×3時間）、9月パントリー使用料2000円（1000×2時間）、9月パントリー使用料1600円、10月イベント使用料1000円（3時間）、12月イベント使用料2000円
	消耗品費	¥ 41,955	ポスター用紙100枚入668円、表示ラベル836円、フードバンク旗代7060円、非接触デジタル体温計2セット5798円、デジタルはかり7880円、イベント用バッジ1350円、駐輪場POP200円、ポリ袋220円、ジップロック220円、布テープ220円、乾電池・延長コード1936円、食材保管用かご1760円、イベント用UFOキャッチャー3980円、イベント用プール1739円、釣り竿マグネット785円、アルミホイルほか7303円
	通信運搬費	¥ 66,222	ガソリン代合計24412円、送料（ゆうパック38名 40830円、郵送料11名 980円）
	印刷製本費	¥ 8,190	リーフレット300部8190円
	食糧費	¥ 11,943	イベント用仕入代：イベント用食糧費10943円（お菓子、缶詰、乾麺など）、サツマイモ1000円
	対象経費の合計	¥ 143,510	
その他経費	食糧費		
	交通費		
	その他経費の合計	¥ 0	
	合計額	¥ 143,510	



[生きづらさ・ひきこもり] からだとところに栄養を  
あたえる場づくり事業

生きづらわーほりプロジェクト

## 活動状況報告書

1 事業名称 [生きづらさ・ひきこもり] からだとところに栄養をあたえる場づくり事業

2 実施主体

■団体名： 生きづらわーほりプロジェクト

従事者数： 17人

団体概要： ひきこもり当事者など生きづらさを抱えた人が、孤立を解消し、生きづらさを和らげ、生き生きと暮らしていけるようにするため、下記の観点で一連の仕組みを設け、当事者一人ひとりの行動をアシストすることを目指して活動している。

- ・当事者が安心して過ごせる・話せる・参加できる場を多くつくる
- ・そのような場があることを当事者に伝える
- ・当事者が場に出ていきやすいようにサポートする
- ・場とつながった当事者を見守りフォローする

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

I 生きづら Cooking-Meeting「つたわり」の実施(8月以降はZoomにて並行開催)

日付	作業内容
4月25日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者2人
5月23日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者6人
6月27日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者4人
7月31日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者4人
8月28日	イベント「つたわりミニ」の開催 五香市民センター 参加者2人
9月25日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者3人
10月30日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者6人
11月27日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参

	加者 1 人
12 月 25 日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者 3 人
1 月 16 日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者 3 人
2 月 19 日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者 1 人
3 月 26 日	イベント「つたわり」の開催 松戸市民会館 参加者 4 人

## II ハート to ハートまつど懇談会の実施

日 付	作 業 内 容
8 月 16 日～9 月 3 日	事業 PR パネル展示
1 月 11 日	チラシの印刷
1 月 30 日	打ち合わせ
2 月 26 日	イベント「ハート to ハートまつど懇談会」の開催 松戸市民会館 外部講師：トカネット（ゲーム会運営メンバー）3 人、いたばし対話プラス 1 人 一般参加者 7 人

### (2) 事業内容のふりかえり

「つたわり」については、新型コロナウイルス感染症の状況に伴い、料理や会食をする形式の会合を実施することが難しかったため、料理や会食はせず対話を中心とした内容に簡素化した「つたわりミニ」を 4 月から 10 月にかけて開催しました。

「つたわりミニ」を実施するにあたっては、料理・会食に代わるレクリエーションとしてボードゲームを用意したり、遠隔からでも参加できるようオンライン会議（ZOOM）を並行して開催したりして、より参加しやすい場となるよう工夫を行いました。

11 月からは「つたわり」を開始、以後 2 月を除いて計画していた事業内容で実施しました。

「つたわり」と「つたわりミニ」を合わせると計画通り毎月 1 回開催しましたが、参加者が集まらないことが想定されたため、全て「通常版」の開催にして、対象者を分けた「若人版」、「女子会版」の会合は実施しませんでした。

「ハート to ハートまつど懇談会」については、当初想定していた内容を変更し、ワークショップ形式での対話・交流会を実施しました。開催時期は計画より 1 か月後ろ倒ししました。他の市民団体の協力を得ることができ、問題なく開催することができました。

## 4 事業成果について

- ・ 目標の達成と課題の解決について

①社会につながろうとするひきこもり当事者・経験者が増える。【「つたわり」参加人数 60人（各回平均5人）】

「つたわり」「つたわりミニ」については、参加者数は目標としていた人数には届きませんでしたが、毎回一定の参加者があり、合計39人でした。繰り返し参加される方が多くいらっしやったのは良かった一方、初めて参加する方が少なかったのが課題となります。ひきこもり当事者の身近に「安心して過ごせる場・話せる場」を作ることはできているので、今後も継続していくとともに、知名度を上げて情報を伝えていきます。

②ひきこもりに関心を持つ人同士の交流が図られアイデアがシェアされる。【「ハート to ハートまつど懇談会」参加人数 20人】

「ハート to ハートまつど懇談会」については、参加人数は延べ7人で目標には達しませんが、ワークショップ形式での対話を深めることができました。人と人のつながりを広げていくことにより、ひきこもり当事者に必要とされるサポートの仕組みについてアイデアを出し、その仕組みを作っていきます。

## 5 今後の事業展開

本年度、団体の活動メンバーが増えてきたこと、また松戸市内（および市外）で他の市民団体と連携した活動なども実施することが増えてきていることから、これまでの取り組みに加えて、新たなアイデアによる新しい活動など市内での活動をさらに広げていきます。

ひきこもり当事者の状態（外出が難しい状態の当事者、他人とのコミュニケーションに不安を感じている当事者、就労に対する意欲が出てきた当事者など）に合わせて、より有効なサポートが提供できるよう検討していきたいと考えています。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 15,920	¥ 36,550	¥ ▲20,630	事業費の一部を団体の会計より拠出
	「つたわり」「つたわりミニ」参加費	¥ 18,000	¥ 5,200	¥ 12,800	参加費は参加者自身が設定する方式にて実施
	「ハートtoハートまつど懇談会」参加費	¥ 6,000	¥ 1,800	¥ 4,200	300円×6人分
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 39,920	¥ 43,550	¥ ▲3,630	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 85,947	¥ 14,053	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 139,920	¥ 129,497	¥ 10,423	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ 0	外部講師謝礼 10,000円×1回
	消耗品費	¥ 1,400	¥ 20,324	¥ ▲18,924	ふきん、洗剤、スポンジ 1,726円
					コップ 110円
					代替レクリエーション (ボードゲーム) 18,488円
	食糧費	¥ 59,100	¥ 23,923	¥ 35,177	食料品 21,855円
					参加者用飲み物代 2,068円
	印刷製本費	¥ 9,250	¥ 3,350	¥ 5,900	チラシ印刷 2,870円
					コピー代 10円×48枚
	使用料および賃借料	¥ 32,940	¥ 37,900	¥ ▲4,960	会場使用料 (まつど市民活動サポートセンター 第1、第2会議室) 6,380円 220円×29時間
					会場使用料 (五香市民センター 和室、設備使用料) 1,800円 440円×4時間 10円×4時間
会場使用料 (まつど市民活動サポートセンター 調理室) 5,700円 380円×15時間					
会場使用料 (松戸市民会館 102料理教室、設備使用料) 4,620円 760円×6時間 10円×6時間					
会場使用料 (松戸市民会館 202会議室、設備使用料) 1,800円 440円×4時間 10円×4時間					
オンライン会議利用料 (ZOOM) 17,600円 2,200円×8ヶ月					
対象経費の合計 (D)					¥ 112,690
(その他) 経費	交通費	¥ 26,600	¥ 34,000	¥ ▲7,400	運営メンバーの交通費 1,000円×34人
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 26,600	¥ 34,000	¥ ▲7,400	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 139,290	¥ 129,497	¥ 9,793	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 14,053
-----	----------

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 36,550	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	「つたわり」「つたわりミニ」参加費	¥ 5,200	参加費設定なし×12回開催 延べ39人参加 (※参加費は参加者自身が設定する方式にて実施)
	「ハートtoハートまつど懇談会」参加費	¥ 1,800	300円×6人分
	自己資金の合計額	¥ 43,550	
市	市民活動助成金	¥ 85,947	
	合計額	¥ 129,497	

## 【支出】

科目	金額	内訳・説明事項（用途など）	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 10,000 講師謝礼 外部講師 一般社団法人トカネット 10,000円×1回	
	消耗品費	¥ 20,324 ふきん 1,047円 スポンジ 274円 洗剤 405円 コップ 110円 代替レクリエーション ボードゲーム（スコットランドヤード東京） 3,930円 ボードゲーム（お邪魔者、お邪魔者2） 3,000円 ボードゲーム（FILLIT） 3,000円 ボードゲーム（インサイダー・ゲーム、ito） 4,158円 ボードゲーム（ZOOM IN KOBE） 4,400円	
	食糧費	¥ 23,923 食料品 11/27 2,788円 12/25 4,749円 1/16 8,004円 3/26 6,314円 参加者用飲み物代 4/25 393円 6/27 542円 8/28 216円 2/19 395円 2/26 522円	
	印刷製本費	¥ 3,350 チラシ印刷 2,870円（7,175円×400部） コピー代 10円×48枚=480円	
	使用料および賃借料	¥ 37,900 まつど市民活動サポートセンター 第1会議室／第2会議室 6,380円 4/25 220円×5時間=1,100円 5/23 220円×4時間=880円 6/27 220円×4時間=880円 7/31 220円×4時間=880円 9/25 220円×4時間=880円 10/30 220円×4時間=880円 2/19 220円×4時間=880円 五香市民センター 和室 1,800円 8/28 440円×4時間=1,760円 設備使用料 10円×4時間=40円 まつど市民活動サポートセンター 調理室 5,700円 11/27 380円×5時間=1,900円 12/25 380円×5時間=1,900円 1/16 380円×5時間=1,900円 松戸市民会館 102料理教室 4,620円 3/26 760円×6時間=4,560円 設備使用料 10円×6時間=60円 松戸市民会館 202会議室 1,800円 2/26 202会議室 440円×4時間=1,760円 設備使用料 10円×4時間=40円 オンライン会議 17,600円 ZOOM 2,200円×8ヶ月	
	対象経費の合計	¥ 95,497	
	その他経費	交通費	¥ 34,000 運営メンバーの交通費 1,000円×34人
		その他経費の合計	¥ 34,000
		合計額	¥ 129,497



いきいき体操事業

特定非営利活動法人 アイギス

# 活動状況報告書

1 事業名称

~~特定非営利活動法人~~  
アイギス いまいき体操事業

2 実施主体

■団体名: ~~いまいき体操~~ 特定非営利活動法人 アイギス

従事者数: 7名

団体概要: 団地内、地域住民(主に60以上の高齢者)の精神面の健康を考慮し、交流の場所をつくり、一人でも多くの方の参加に努めています。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容 毎月第2、第4日曜日にAM 10:00~11:30、野々子コーナートレーニングスタジオで行っています。

日	付	作業内容
4月	11日 25日	いまいき体操 野々子コーナートレーニングスタジオ 参加者 16名 x 2
5	9日 23日	" " " " 17名 x 2
6	13日 27日	" " " " 16名 x 2
7	11日 25日	" " " " 自由参加
8	8日 22日	" " " " "
10	10日 24日	" " " " 17名 x 2
11	14日 28日	" " " " 17名 x 2
12	12日 26日	" " " " 16名 x 2
1	9日 23日	" " " " 17名 x 2
2	13日 27日	" " " " 16名 x 2
3	13日 27日	" " " " 16名 x 2

毎月ポスターを2ヶ所掲示板に掲示しています。

12/24、2/12の2回の集りに体操指導をして頂いています。

(2) 事業内容のふりかえり

年間を通してコロナ感染対策を一番に考へました。7月、8月の2ヶ月間は  
ワクチン接種もあり、少人数でも参加費なしの自由参加と致しました。  
9月は会場も封鎖になりました。継続の不安を払ったので参加者  
の皆さんの明子への励まし言葉に支えられ、10月より開催予定  
が出来るようになりました。8月は封鎖されたので1/24日集まりをとり、体操の  
指導をして頂きました。

- 期初に掲げた会の会場で事業を行うことについて ——
- 4 事業成果について 会場を近隣の東松戸支所に変更し20名位入れと下うに検討  
・目標の達成と課題の解決について話し合ったので参加者の声もあり、梨香台団地で行うことになりました。

コロナ感染対策に211ヶ月の体操教室をしたので、健康に因りて  
意欲的な方が多いです。30分前に入室出来るので皆さん、ふしや  
べりをたのしみです。新着の方ばかり2-4に紹介していき

5 今後の事業展開

会場の都合上、17名以上は無理です。後から来た方の子  
がいたり、月2回の開催での参加者も、回数を増し  
という声もあり、2-4、スタッフと今後の課題として検討  
中です。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 5,000	¥ 342	¥ 4,658	事業費の一部を団体の会計から拠出
	寄付金	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	未実施
	体操参加料	¥ 72,000	¥ 59,200	¥ 12,800	200円×16名×2回×5ヶ月=32,000円 200円×17名×2回×4ヶ月=27,200円
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 82,000	¥ 59,542	¥ 22,458	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 94,995	¥ 5,005	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 182,000	¥ 154,537	¥ 27,463	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 72,000	¥ 72,000	¥ 0	コーチ謝礼48,000円 (2,000円×2回×12ヶ月) ボランティアスタッフ謝礼24,000円 (2名×500円×2回×12ヶ月) (会場イス整理及び消毒2名分)
	印刷製本費	¥ 40,800	¥ 4,070	¥ 36,730	ポスター作成 Mクリエイション A4 1,000枚 4,070円
	委託料	¥ 0	¥ 11,000	¥ ▲11,000	ポスター作成 Mクリエイション デザインレイアウト 一式 11,000円
	消耗品費	¥ 980	¥ 0	¥ 980	ポスター作成は印刷製本費より支出したため0円
	使用料及び賃借料	¥ 35,520	¥ 18,480	¥ 17,040	梨香台集会所 1,680円×11ヶ月
	保険料	¥ 7,200	¥ 0	¥ 7,200	加入しなかったため0円
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計 (D)	¥ 156,500	¥ 105,550	¥ 50,950	
(その他経費)	食糧費	¥ 1,500	¥ 4,400	¥ ▲2,900	自販機 100円×2本×2回×11ヶ月
	交通費	¥ 24,000	¥ 43,120	¥ ▲19,120	270円×2人×2回×11ヶ月=11,880円 170円×2人×2回×11ヶ月=7480円 (370円+170円)×2人×2回×11ヶ月=23,760円
	雑費		¥ 1,467	¥ ▲1,467	洗剤代3ヶ1247円 振込手数料220円
	その他経費の合計額 (E)	¥ 25,500	¥ 48,987	¥ ▲23,487	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 182,000	¥ 154,537	¥ 27,463	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 5,005
-----	---------

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 342	事業費の一部を団体の会計から拠出
	体操参加料	¥ 59,200	200円×16名×2回×5ヶ月=32,000円 200円×17名×2回×4ヶ月=27,200円
	自己資金の合計額	¥ 59,542	
市	市民活動助成金	¥ 94,995	
	合計額	¥ 154,537	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 72,000	コーチ謝礼48,000円（2,000円×2回×12ヶ月） ボランティアスタッフ謝礼24,000円（2名×500円×2回×12ヶ月）（会場イス整理及び消毒2名分）
	印刷製本費	¥ 4,070	ポスター作成 Mクリエイション A4 1,000枚 4,070円
	委託料	¥ 11,000	ポスター作成 Mクリエイション デザインレイアウト 一式 11,000円
	使用料及び賃借料	¥ 18,480	梨香台集会所 1,680円×11ヶ月
		対象経費の合計	¥ 105,550
その他経費	食糧費	¥ 4,400	自販機 100×2本×2回×11ヶ月
	交通費	¥ 43,120	270円×2人×2回×11ヶ月=11,880円 170円×2人×2回×11ヶ月=7480円（370円+170円）×2人×2回×11ヶ月=23,760円
	雑費	¥ 1,467	洗剤代3ヶ1247円 振込手数料220円
		その他経費の合計	¥ 48,987
	合計額	¥ 154,537	



松戸のイメージ向上のための  
コミュニケーション事業

まつどのこもりかた。編集部

広報広聴課 シティプロモーション担当室

# 活動状況報告書

1 事業名称 松戸のイメージ向上のためのコミュニケーション事業

2 実施主体

■団体名： まつどのこもりかた。編集部

従事者数： 5名

団体概要： 松戸市にゆかりのある女性が、松戸市の魅力を人々と触れ合いながら紹介していく超地域密着型のWEBコンテンツを提供します。「まつどのこもりかた。」というホームページを構え、そこに松戸の魅力をまとめた記事を投稿します。地域の活性化と松戸への愛着を高めることを目標にします。

■事業担当課：総合政策部 広報広聴課 シティプロモーション担当室

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

松戸市の魅力調査・取材・撮影、ホームページ更新、SNS更新

■担当課の役割

大学との連携、出演者や松戸の魅力紹介

4 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

## 1. WEBサイト「まつどのこもりかた。」の記事作成

①WEBサイト(Twitter、Instagram含む)公開までの流れ

(1) 情報収集(随時)→SNS・地域性・店舗状況等を勘案

・若者世代に支持されている店か(アンケート、口コミ紹介等)

・若い女性が一人で過ごしやすい、くつろげる店、場所か

・地域で親しまれているか(客層、評判など)

・オーナーや店員の人柄は魅力的か

などから総合的に判断

(2) 店舗下見、撮影交渉(撮影日の約1~2カ月前)、編集会議

(3) モデル探し&事前説明(約1カ月前)

(4) 撮影事前準備(機材の準備・設定、メイク・衣装調達など)

(5) 撮影(当日)設営、メイク、テスト撮影、料理、モデル&店長インタビュー、本番撮影

(6) 編集会議、インタビューのまとめ



(7)HP 作成・編集→内容確認(店舗、モデル)→公開

②Web サイト「まつどのこもりかた。」の周知

- ・ SNS での本サイト更新情報の発信 (2021 年度各月)
- ・ 聖徳大学へチラシ設置 (2021 年 7 月)
- ・ まつどやさしい暮らしラボ掲載 (2021 年 9 月 1 日)

## 2. スケジュール(2021 年度)毎月 1 回更新(12 回)

【コロナウイルス感染症の影響などにより 1 回未実施のため、11 回実施となった】

日 付	作 業 内 容
	具体的な取り組み 実施体制・対象・場所等
2021 年 4 月	『まつどのこもりかた。』<vo13> 取材、撮影、記事作成 出演：舟木詩織さん 取材先：MATSUDO MONJA
2021 年 5 月	『まつどのこもりかた。』<vo14> 取材、撮影、記事作成 出演：サトウミホさん (仮名) 取材先：ニューフジコ
2021 年 6 月	『まつどのこもりかた。』<vo15> 取材、撮影、記事作成 出演：澤山由寿稀さん 取材先：丸吉
2021 年 7 月	『まつどのこもりかた。』<vo16> 取材、撮影、記事作成 出演：黒川亜美さん 取材先：MAHAMERU COFFEE
2021 年 8 月	『まつどのこもりかた。』<vo17> 取材、撮影、記事作成 出演：渡辺あてなさん、渡辺なつきさん 取材先：ym.
2021 年 9 月	『まつどのこもりかた。』<vo18> 取材、撮影、記事作成 出演：高橋桃さん 取材先：パティスリーマーサ
2021 年 10 月	『まつどのこもりかた。』<vo19> 取材、撮影、記事作成 出演：茅野真央さん 取材先：foocafe
2021 年 11 月	『まつどのこもりかた。』<vo20> 取材、撮影、記事作成 出演：LISA さん 取材先：trattoria PACE
2021 年 12 月	『まつどのこもりかた。』<vo21> 取材、撮影、記事作成

	出演：青山未歩さん 取材先：SpreadRui
	※2022年1月は、コロナ、年末年始のスケジュール関係で実施せず
2022年2月	『まつどのこもりかた。』<vo22> 取材、撮影、記事作成 出演：能登谷小町さん 取材先：珈琲園
2022年3月	『まつどのこもりかた。』<vo23> 取材、撮影、記事作成 出演：花島綾乃さん 取材先：AYAZEN（農家）

## (2) 事業内容のふりかえり

松戸市の魅力（主に飲食店）を調査・取材し、まつどのこもりかた。ホームページや公式SNSにて発信していくこと、また松戸市の広報誌「まつどやさしい暮らしラボ」に紹介記事を掲載できたため、概ね計画通りに進行する事ができた。

ホームページの改修などに取り組むことができなかったため、その分の予算執行はできていない。

当初予算より、サーバーとドメインは費用の引き上げがあり、高額となった。  
また予算計画にはなかったが、撮影の準備用にヘアメイクスタンバイスペースが必要となったため、松戸市内のレンタルスペースを借用することとなった。

## 5 事業成果について

### ・目標の達成と課題の解決について

目標：TwitterとInstagramのフォロワー数合計1,000件以上

結果：1059件（Twitter：239、Instagram：820）

出演者の不足やコロナウイルス感染予防対策による飲食店休業などによって、調整する部分も多くあったが、今年度は589件フォロワーを獲得し目標であるSNSフォロワー数1,000（Instagram：820、Twitter：239）を超えることができた。

また、各SNSに松戸市民から「いいね」や「コメント」をもらい、相互的なコミュニケーションを図ることができたため、イメージアップにつながったと考える。

しかしながらまだまだコミュニケーション数は少ないため、これからも本活動が続けることで、松戸のイメージアップを図っていきたい。

## 6 今後の事業展開

コロナウイルスによる経済的なダメージもあり、地域に根付いた飲食店の紹介が多くなったが、その他の松戸市の魅力となるものを紹介していきたい。

また現在ホームページでは写真やテキストを中心にした記事を投稿することのみになっているが、紹介したお店のマップ制作などコンテンツを追加していきたい。

## 収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 520,572	¥ 417,191	¥ 103,381	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 80,020	¥ 48,755	¥ 31,265	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 80,020	¥ 48,755	¥ 31,265	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	¥ 195,794	¥ 304,206	<b>←精算額</b>
合計額 (D) = (B + C)		¥ 580,020	¥ 244,549	¥ 335,471	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳	
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 180,000	¥ 120,000	¥ 60,000	出演者報償費 120,000円	
	消耗品費	¥ 126,000	¥ 34,429	¥ 91,571	化粧品類 3,520円 撮影対象品 (9回分) 24,128円 撮影備品 6,781円	
	印刷製本費	¥ 34,020	¥ 3,550	¥ 30,470	配布用チラシ 3,550円	
	使用料及び賃借料		¥ 7,000	¥ 11,550	¥ ▲4,550	サーバー使用費 3,465円 (2021年9月更新) 8,085円 (2022年3月更新)
			¥ 1,000	¥ 1,893	¥ ▲893	ドメイン使用費 1,893円
			¥ 0	¥ 16,127	¥ ▲16,127	ヘアメイクスタンバイスペース使用費 16,127円
	委託料	¥ 220,000	¥ 30,000	¥ 190,000	チラシデザイン費 30,000円	
	対象経費の合計 (E)		¥ 568,020	¥ 217,549	¥ 350,471	
(その他) 経費	食糧費	¥ 6,000	¥ 0	¥ 6,000		
	交通費	¥ 6,000	¥ 0	¥ 6,000		
	駐車場代		¥ 27,000	¥ ▲27,000	駐車場代 (ロケハン・打ち合わせ11回分)	
	その他経費の合計額 (F)	¥ 12,000	¥ 27,000	¥ ▲15,000		
合計額 (G) = (E + F)		¥ 580,020	¥ 244,549	¥ 335,471		

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 304,206
------------	-----------

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 48,755	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 48,755	
市	松戸市負担金	¥ 195,794	
	合計額	¥ 244,549	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）	
負担金の 交付対象 経費	報償費	¥ 120,000	出演者報償費	120,000円（10,000円×10回）（20,000円×1回）
	消耗品費	¥ 34,429	化粧品類 撮影対象品 撮影備品	3,520円（化粧下地1点） 24,128円（撮影した料理など撮影9回分） 6,781円（テーブル、ランチョンなどその他3点）
	印刷製本費	¥ 3,550	配布用チラシ	3,550円 A4チラシ 500枚
	使用料及び賃借料	¥ 11,550	サーバー使用費	3,465円（2021年9月更新） 8,085円（2022年3月更新）
		¥ 1,893	ドメイン使用費	1,893円
		¥ 16,127	ヘアメイクスタンバイ スペース使用費	16,127円 7ヵ所
	委託料	¥ 30,000	チラシデザイン費	30,000円 モデル募集チラシ
	対象経費の合計	¥ 217,549		
その他 経費	駐車場代	¥ 27,000	駐車場代（ロケハン・打ち合わせ11回分）	
	その他経費の合計	¥ 27,000		
	合計額	¥ 244,549		

## 労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×923円
	カメラマン撮影	81,224 円	1 人 × 8 h × 11 回 × 923 円
	ヘアメイクモデルセットアップ	81,224 円	1 人 × 8 h × 11 回 × 923 円
	全体ディレクター	81,224 円	1 人 × 8 h × 11 回 × 923 円
	投稿準備、作業	60,918 円	2 人 × 3 h × 11 回 × 923 円
	写真レタッチ	50,765 円	1 人 × 5 h × 11 回 × 923 円
	記事編集	30,459 円	1 人 × 3 h × 11 回 × 923 円
	お店打ち合わせ	60,918 円	3 人 × 2 h × 11 回 × 923 円
	モデル打ち合わせ	30,459 円	3 人 × 1 h × 11 回 × 923 円
	合 計 (A)	477,191 円	

松戸市町会 PR 動画制作事業

できる街プロジェクト

## 活動状況報告書

1 事業名称 松戸市町会 PR 動画制作事業

2 実施主体

■団体名： できる街プロジェクト

従事者数： 15名

団体概要： 2015年10月設立のNPO企画団体・市民公益活動団体。

地域活性化を主な目的として、プロアマ問わずクリエイターが多く在籍し、アニメ・漫画を使った市のPR活動、障害者支援、引きこもり支援など多岐にわたり活動。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

A. 作品の打合せと動画内容の検討

日付	作業内容
4/23～6/2	企画書作成

B. 記者発表・動画作成協力者の募集

4/11	動画内容打合せ
4/23～6/2	声優オファー
4/23～6/2	メンバー募集ポスター作成
6/8～10/31	メンバー募集、面談
6/24	プレスリリース (活動開始)
12/16	プレスリリース (アニメ公開)

C. 動画撮影 (計画変更により未実施)

D. 動画制作

6/2～8/3	町会・自治会の活動内容について市民自治課ヒアリング 脚本作成(第1話～第4話)
9/22～26	撮影機材レンタル
9/23	音声収録 (声優出演：じちまる役 村田綾野、まつかめ役 萱沼千穂) 音響機材レンタル スタジオ使用



8/3～12/31	アニメ用イラスト制作(第1話～第4話)
9/15～1/31	アニメ用動画制作(第1話～第4話)
10/1～11/30	アニメ用BGM制作(第1話～第2話)
12/1～1/31	アニメ用BGM制作(第3話～第4話)

#### E. 動画公開

11/30	第1話公開
12/24	第2話公開
1/31	第3話公開
2/28	第4話公開

#### (2) 事業内容のふりかえり

町会・自治会に着目することから市民自治課自治振興班の協力を得ながら活動を進めましたが、コロナ禍ということで、町会・自治会長は高齢で感染リスクが高すぎるため、直接取材し、動画を制作することは難しいとのアドバイスがありました。実際の町会活動の様子などが撮影できないことや町会自治会キャラクターもいたことから予定していた実写での町会・自治会 PR 動画の内容を変更し、当団体では制作経験もあり強みでもあるキャラクターが中心となったアニメ制作となりました。

アニメの内容は、町会・自治会の活動内容をわかりやすく各話1分～1.5分程度のSNSで見やすい長さの尺でキャラクターが紹介しています。

そのため、下記の修正となりました。

- ・ナレーション出演費(1人)だったものをキャラクター声優(2人)に変更
- ・ナレーション収録でなくなったため収録時間が短くなり、スタジオ使用料が安価に変更
- ・実写撮影による道路の使用許可が不要となったため、道路使用料はなしに変更

メンバー募集の際、57名と応募人数があまりにも多く松戸市の方々への本活動の認知が広く伝わったことが感じられる。実施内容を変更したが、スケジュールに大きな影響はなく、予定通りの進行をすることができた。

#### 4 事業成果について

- ・目標の達成と課題の解決について

動画の再生回数(目標:10,000回、実測:12,838回) ※2/19時点

第1話(Twitter:4,367回、YouTube:325回)

第2話(Twitter:2,715回、YouTube:153回)

第3話(Twitter:5,172回、YouTube:106回)

→第3話時点で目標再生回数を達成できた。

課題である松戸市民への町会活動の認知度向上・町会加入率の低下を防ぐことについて、現時点では、加入率の低下を防ぐほどの成果は出ていないこと、得意な Twitter では視聴回数を得られたが、YouTube では今一つの印象だった。

動画は、直接的に町会・自治会加入率の低下を防ぐための内容ではありませんが、「町会・自治会」というものがどんなものでどんな役割があるのかについてわかりやすい内容にできた。しかし、今後活動を続けていくことで、より多くの方が知る機会を作り、町会活動の認知度向上・加入率の低下を防げるようできるので、今後も活動を続け課題解決につなげられる活動にしたい。

## 5 今後の事業展開

- ・活動を長く継続すること
- ・松戸に関わりのある有名人に出演してもらう
- ・イベントを開催する

以上を行い、認知度の向上を目指す。この活動の認知度が向上することで、松戸市町会自治会の認知度向上となり、松戸市町会自治会の加入率向上につなげることができる。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 83,000	¥ 102,057	¥ ▲19,057	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 83,000	¥ 102,057	¥ ▲19,057	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 183,000	¥ 202,057	¥ ▲19,057	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 30,000	¥ 33,000	¥ ▲3,000	声優出演費：16,500円×2人=33,000円
	消耗品費	¥ 6,000	¥ 6,540	¥ ▲540	印刷用紙：880円×1セット=880円 インク：1,580円×1種=1,580円 インク：1,360円×3種=4,080円
	印刷製本費	¥ 12,000	¥ 6,120	¥ 5,880	ポスター印刷費：41.2円×100枚=4,120円 ポスター印刷費：50円×40枚=2,000円
	使用料及び賃借料	¥ 75,000	¥ 61,765	¥ 13,235	スタジオ使用料：6,765円×1点=6,765円 音声収録料：10,000円×1点=10,000円 撮影機材レンタル料：30,000円×1回=30,000円 音声収録用音響機材使用料：15,000円×1点=15,000円
	委託料	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ 0	BGM制作料：5,000円×2回=10,000円
	対象経費の合計 (D)	¥ 133,000	¥ 117,425	¥ 15,575	
(その他) 経費	交通費	¥ 0	¥ 2,432	¥ ▲2,432	柏⇄松戸440円×4回、南柏⇄松戸336円×2回
	経費	¥ 50,000	¥ 82,200	¥ ▲32,200	脚本：10,000円、動画制作費：36,000円、BGM制作費：10,000円、駐車場代：1,200円、キャラクターデザイン：20,000円、ポスターイラスト制作費：5,000円
	その他経費の合計額 (E)	¥ 50,000	¥ 84,632	¥ ▲34,632	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 183,000	¥ 202,057	¥ ▲19,057	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 102,057	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 102,057	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合計額	¥ 202,057	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の 交付対象 経費	報償費	¥ 33,000	声優出演費：16,500円×2人=33,000円
	消耗品費	¥ 6,540	印刷用紙：880円×1セット=880円 インク：1,580円×1種=1,580円 インク：1,360円×3種=4,080円
	印刷製本費	¥ 6,120	ポスター印刷費：41.2円×100枚=4,120円 ポスター印刷費：50円×40枚=2,000円
	使用料及び賃借料	¥ 61,765	スタジオ使用料：6,765円×1点=6,765円 音声収録料：10,000円×1点=10,000円 撮影機材レンタル料：30,000円×1回=30,000円 音声収録用音響機材使用料：15,000円×1点=15,000円
	委託料	¥ 10,000	BGM制作料：5,000円×2回=10,000円
	対象経費の合計	¥ 117,425	
その他 経費	交通費	¥ 2,432	柏⇄松戸440円×4回、南柏⇄松戸336円×2回
	経費	¥ 82,200	脚本：10,000円、動画制作費：36,000円、BGM制作費：10,000円、駐車場代：1,200円、キャラクターデザイン：20,000円、ポスターイラスト制作費：5,000円
	その他経費の合計	¥ 84,632	
	合計額	¥ 202,057	

松戸市ご当地アニメ制作事業

超普通スタジオ

## 活動状況報告書

1 事業名称 松戸市ご当地アニメ制作事業

2 実施主体

■団体名： 超普通スタジオ

従事者数： 13名

団体概要： 2020年4月に設立したご当地動画制作サークル。  
地域活性化を目的とした動画を制作する団体。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

A. 作品の制作発表・声優オーディションの開催

日 付	作 業 内 容
4/1～7/31	サークル TK へオーディションページ&投票ページ制作依頼
4/30～5/31	声優オーディション募集&1次審査(書類審査)
5/13	プレスリリース(声優オーディション)
5/25	東京新聞掲載
5/26	J:COM 報道
6/1～6/30	声優オーディション2次審査(音声審査)
7/11	声優オーディション3次審査(ZOOM 面談)
7/21	プレスリリース(オーディション最終候補者)
8/1	声優オーディション最終審査(配信) 司会：株式会社アルディ 篠原夢さん 場所：99base
8/1～8/7	声優オーディション一般投票期間
8/4	J:COM 報道
8/25	J:COM 報道
10/20	れポたま！掲載
1/28	J:COM 報道

B. PR アニメを制作・公開

4/30～8/1	脚本制作
4/1～7/1	キャラクターデザイン 中道裕大さんに依頼・受領
9/23	音声収録 出演：谷始央理さん、ほのかさん

9/23	音響機材レンタル
8/2～11/30	漫画制作
11/23	音声収録 出演：月野もあさん
8/2～11/30	アニメ用イラスト制作
12/1～12/31	アニメ制作
1/7～2/11	漫画・4コマアニメ公開（週1回6本公開）
2/18	ポスターの印刷
2/28	アニメ第1話公開
2/21～5/31	ポスターの掲示

## (2) 事業内容のふりかえり

目的としていた「声優オーディション」「PRアニメ制作」を行うことができた。声優オーディションは目標より多い117名の応募をもらい、声優は松戸市育ちの谷始央理さんに決まった。たくさんの方が関わる機会を作ることができ、多くの方への発信ができた。なお、予算変更に関しては、声優の件、コロナ禍ということで大人数の収録が厳しくなったため、出演者を絞ることとなりました。インクの件、インクのセット販売がなくなっており個別で購入をしました。フライヤー・ポスターの件、コロナ禍のため、フライヤーよりもポスターの方が効果が高いため、ポスターに絞り、枚数を40枚に増やしました。スタジオの件、使用料が割高に変わっておりました。

## 4 事業成果について

### ・目標の達成と課題の解決について

#### A. この作品を知る人の数を増やす

声優オーディション応募数 目標：100人、結果：117人

#### B. 動画の再生回数

目標：10,000回、結果：29,167回 ※2/19時点

Twitter4コマアニメ①9,808回、②8,392回③1,617回④3,665回⑤4,010回⑥1,471回

YouTube アニメ 204回 ※3/2時点

事業課題である「松戸市のありとあらゆる人たちのつながりを作る」「松戸が住みよい街になる」に関し、「声優オーディションにおいて松戸に縁のある声優117名の応募があったこと」「声優オーディションの投票総数1,367票だったこと」「アニメの視聴回数が延べ29,167回だったこと」から課題の第1歩を行うことができました。これからの活動で松戸市の方々に直接アプローチする活動を行い、松戸市を住みよい街にしていく活動としたい。

## 5 今後の事業展開

今後は、松戸市内の企業や団体と連携し、松戸市をPRする作品を継続して制作します。  
2022年度は、連携企業・団体の募集を行い、様々な人たちとつながり、認知度の向上を行います。  
また、定期的な配信とテレビ放送を行い、多くの人に愛される作品にします。



## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 133,000	¥ 113,425	¥ 19,575	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 133,000	¥ 113,425	¥ 19,575	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 233,000	¥ 213,425	¥ 19,575	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 100,000	¥ 64,000	¥ 36,000	声優出演費：5,000円×2人=10,000円 声優出演費：22,000円×2人=44,000円 キャラクターデザイン：10,000円×1点=10,000円
	消耗品費	¥ 6,000	¥ 6,780	¥ ▲780	印刷用紙：880円×1箱=880円 インク：5,900円×1(4種)=5,900円
	印刷製本費	¥ 12,000	¥ 2,000	¥ 10,000	ポスター印刷費：50円×40枚=2,000円
	使用料及び賃借料	¥ 35,000	¥ 37,000	¥ ▲2,000	スタジオ使用料：12,000円×1点=12,000円 音声収録料：10,000円×1点=10,000円 音声収録用音響機材使用料：15,000円×1点=15,000円
	委託料	¥ 30,000	¥ 30,000	¥ 0	オーディション投票ページ制作費：30,000円×1点=30,000円
				¥ 0	
		対象経費の合計 (D)	¥ 183,000	¥ 139,780	¥ 43,220
(その他)経費	交通費	¥ 0	¥ 880	¥ ▲880	柏⇄松戸440円×2回
	経費	¥ 50,000	¥ 72,765	¥ ▲22,765	脚本制作費：10,000円、スタジオ代：6,765円、配信対応費：10,000円、撮影対応費：3,000円、キービジュアル代：5,000円、イラスト制作費：18,000円、イラスト制作費：20,000円
	その他経費の合計額 (E)	¥ 50,000	¥ 73,645	¥ ▲23,645	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 233,000	¥ 213,425	¥ 19,575	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 113,425	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 113,425	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合計額	¥ 213,425	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の 交付対象 経費	報償費	¥ 64,000	声優出演費：5,000円×2人=10,000円 声優出演費：22,000円×2人=44,000円 キャラクターデザイン：10,000円×1点=10,000円
	消耗品費	¥ 6,780	印刷用紙：880円×1箱=880円 インク：5,900円×1(4種)=5,900円
	印刷製本費	¥ 2,000	ポスター印刷費：50円×40枚=2,000円
	使用料及び賃借料	¥ 37,000	スタジオ使用料：12,000円×1点=12,000円 音声収録料：10,000円×1点=10,000円 音声収録用音響機材使用料：15,000円×1点=15,000円
	委託料	¥ 30,000	オーディション投票ページ制作費：30,000円×1点=30,000円
	対象経費の合計	¥ 139,780	
その他 経費	交通費	¥ 880	柏⇄松戸440円×2回
	経費	¥ 72,765	脚本制作費：10,000円、スタジオ代：6,765円、配信対応費：10,000円、撮影対応費：3,000円、キービジュアル代：5,000円、イラスト制作費：18,000円、イラスト制作費：20,000円
	その他経費の合計	¥ 73,645	
	合計額	¥ 213,425	

冒険山開放に伴う見守り事業

冒険山開放委員会

## 活動状況報告書

1 事業名称 冒険山開放に伴う見守り事業

2 実施主体

■団体名： 冒険山開放委員会

従事者数： 20名

団体概要： 「子どもたちの健やかな成長を願って」をテーマに、小金北小学校に設置されている遊具施設を開放し、子どもたちが自分自身で感じられる自立心と、挑戦力に寄与すること。また地域を越えた子どもたちが遊びを通じて集うことにより、視野を広げ、相互の存在を認めあえる場の提供を目的とします。

3 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

①②小金北小学校冒険山見守り活動と各種体験広場の開催（年間活動）

（毎月第一、第二日曜日：13：00から16：00）

日付	作業内容
2021. 4. 4～5. 9	見守り活動 4回
2021. 6. 13	雨天のため開放中止
2021. 6. 6～7. 4	ワクチン接種の為開放中止
2021. 7. 11～8. 1	見守り活動 3回
2021. 8. 8～9. 12	緊急事態宣言発令の為開放中止
2021. 10. 3～2. 6	見守り活動 8回
2022. 2. 13	雨天のため開放中止
2022. 3. 6～3. 13	見守り活動 2回

③オンラインセミナー テーマ（こどもと遊び） 実施日 令和3年11月23日

（講演会はコロナウイルス感染症対策のため、オンラインセミナーとして実施）

2021. 9. 4	オンラインセミナー打ち合わせ
2021. 9. 20	ポスター作成、募集開始
2021. 11. 3	事前テスト
2022. 11. 23	オンラインセミナー実施 講師：千葉県スクールカウンセラー研修 講師 大久保 俊輝氏 参加者6名 テーマ（こどもと遊び）

#### ④ソーメン流し

コロナウイルス感染症の影響で中止。

#### ②⑤焼き芋の集い（各種体験広場） 実施日 令和3年11月20日

2021. 10. 3	焼き芋の集い準備会
2021. 10. 31	秋芋の集い 打ち合わせ
2021. 11. 7	焼き芋の集い打ち合わせ
2022. 11. 13	焼き芋の洗浄
2022. 11. 20	中金杉浅間公園にて 112名の子どもが参加

#### ②⑥凧揚げ大会（各種体験広場） 実施日 令和4年1月9日

2021. 12. 5～12. 12	焼き芋の集い反省会。事前凧揚げ練習会及び凧揚げ大会打ち合わせ、東洋学園大学グラウンド現地確認
2021. 12. ～	近隣地区の自治会掲示板、セブンイレブン、郵便局などに掲示
2021. 12. 1～15	凧揚げ大会用凧、凧糸など調達、
2022. 1. 9	凧揚げ大会実施日 東洋学園大学グラウンド 57名の子どもが参加
2022. 2. 6	凧揚げ大会 反省会

#### (2)事業内容のふりかえり

- ・コロナ禍という厳しい環境ではありましたが、企画した計画はほぼ予定通り実施することが出来ました。見守り活動の状況は、緊急事態宣言解除後などは参加する子どもたちにブレーキがかかったものと思われます。冬場は特に参加者が少なかったです。
- ・ソーメン流しについては、コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、中止の判断をしました。

#### 4 事業成果について

##### ・目標の達成と課題の解決について

目標①：イベントを強化することによって、遊ぶ楽しさを子どもたちに理解してもらい普段の開放日の参加者の増加を図る。

結果：コロナ禍の影響を受けて開放日の参加者の増加はできませんでした。

目標②：継続的な事業の展開を目指すため見守り隊の人員体制の強化を行う。現在19名であるところを、6名を増やし25名の隊員を確保する。

結果：・1名増えました。

- ・コロナ禍の影響もあり、参加する子どもたちが減っている現状で、もう一つ積極的にアプローチ出来ていませんでした。

・焼き芋の集い、凧揚げ大会につきましては参加者も予想を超えて手ごたえを感じました。

凧揚げ大会が東洋学園大学のグラウンドで行われました。グラウンドをお借りできたことが大成功の要因となりました。(凧揚げスペース確保、電源設備、トイレなど)

- ・オンラインセミナーは大変残念な結果でした。せっかくの機会を十分に生かせませんでした。日程の設定に問題があったと深く反省しています。

- ・焼き芋の集いでは、効率的に焼くために焼き芋機をレンタルしました。また当日の体験広場では、子ども達に火起こしの貴重な体験をさせてやる事が出来ました。新しいことにチャレンジする姿勢はこれからも機会を作って提供をしていきます。

## 5. 今後の事業展開

- ・現状を取り巻く子どもの環境の中で、子どもに関わる問題は親を抜きにして語ることはできません。「子どもたちの健やかな成長を願って」をテーマにこれからも年間行事の見守り活動に加え、焼き芋の集い、凧揚げ大会は実施いたします。こどもは自然から学び、遊びから学びます。そのための場づくりをさらに提案をまいります。

- ・オンラインセミナーはこれからも継続して企画します。動員メンバーの核になる団体とさらにコミュニケーションを深めるように、活動を継続してつながりをより深いものにしたいと思います。

- ・フェイスブックを利用して団体紹介ページを作成し、活動内容や、行事の案内などが広く告知ができるようにいたします。

## 令和3年度収支決算書

冒険山解放委員会

(単位：円)

### 【収入】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 35,960	¥ 32,030	¥ 3,930	事業費の一部を団体の会計より拠出
	関係団体寄付金	¥ 70,000	¥ 10,000	¥ 60,000	会員・近隣町会からの寄付金
	自己資金の合計額 (A)	¥ 105,960	¥ 42,030	¥ 63,930	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 205,960	¥ 142,030	¥ 63,930	

### 【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ 0	外部講師謝礼 千葉県スクールカウンセラー 研修講師 大久保 俊輝氏
	消耗品費	¥ 120,000	¥ 75,068	¥ 44,932	焼き芋大会 63,659 凧あげ大会 7,040 インク代 4,369
	印刷製本費	¥ 20,000	¥ 11,414	¥ 8,586	コピー代 パウチ代
	使用料及び賃借料	¥ 10,000	¥ 21,900	¥ ▲11,900	焼き芋機レンタル料 16,500 打合せ会場使用料 3回分 5,400
	保険料	¥ 15,960	¥ 6,440	¥ 9,520	行事保険 焼き芋@4,480×1 凧あげ@1,960
	対象経費の合計 (D)		¥ 175,960	¥ 124,822	¥ 51,138
(その他経費)	食糧費	¥ 20,000	¥ 17,208	¥ 2,792	昼食代1回 飲み物代5回
	備品	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	テント
	その他経費の合計額 (E)		¥ 30,000	¥ 17,208	¥ 12,792
合計額 (F) = (D+E)		¥ 205,960	¥ 142,030	¥ 63,930	

#### 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 収支内訳書（令和3年度）

冒険山解放委員会

## 【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	金 額	
団 体	団体拠出金	¥ 32,030	事業費の一部を団体の会計より拠出
	関係団体寄付金	¥ 10,000	会員・近隣町会からの寄付金
	自己資金の合計額	¥ 42,030	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
合 計 額		¥ 142,030	

## 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の 交付対象経費	報償費	¥ 10,000	講演会謝礼(外部講師 千葉県スクールカウンセラー研修講師 大久保俊輝氏)
	消耗品費	¥ 75,068	焼き芋大会 63,659 (芋代 49,469 除菌用品・木炭・電池等 9,444 ガスボンベ 3,000 シール 550 木炭 866 フック等330 )  凧あげ大会 7,040 (凧代@110×31 糸@110×31 あし220)  インク代 4,369
	印刷製本費	¥ 11,414	コピー代 パウチ代
	使用料及び賃借料	¥ 21,900	打合せ会場使用料 中金杉青年館 @1,800×3回 5,400 焼芋機レンタル16,500
	保険料	¥ 6,440	行事保険 焼き芋@4,480×1 凧あげ@1,960×1
	対象経費の合計	¥ 124,822	
その他経費	食糧費	¥ 17,208	昼食代1回 飲み物代5回
	その他経費の合計	¥ 17,208	
合 計 額		¥ 142,030	



坂川水系自然環境向上事業

坂川の花桃を愛する会

# 活動状況報告書

1 事業名称 坂川水系自然環境向上事業

2 実施主体

■団体名： 坂川の花桃を愛する会

従事者数： 75名

団体概要： 松戸市新松戸の七丁目町会、コミュニティ五番街及び西パークハウスの住民有志を中心に、坂川河畔の「花桃の木」の維持・育成・管理や、地域の環境整備のボランティア活動を通じて、地域住民の生活に潤いを与えることを目的とする。

3 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

① 河川稚魚放流について

② 坂川における自然環境の観察について

日付	作業内容
2021/5/12	松戸市河川清流課と打合せ：令和3年度事業の概要
5/24	稚魚の下見と打合せ（川せみ）
5/28	河川清流課、教育長、地域団体訪問：事業について意見交換
6/5	役員会：基本計画策定
6/18	松戸市役所訪問：基本計画の相談
7/10	役員会：スケジュールを11月-12月に変更
7/16	河川清流課と打合せ：計画の具体化について
7/21	横須賀小学校訪問と打合せ：学校の協力の可否
8/28	役員会：小金高校、小金中学校、漁協との意見交換について →協議の結果、定点観測は中止
9/25	役員会：計画を11月下旬、場所は横須賀親水護岸を想定
10/15	国交省江戸川河川事務所訪問と打合せ：横須賀親水護岸の利用など
10/20	稚魚放流分科会：計画詳細検討
10/23	役員会：11月27日実施決定
11/1	市民自治課と打合せ：計画詳細と当日の対応
11/8	稚魚放流分科会：最終計画打合せ
11/20	役員会：最終計画の確認
11/27	稚魚購入・運搬、稚魚放流事業実施

12/20	松戸市役所、国交省江戸川河川事務所訪問：事業実施の報告
2022/1/8	役員会：事業の反省会

(2) 事業内容のふりかえり

コロナ感染拡大に終始振り回された今年度の事業であった。  
そのために実施の時期や場所、規模や具体的な進め方などたびたびの変更を余儀なくされた。

①河川稚魚放流について

実際の事業はコロナ収束の見通しが立たない中で実施したため、参加人数を絞り規模を縮小せざるを得なかった。西パークハウス管理組合、五番街管理組合、新松戸7丁目町会の掲示板でポスターを張って周知した結果、地域の子供・父兄・関係者など、合わせて約50名が参加した。

稚魚放流（活モロコ 3,000-4,000匹、計10.2kg）だけでなく、ガガイモ飛ばしや、綿あめ作り体験などもイベントに加えた。

ガガイモ飛ばしの故事来歴の説明など、参加した子供たちと父兄にとっても喜ばれたと感じた。

また、稚魚の放流イベントは、親水護岸に木製の桶を設置して、護岸上の道路からの放流を想定していたため道路使用を計画していたが、親水護岸からのバケツによる放流に変更したため、道路及び揚水ポンプを使用しないこととなった。

②坂川における自然環境の観察について

提案時に受けた選考結果通知に“放流後の結果を観測して市民に公表できるように対応すること”、との付帯意見もあり、実施を検討したが、学校関係がコロナのために協力いただけず実施できなかった。

放流後の結果の観測については、学校関係の協力なしでは数値データの取得などが非常に困難であり、実施できなかった。

しかし、我々の日常の観察の中で水鳥を含む野鳥の姿が多くみられることや、大勢の釣り人が毎日楽しんでおられることなどを見て、当会が目標とする“環境の向上”に幾分なりとも役立っていると信じている。

#### 4 事業成果について

##### ・目標の達成と課題の解決について

当会が中心となり、地域の「子ども会」、「小中学校」、国交省江戸川河川事務所や漁協と協力して、放流イベントの実施はできた。

時期については当初計画の春の実施が、稚魚の入手時期の困難さや、コロナのこともあり、大幅にずれ込んだ。

以下、計画時の目標について達成度や課題について述べる。

##### 1. 小金中(科学部)・小金高(生物部)と定点観測

各校の先生と打合せを持ったが、コロナのために予定した活動ができないと言われ断念した。

##### 2. 地域のカメラ愛好会と季節の変化を映像に記録

地域のカメラマンや会員の方々に声をかけ、活動して頂いた。秋と春の祭りの際に展示を考えていたが、いずれもコロナで中止となりできなかった。唯一当会の写真入りカレンダー(2022年版)の作成によりこれに近いことができた。

##### 3. 花桃の会のメンバー他からアンケート

当初、秋の祭りに訪れる大人数を対象としたアンケートの実施を考えていたが、コロナの影響で祭りが中止となり、実施できなかった。

課題とした、坂川放水路の地域の生物(魚・水草・水鳥)の生息の手助けについては、会員をはじめ地域の方々の協力を得て、今年度の稚魚放流、清掃活動、雑草取り、花桃の樹木の観察と剪定などを地道に繰り返してきた。徐々に成果は出ていると信じているが、今後も地道に活動を続けたい。

#### 5 今後の事業展開

目下の最大の課題は、高齢化の進む花桃の状態の維持である。

昨年は苗木60本を購入して、今後の老木の伐採と移植に備えているが、管理に関わる国交省、松戸市河川清流課のご指導を頂きながら、より良い方策を探っていきたい。

## 収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 69,200	¥ 19,827	¥ 49,373	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 69,200	¥ 19,827	¥ 49,373	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 91,449	¥ 8,551	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 169,200	¥ 111,276	¥ 57,924	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 52,200	¥ 5,000	¥ 47,200	綿あめ機借用代
	消耗品費	¥ 90,000	¥ 67,081	¥ 22,919	稚魚 (活モロコ 10.2K) ¥33,000、バケツ (放流用&景品) ¥11,000、メンディングテープ他 ¥770、ファイル ¥220、ピンゴカード、ペン他 ¥440、ゴミ袋 ¥174、モップ ¥1,848、バケツ ¥437、インクカートリッジ ¥4,467、メガフォン ¥8,145、文具セット (景品) ¥6580
	委託料	¥ 7,000	¥ 0	¥ 7,000	稚魚は団体にて運搬したため ¥0
	印刷製本費	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	チラシは団体にて作成したため ¥0
	食糧費	¥ 10,000	¥ 29,409	¥ ▲19,409	菓子 (景品) (31点 ¥8,370、1点 ¥270、38点 ¥10,260、30点 ¥8,100) = ¥27,000、講師弁当 ¥2,409
	通信運搬費	¥ 0	¥ 120	¥ ▲120	郵送料
		対象経費の合計 (D)	¥ 169,200	¥ 101,610	¥ 67,590
(その他) 経費	印刷製本費		¥ 1,800	¥ ▲1,800	会長名刺代
	交通費		¥ 7,866	¥ ▲7,866	会長、松戸市役所、国土交通省江戸川河川事務所 各2回、横須賀小学校等訪問 計5回 @¥1,000 x 5 = ¥5,000 八重樫氏 松戸市役所訪問、川せみ下見各1回 計¥1,933、稚魚運搬費 ¥933
				¥ 0	
		その他経費の合計額 (E)	¥ 0	¥ 9,666	¥ ▲9,666
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 169,200	¥ 111,276	¥ 57,924	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 8,551
------------	---------

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 19,827	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 19,827	
市	市民活動助成金	¥ 91,449	
	合計額	¥ 111,276	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 5,000	綿あめ機借用代
	消耗品費	¥ 67,081	稚魚（活モロコ 10.2K）¥33,000、バケツ（放流用&景品）¥11,000、メンディングテープ他 ¥770、ファイル ¥220、ピンゴカード、ペン他¥440、ゴミ袋 ¥174、モップ¥1,848、バケツ¥437、インクカートリッジ ¥4,467、メガフォン ¥8,145、文具セット（景品）¥6580
	食糧費	¥ 29,409	菓子（景品）（31点¥8,370、1点¥270、38点¥10,260、30点¥8,100） = ¥27,000、講師弁当代 ¥2,409
	通信運搬費	¥ 120	郵送料
	対象経費の合計	¥ 101,610	
その他経費	印刷製本費	¥ 1,800	会長名刺代 ¥1,800
	交通費	¥ 7,866	会長、松戸市役所、国土交通省江戸川河川事務所、各2回 横須賀小学校等訪問 計5回 @¥1,000 x 5 = ¥5,000 八重樫氏 松戸市役所訪問、川せみ下見各1回 計¥1,933、稚魚運搬費 ¥933
	その他経費の合計	¥ 9,666	
	合計額	¥ 111,276	

プレママ教室事業

ふふふママ大学

## 活動状況報告書

1 事業名称 プレママ教室事業

2 実施主体

■団体名：ぶぶぶママ大学

従事者数：5名

団体概要：プレママの心配や悩みを軽くし、より良い出産と子育ての支援をする。良い出産の体験が育児に向かう心を前抜きにし、愛直形成を築く。元気なお母さんのことで健やかに子どもは育つ。

3 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

①-1：毎月4回シリーズのビジュアル講座(動画配信)を申し込んだ方への限定配信

日付	作業内容
4/1~4/9	構成、打ち合わせ
4/11	ビジュアル講座、撮影<場所：亀有地区センター> 先輩パパママ4人出演 <内容>新たに先輩ママパパ経験談を4人分撮影。予定では6人の経験談の撮影だったがコロナの影響で2名辞退。赤ちゃんに関する絵本や参考書の出版元の使用許可を得て、発達や母乳、わらべうた胎教マッサージ、ふれあい遊び、読み語り等を撮影。
4/11	動画制作委託<前期>
4/11~4/30	編集
8/15~8/21	新企画、打ち合わせ
8/22	新企画、撮影<場所：友人宅> <内容>『もうすぐパパ!』というタイトルのパパになる気持ちの準備、『あかちゃんにおそわるオキシトシン』のPR冊子の読み語りを撮影。
8/22	動画制作委託<後期>
8/22~8/30	編集
2/20~2/25	新企画、打ち合わせ
2/27	新企画、撮影 <内容>『ママになる気持ちの準備』の妊娠～出産編・育児編・授乳編、わらべうた遊びを10曲、ふれあい歌遊びを10曲、計20曲撮影。
2/27~3/10	編集



①-2：ビジュアル講座視聴者数

5月：計7回配信	① 40人②5人③41人④4人⑤40人⑥2人⑦38人
6月：計7回配信	① 1人②1人③1人④1人⑤1人⑥2人⑦1人
7月：計7回配信	① 3人②6人③7人④6人⑤6人⑥6人⑦6人
8月：計8回配信	① 8人②8人③8人④8人⑤8人⑥8人⑦8人⑧8人
9月：計8回配信	① 9人②9人③9人④9人⑤9人⑥9人⑦10人⑧10人
10月：計8回配信	① 10人②10人③10人④10人⑤8人⑥8人⑦10人⑧10人
11月：計7回配信	① 8人②8人③8人④8人⑤8人⑥8人⑦10人
12月：計8回配信	① 14人②14人③14人④14人⑤14人⑥14人⑦15人⑧15人
1月：計8回配信	① 14人②14人③18人④18人⑤23人⑥23人⑦22人⑧22人
2月：計8回配信	① 20人②20人③22人④22人⑤25人⑥25人⑦25人⑧25人
3月：計8回配信	① 23人②23人③25人④25人⑤24人⑥24人⑦24人⑧24人

①-3：ビジュアル講座PR活動

- ・まつどDE子育てラインに掲載
- ・PRチラシを3回作成。公共施設、市民活動情報コーナー、おやこDE広場、子育て支援センター等の57箇所にチラシを配架
- ・若い世代が多い東松戸駅周辺の掲示板と、対面講座を行う熊野神社近くの常盤平地区にチラシを掲示
- ・東松戸地区の回覧板でチラシを3回回覧
- ・松戸市内全域の許可をもらえたスーパーの掲示板に定期的にチラシを掲示
- ・絵本冊子の持ち帰り率が高かったため、絵本冊子の中にミニチラシをセットしPR

②年に4回、対面型のプレママパパ教室開催

5/12	チラシの企画及び作成<第1回対面講座とビジュアル講座>
5/14	子育てライン掲載依頼(6/1配信)
5/18	チラシの印刷
5/27～6/6	市の施設、産婦人科、美容院、床屋、スーパー等へチラシ配架
6/22	6/27の対面講座の打ち合わせ
6/27	金ヶ作熊野神社にて第1回対面講座開催、3組参加
6/27	反省会
8/3～8	チラシの企画及び作成<第2回対面講座とビジュアル講座>
8/10	子育てライン掲載依頼(9/1配信)
8/22～8/30	市の施設、産婦人科、美容院、床屋、スーパー等へチラシ配架
8/25～8/30	冊子に挟むミニチラシ企画及び作成

9/11	9/19 の対面講座の打ち合わせ
9/19	金ヶ作熊野神社にて第 2 回対面講座、2 組の参加予定でしたが緊急事態宣言発令で中止
10/8	子育てライン掲載依頼(11/1 配信)
11/21	11/28 の対面講座の打ち合わせ
11/28	金ヶ作熊野神社にて第 3 回対面講座、3 組参加
11/28	反省会
2/13	子育てライン掲載依頼(3/2 配信)
3/22	3/22 の対面講座の打ち合わせ
3/27	金ヶ作熊野神社にて第 4 回対面講座、6 組参加
3/27	反省会

### ③PR 冊子<オキシトシンホルモンの絵本>作成

内容	オキシトシンホルモンをあかちゃんが説明する内容の絵本。 オキシトシンホルモンをテーマに、親しみやすさとわかりやすさをコンセプトに絵本冊子を企画。企画と構成はぶぶぶママ大学スタッフ、絵は絵本『ぶあふあ』を描いた鎌田光代さん。内容と表現は、助産師の鎌田智子さんとスタッフで担当。監修は鎌田智子助産師さんをお願いしたほか、ビジュアル講座の先輩ママ経験談で協力をいただいている産婦人科医師の吉岡陽子先生にも内容を確認していただく。
製本部数	3,500 部
配架先	① 市の各公共施設 ② 配布希望の妊婦さんに郵送 ③ 市街の妊婦さんが立ち寄りそうな店舗 (産科病院、助産院、小児科、スーパー、ドラッグストア、商店街、コンビニ、携帯ショップ、床屋、美容院、ケーキ屋、アイス屋など)
PR 方法	冊子にミニチラシを挟みこみ配架

### (2) 事業内容のふりかえり

<p>①毎月 4 回シリーズのビジュアル講座(動画配信)を申し込んだ方への限定配信</p> <p>・内容の充実とニーズへの対応</p> <p>年 2 回の撮影予定でしたが、友人の協力が得られたため同予算額で 3 回撮影でき、内容を豊かにすることができたほか、利用者のニーズに対して柔軟に対応できました。例えば 5 月、6 月は視聴者が少なくリピーターが多かったので毎回内容を変えて飽きないように工夫をしたり、視聴者から「いつでも観ることができるよう YouTube にあげて置いてほしい」、「アーカイブにしてほしい」などの声があったため配信時間帯を拡大し、都</p>
---

合の良い時間に観られるよう変更したりしました。また、視聴者から平日の配信希望があったため毎週日曜日の配信から金曜日増やし週2回の配信にしました。

- ・まつど DE 子育てラインの配信回数の減少

2年間助成事業を実施した経験から、子育てラインのPR方法は効果が高いと実感していたので『毎月2回まつどDE子育てラインに掲載』という計画を立てていました。ところが、5月から「同じ内容での掲載は月1回まで」と市の運用が変わったため講座の周知が月2回→1回になりました。それがきっかけとなり問い合わせが激減しました。

市民自治課担当者から子育てライン担当者に従来どおりの掲載をお願いしてきましたが、市民自治課担当者から「これ以上言いますとぶぶぶママ大学さんの印象がさらに悪くなりますよ」と言われ、結果的に希望は通りませんでした。子育てラインの周知回数が減るぶん、チラシの配架に力を入れることとなりましたが、スタッフは全員仕事をしており、周知活動に時間を掛ける余裕が少ない中でのPR活動に疲労困憊になり、令和4年度の松戸市市民活動助成事業については申請を断念しました。

その後、講座の周知を1回、団体の紹介を1回と内容を変えて合計月2回の掲載を7月以降行うこととなりましたが申込数は僅かでした。年度途中で団体紹介をチラシにし対面講座やビジュアル講座の写真を載せた内容に変えたところ、年度末にかけて申し込み数は増えていきました。

今年度の事業については市民(妊婦さんやそのご家族)のお役に立てるようにとその後もPR活動に時間を掛けてきました。核家族が当たり前となり、妊婦期の過ごし方や産後の育児や産褥期の過ごし方を聞く回数が減り、愛着形成の重要性を知る機会がないまま育児に入ります。また長いコロナ禍で不安やストレスを抱えて妊婦期を過ごすことの影響は大きいと感じます。妊婦さんから問い合わせが少ないのは、必要な活動ではないのではなく、意識や関心が薄いからであり、そこを手厚くフォローすることが必要だと考えます。

## ②年に4回、対面型のプレママパパ教室開催

- ・内容

予定通り実施できました。助産師の鎌田智子さんによる『母乳育児の気持ちの準備』の講話と、金ヶ作熊野神社宮司さんによる『あかちゃんと家族のためのお祝い行事』の講話と、希望者へ安産祈願を無料でしていただきました。

- ・参加費の変更

計画では参加費を1人500円にしていたのですが無料に変更しました。理由は活動PRチラシに参加費の金額が入っていると営利目的と捉えられ、チラシを置いてもらえないケースが多く周知活動が困難だったためです。無料化が理由かわかりませんが、参加者は昨年と比べ3倍以上に増えました。

③PR 冊子<オキシトシンホルモンの絵本>作成

・PR 冊子の部数の増刷と周知の工夫

200部から3,500部に増刷しました。チラシよりPR冊子の持ち帰り率が高かったためと、当初より格安で冊子の作成ができたため部数を大幅に増刷できたためです。また、ハガキサイズの冊子を配架する際、試しに透明なスタンドに入れて立てて置いたところ、よく捌けたので約100箇所を設置しました。消耗品費の決算額が予算を超えていますが、周知の工夫の一環として、周知関係の予算（消耗品費＋印刷製本費＋通信運搬費）の合計範囲内で購入しました。

4 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

①目標：ビジュアル講座の視聴参加 1回10人以上

結果：達成できませんでした。平均視聴参加数は12.8人だったので、平均数では達成できました。

②目標：対面講座の参加人数 毎回8人以上

結果：6/27は3組、5名。9/19は中止。11/28は3組、7名。3/27は6組、11人。  
達成できませんでした。平均数は7.6人でした。

③目標：ビジュアル講座、対面講座でアンケートを毎回取り、妊婦さんの心配事を救い上げ、すぐに対処し解決に向かうようにする。ケースによっては専門機関に繋げるなど配慮をする。

結果：心配ごとの相談には専門窓口をご紹介しました。数日後にメールで様子を確認し、専門機関に相談されたか、その後の様子を伺い、皆さん解消されていました。その他配信日を増やしたり、配信時間を拡大したりと視聴者の要望に添って活動してきました。

④目標：会員協力30人以上

結果：達成できませんでした。コロナ禍のためご迷惑にならないよう会員協力は控えました。PR活動にも細心の配慮を心掛け、対面での時間を減らせるように事前に各店舗の店長さんに電話で要件を連絡しご承諾をいただけたところに配架・配布に伺いました。

聖徳大学の学生さんにボランティアを募りましたが、コロナ禍の影響もあってか問い合わせはありませんでした。

⑤目標：PR冊子を作成し愛着形成を促す胎教を知ってもらい、妊婦期から胎児に気持ちを向ける。オキシトシンホルモンを周知する。

結果：助成事業1年目の対面講座で『胎話』や『胎教』の話をする、驚いた表情で首を横に振る妊婦さんが多かったですが、PR冊子を読んでいるのか笑って頷く反応が大きくなっています。ビジュアル講座の感想にも「胎教や胎話をはじめてい

ます」とあり、おなかのあかちゃんに気持ちが向いていると感じました。

3,500冊中、3,450部の絵本冊子を配布しました。松戸市総合医療センター病院産科外来からは、「ぶぶぶママ大学さんのチラシや絵本冊子は他のチラシより持っていかれ、なくなるのが早い」と、助産師さんから電話で補充の依頼が3回あり、周知という目標は達成できたと考えています。読まれた方はオキシトシンホルモンの役割やスキンシップを伴う育児の重要性や愛着形成や父親の育児参加の重要性を知るきっかけになったのではないかと思います。

## 5 今後の事業展開

3年間、学び溢れる経験をさせていただきました。このような経験ができたことに感謝申し上げます。

松戸市市民活動助成事業は終了しますが、今後も継続して『プレママパパ教室事業』を『母乳育児・アタッチメント研究会』とし、親になる気持ちの準備の内容を発信していきたいと考えています。日本産婦人科医会で2018年に作った『赤ちゃんの不思議な世界』の動画(協力機関:東京大学開一夫研究室・東京大学国際高等研究所ニューロインテリジェンス国際研究機構・福井大学子どもこころの発達研究センター発達支援研究室)は愛着=親子の絆の内容でした。プレママパパ教室での活用が許されているので、ビジュアル講座で4月から発信していきたいと思います。オキシトシンホルモンの分泌に効果的なふれあい遊びのママバージョン・パパバージョンを入れて育児に役立ててもらえるようにしていきたいです。

コロナの収束まではビジュアル講座をメインにしながら年2回(6月・11月)の金ヶ作熊野神社での対面講座で、『あかちゃんと家族のためのお祝い行事』と『母乳育児の気持ちの準備』の講話を継続していきます。

3年間、誠にありがとうございました。

## 収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 16,000	¥ 0	¥ 16,000	講座参加料0円×23人
	団体拠出金	¥ 63,440	¥ 24,869	¥ 38,571	事業費の一部を団体の会計より拠出
	寄付金	¥ 0	¥ 10,000	¥ ▲10,000	5,000円×2人
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 79,440	¥ 34,869	¥ 44,571	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 290,518	¥ 9,482	
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 379,440	¥ 325,387	¥ 54,053	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 112,000	¥ 83,000	¥ 29,000	外部講師謝礼15,000円×3回、10,000円×3回、先輩ババママ出演謝礼2,000円×4人
	印刷製本費	¥ 120,000	¥ 119,491	¥ 509	冊子3,500部108,920円、春ビジュアル講座チラシ600部1,790円、春対面講座チラシ600部1,951円、両面チラシ1400部2,630円、800部2,520円、対面講座とビジュアル講座ポスター100部1,680円
	消耗品費	¥ 10,000	¥ 18,209	¥ ▲8,209	インク6,070円、封筒長3号653円、除菌シート162円、生花1,314円、マッキー110円、6号封筒110円、冊子スタンド110円×84個=9,240円、B5クリアホルダー110円、テープ110円、ハサミ110円、ホチキス110円、アルコールウェット110円
	委託料	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	動画制作委託料100,000円×1回(前期・後期)
	通信運搬費	¥ 13,160	¥ 1,598	¥ 11,562	切手代金、94円切手×17枚(PR冊子郵送用)
	使用料及び賃貸料	¥ 22,880	¥ 500	¥ 22,380	撮影会場使用料 亀有地区センター 500円×1回
	食糧費	¥ 1,400	¥ 0	¥ 1,400	
		対象経費の合計(D)	¥ 379,440	¥ 322,798	¥ 56,642
(対象外)経費	機材運搬駐車料	¥ 0	¥ 900	¥ ▲900	4/11撮影時駐車料金900円×1回
	手数料	¥ 0	¥ 1,685	¥ ▲1,685	冊子代引き手数料1,100円、チラシ コンビニ払い手数料195円×3回=585円
	レジ袋	¥ 0	¥ 4	¥ ▲4	
		その他経費の合計額(E)	¥ 0	¥ 2,589	¥ ▲2,589
	合計額(F) = (D+E)	¥ 379,440	¥ 325,387	¥ 54,053	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 9,482
------------	---------

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	事業収入	¥ 0	対面講座参加人数23人×参加費無料
	団体拠出金	¥ 24,869	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	寄付金	¥ 10,000	5000円×2人
	自己資金の合計額	¥ 34,869	
市	市民活動助成金	¥ 290,518	
合計額		¥ 325,387	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 83,000	講師謝礼 鎌田智子助産師15,000円×3回、金ヶ作熊野神社10,000円×3回、先輩ババママ出演謝礼2,000円×4人
	印刷製本費	¥ 119,491	冊子3,500部108,920円、春ビジュアル講座チラシ600部1,790円、春対面講座チラシ600部1,951円、両面チラシ1400部2,630円、800部2,520円、対面講座とビジュアル講座ポスター100部1,680円
	消耗品費	¥ 18,209	インク6,070円、封筒長3号653円、除菌シート162円、生花1,314円、マッキー110円、6号封筒110円、冊子スタンド110円×84個=9,240円、B5クリアホルダー110円、テープ110円、ハサミ110円、ホチキス110円、アルコールウェット110円
	委託料	¥ 100,000	動画制作委託料100,000円×1回(前期・後期)
	通信運搬費	¥ 1,598	切手代金、94円×17枚 PR冊子郵送料
	使用料及び賃貸料	¥ 500	撮影会場使用料 亀有地区センター 500円×1回
	対象経費の合計	¥ 322,798	
その他経費	機材運搬駐車料	¥ 900	4/11撮影時駐車料金900円×1回
	手数料	¥ 1,685	冊子代引き手数料1,100円、チラシ コンビニ払い手数料195円×3回=585円
	レジ袋	¥ 4	
	その他経費の合計	¥ 2,589	
合計額		¥ 325,387	





親子で安心、子ども達が楽しく育つ居場所づくり事業

なないろのもり

## 活動状況報告書

1 事業名称 親子で安心、子ども達が楽しく育つ居場所づくり事業

2 実施主体

■団体名： なないろのもり

従事者数： 5名

団体概要：子育て世代を中心に親子で一緒に楽しめるイベントを定期的開催。

人と人が繋がれる場所をつくることで孤立することなく、地域とつながり、  
今しかない子育て時期を楽しめる環境づくりを目指し活動。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

①夏のワークショップ・夏まつりの実施【緊急事態宣言中により、事業計画のワークショップ・夏まつりを延期して、秋のワークショップ・春まつりとして実施】

日 付	作 業 内 容
4月28日	事業企画打ち合せ・開催方法の検討など
6月10日～	講師依頼・打ち合せ
7月23～29日	延期の決定(ワークショップ→秋、まつり→春)及び関係各所に連絡、調整
9月16日	秋のわくわくワークショップ準備再開・チラシ・予約フォーム作成
10月1日～	告知・チラシPR活動・事前予約開始・準備
11月6日	秋のわくわくワークショップ (参加者34名・来場者68名) まつど市民活動サポートセンター 5講座(立体標本模型(外部講師:鈴木一般社団法人路上博物館・斎藤氏)・パラコードキーホルダーづくり(内部講師)・コルククラフト(ママ講師:kotakota・菱沼氏)・ドライフラワーアレンジメント(ママ講師:ネジバナ・牧野氏)・プログラミング(外部講師:まなクル・鈴木氏ほか2名)見守りスタッフ:近藤氏ほか1名。その他、予定の1講座は講師の体調不良によりXmas Festivalで延期開催。
11月11日	ふりかえり
1月11日・20日	春まつり企画・開催方法の検討
2月3日～2月18日	講師依頼・打ち合せ チラシ・予約フォーム作成・ワークショップ検討
2月19日～	チラシPR活動・事前予約開始・準備
3月12日	春まつり(来場者のべ343名) まつど市民活動サポートセンター ・ワークショップコーナー7講座・参加者のべ121名(食品サンプル

	(ママ講師：oneintheworld・佐藤氏ほか1名)・ラジコン迷路(外部講師：まなクル・鈴木氏ほか3名)・ブーケづくり(ママ講師：ネジバナ・牧野氏)・ふわもこキャラづくり(外部講師：プリュデコル2名)・アロマスプレー(ママ講師：アロマ日和・平本氏)・パラコードキーホルダー・ドリームキャッチャー(内部講師：3名) ・マーケット・ななもりんぴつく同時開催(内部講師：4名・見守りスタッフ：近藤氏ほか2名)
--	--

②居場所の開催【コロナ禍で行き場を失い、未就園児とママたちからの声と継続的に借りることができる開催場所の環境がマッチしたので、対象を限定し、おやこのにわとして開催】

日付	作業内容
4月9日	事業企画打ち合せ・開催方法の検討など
4月14日～20日	告知スタート、準備
4月22日、5月13日、5月27日	おやこのにわ 見学会としてプレ開催 場所：椿の庭 (開催3回、来場者延べ16名)
6月10日～3月17日	おやこのにわ定期開催スタート 毎月2回木曜日9:30～11:30 対象：0歳児～未就園児と保護者 場所：椿の庭 ※コロナ状況により、限定4組。緊急事態宣言中、蔓延防止措置中などは中止。(開催10回、来場延べ20名)

③クリスマスフェスティバルの実施

**【昨年度同様完全予約・入場3部入替え制など開催方法を変更して実施】**

日付	作業内容
10月7日～14日	イベント企画打ち合わせ
10月21日～28日	チラシの企画及び作成・イベント協賛者の依頼
28日～11月15日	チラシの校正・印刷・オンライン予約フォーム作成
11月15日～	チラシPR活動(市内と近隣幼保・小中学校や商店・地域新聞折込み)
11月18日	協賛者説明会(対面・ZOOM併用で個別対応)・来場予約受付スタート
11月26日・12月2日～5日	スタッフ事前打ち合せ、準備など
12月14日・17日	オンライン配信リハーサル・準備
12月18日	クリスマスフェスティバル まつど市民活動サポートセンター (来場者553名・(見守りスタッフ5名：近藤氏・三木氏・渡辺氏ほか2名、ボランティア・スタッフ22名)・オンライン視聴のべ25名)
12月23日	ふりかえり

## (2) 事業内容のふりかえり

- ・昨年度の活動をふまえ、緊急事態宣言や蔓延防止措置においても、イベントの延期、開催方式の変更、事業内容の変更などで、子ども達の楽しい時間や空間を確保できるようにと、活動継続することを最優先にしました。
- ・ワークショップについて、夏まつり・夏のワークショップが緊急事態宣言中によって中止になったため、そのワークショップから展開予定であった、パフォーマンスの練習ができるような居場所づくり、舞台発表。そして作成した作品の展覧会は中止としました。
- ・その代わりに秋のワークショップと、春まつり内にコーナーを設けワークショップを開催。参加人数が分散するように、少人数・入替え制で多種にわたるワークショップを開催し、子ども達に様々な体験をしてもらおう機会を作りました。保護者の方々も一緒に参加していただき、親子で楽しい時間を過ごしていただくことができました。
- ・夏まつりの代替で春まつりを開催しました。春まつりは、子ども達がゲームやスポーツで楽しく体を動かす「ななもりんぴっく」とマーケット、ワークショップを同時開催し、地域の幅広い年齢層の方々にもご来場いただきました。
- ・時期を分けてイベントを実施したことにより、会場費が当初予算より多くかかりました。
- ・イベントの実施に関しては感染対策のため、少人数・入れ替わり制をとることで、講師の拘束時間が増えたため。弁当代がかかりました。
- ・居場所の開催はコロナ禍で特に行き場のない未就園児と保護者に限定して開催。
- ・クリスマスフェスティバルは、今年度は舞台発表を再開し、オンライン観覧での参加も可能としました。
- ・コロナの影響で予定していたチラシの学校配布が一部できなくなり、地域住民の認知を高めるため地域新聞へのチラシ折り込みを委託しました。

## 4 事業成果について

### ・目標の達成と課題の解決について

コロナの感染状況がどのような状況においても、安全第一に柔軟に対応し、制限はある中ではありますが、子ども達の家庭や学校、習い事以外の遊び・学びの場づくりの確保のための活動は止まることなく、続けてこれたと思います。

- ①講座・ワークショップの参加人数は（目標：80名→結果：155名）
- ②パフォーマンスグループ（目標：1～3グループのべ15人）の居場所事業の開催は、内容を変更し、未就園児と保護者に限定し、結果：のべ36名の来場がありました。
- ③イベントのべ来場人数は（目標：500人→結果：1000人）感染対策を講じながら、安全第一に、人数制限、完全予約制にし、昨年につきオンライン観覧も併用しました。参加者の延べ人数は目標2倍の達成となりました。

## 5 今後の事業展開

引き続き子ども達は日々の生活の中で制限や我慢を強いられています。今後も親子で安心できる、子ども達が楽しい居場所づくりの継続は不可欠です。従来の活動の継続をベースに、子ども達や子育て世代の親子の心のケアもサポートできるような活動を地域ぐるみで様々な方々に一緒にサポートしていただけるような団体へと成長していきたいと考えています。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 0	¥ 652	¥ ▲652	事業費の一部を団体の会計より拠出
	会員年間登録料	¥ 20,000	¥ 0	¥ 20,000	年間登録料1,000円×20名(保険料含む)
	ワークショップ参加費	¥ 80,000	¥ 1,900	¥ 78,100	ワークショップ参加費 (200円×8) (300円×1)
	なつまつりあそび券	¥ 12,000	¥ 0	¥ 12,000	イベント変更のため収入なし
	サポーター年間協賛金	¥ 56,000	¥ 90,000	¥ ▲34,000	(20,000円×2) まなクル、Y'sフラワー (12,000円×1) Daily Surf (10,000円×1) ブリュデコル (8,000円×2) kotakota、向日葵太鼓 (4,000円×3) イーリス、Cheeful、拍
	居場所パフォーマンスレッスン講師料	¥ 30,000	¥ 0	¥ 30,000	イベント変更のため収入なし
	イベント出展料	¥ 0	¥ 21,500	¥ ▲21,500	XmasFestival出展料 (3,000円×1) JUDO (2,000円×6) カムロ、雨と靴、エアロビ、manamickey、岩佐、シエロ 春まつり (2,000円×2) oneintheworld、シエロ (1,500円×1) 岩佐 (1,000円×1) アロマ日和
	自己資金の合計額 (A)	¥ 198,000	¥ 114,052	¥ 83,948	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 300,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 498,000	¥ 414,052	¥ 83,948	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 194,000	¥ 77,000	¥ 117,000	秋のワークショップ講師料謝礼 一般社団法人路上博物館 20,000円×1 まなクル10,000円×1 ママ講師 牧野氏 2,500円×1 菱沼氏 2,500円×1 XmasFestivalママ講師 カラフルコットン 今氏 2,500円×1 イベントスタッフ 秋のワークショップ (2,000円×2) XmasFestival (3,500円×3、3,000円×2) 春まつり (3,000円×2、2,000円×1) イベントボランティア (XmasFestival 500円×22名)
	委託料	¥ 25,000	¥ 46,241	¥ ▲21,241	年間チラシとパネルデザイン制作費10,000円 (矢切デザイン三木氏) XmasFestivalチラシデザイン冬製作費5,000円 (矢切デザイン三木氏) のほりデザイン制作費16,671円 (矢切デザイン三木氏) 春まつりチラシデザイン制作費5,000円 (矢切デザイン三木氏) 地域新聞XmasFestival16,270円・春まつり3,300円
	消耗品費	¥ 110,500	¥ 67,365	¥ 43,135	インクカートリッジ、コピー用紙14070円(インク代7,734円他) 居場所用品8,005円(子どもプール4,950円他) 事務用品1,100円(封筒代110円他) オンライン用品16,682円(三脚8,909円他) XmasFestival用品16,308円(マスク代5,946円他) 春まつり用品11,200円(養生テープ・風船代1,210円他)
	印刷製本費	¥ 51,100	¥ 33,700	¥ 17,400	年間チラシ印刷 (5,000部) 12,270円 秋のわくわくワークショップ印刷 (1,500部) 4,970円 XmasFestival印刷 (5,000部) 11,550円 春まつり印刷 (2,000部) 4,710円 印刷代200円
	使用料及び賃借料	¥ 38,000	¥ 77,180	¥ ▲39,180	・居場所 (権の庭13回) 43,000円 ・打ち合わせ(サボセン27回) 12,760円 ・イベント当日 ・秋のワークショップ 1,980円 春まつり 12,840円 ・ZOOM (3回) 6,600円
	保険料	¥ 14,000	¥ 21,980	¥ ▲7,980	全国社会福祉協議会 ボランティア行事保険 秋のワークショップ 28円×80人 2,240円 XmasFestival 28円×570人 15,960円 春まつり 28円×135人 3,780円
	食糧費	¥ 10,200	¥ 23,503	¥ ▲13,303	駄菓子代 8,432円 居場所 2,795円(菓子2,123円、飲食料672円) 秋のワークショップ 講師、参加者 お茶1,684円 講師・スタッフお弁当3691円 春まつり ワークショップ講師、参加者 お茶1,101円 講師・スタッフお弁当4,300円・1,500円
	対象経費の合計 (D)	¥ 442,800	¥ 346,969	¥ 95,831	
(対象外) 経費	報償費	¥ 23,000	¥ 27,000	¥ ▲4,000	内部スタッフ講師料 (3,000円×4) 12,000円 (2,500円×6) 15,000円
	食糧費	¥ 8,200	¥ 22,083	¥ ▲13,883	秋のワークショップボランティア・スタッフお弁当お茶 3,773円 XmasFestivalボランティアお弁当代11000円 ボランティアお茶1836円 内部スタッフお弁当2274円 春まつりボランティアお弁当3200円
	交通費	¥ 9,000	¥ 4,000	¥ 5,000	打ち合わせ駐車場代 (2000円×1) (500円×4)
	通信費	¥ 15,000	¥ 14,000	¥ 1,000	スタッフ (3000円×4名) 12000円 (1000円×2名) 2000円
	その他経費の合計額 (E)	¥ 55,200	¥ 67,083	¥ ▲11,883	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 498,000	¥ 414,052	¥ 83,948	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 652	事業費の一部を団体の会計より拠出
	ワークショップ参加費	¥ 1,900	ワークショップ参加費 ドリームキャッチャー (200円×8) (300円×1)
	サポーター年間協賛金	¥ 90,000	(20000円×2) まなクル、Y's フラワー (12000円×1) Daily Surf (10000円×1) プリュデコル (8000円×2) kotakota、向日葵太鼓 (4000円×3) イーリス、Cheerful、珀
	イベント出展料	¥ 21,500	XmasFestival出展料 (3000円×1) JUDO (2000円×6) カムロ、雨と粒、エアロビ、manamickey、岩佐、シエロ 春まつり (2000円×2) oneintheworld、シエロ (1500円×1) 岩佐 (1000円×1) アロマ日和
	自己資金の合計額	¥ 114,052	
市	市民活動助成金	¥ 300,000	
合計額		¥ 414,052	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項 (用途など)
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 77,000	秋のワークショップ講師料謝礼 一般社団法人路上博物館 20000×1回 まなクル 10000円×1回 ママ講師 牧野氏 2500円×1回 菱沼氏 2500円×1回 XmasFestivalママ講師 カラフルコットン 今氏 2500円×1回 イベントスタッフ 秋のワークショップ(2000円×2名) XmasFestival(3500円×3名 3000円×2名) 春まつり(3000円×2名 2000円×1名) イベントボランティア (XmasFestival 500円×22名)
	委託料	¥ 46,241	年間チラシとパネルデザイン制作費10000円 (矢切デザイン三木氏) XmasFestivalチラシデザイン冬製作費5000円 (矢切デザイン三木氏) のぼりデザイン制作費16671円 (矢切デザイン三木氏) 春まつりチラシデザイン制作費5000円 (矢切デザイン三木氏) 地域新聞XmasFestival6270円・春まつり3300円
	消耗品費	¥ 67,365	インクカートリッジ、コピー用紙14070円 (インク代7734円他) 居場所用品8,005円 (子どもプール4950円他) 事務用品1100円 (封筒代110円他) オンライン用品16682円 (三脚8909円他) XmasFestival用品16,308円 (マスク代5946円他) 春まつり用品11200円 (養生テープ・風船代1210円他)
	印刷製本費	¥ 33,700	年間チラシ印刷 (5000部) 12270円 秋のわくわくワークショップ印刷 (1500部) 4970円 Xmasチラシ印刷 (5000部) 11550円 春まつり印刷 (2000部) 4710円 印刷代200円
	使用料及び賃借料	¥ 77,180	・居場所 (檜の庭13回) 43,000円 ・打ち合わせ (サボセン27回) 12,760円 ・イベント当日 秋のワークショップ 1,980円 春まつり 12,840円 ・ZOOM (3回) 6,600円
	保険料	¥ 21,980	全国社会福祉協議会 ボランティア行事保険 秋のワークショップ 28円×80人 2240円、 XmasFestival 28円×570人 15960円、春まつり 28円×135人 3780円
	食糧費	¥ 23,503	駄菓子代 8,432円 居場所 2,795円 (菓子2,123円、飲食料672円) 秋のワークショップ 講師、参加者 お茶1684円 講師・スタッフお弁当3691円 春まつり ワークショップ講師、参加者 お茶1,101円 講師・スタッフお弁当4300円・1500円
	対象経費の合計	¥ 346,969	
その他経費	報償費	¥ 27,000	内部スタッフ講師料 (3,000円×4) 12,000円 (2,500円×6) 15,000円
	食糧費	¥ 22,083	秋のワークショップボランティア・スタッフお弁当お茶 3,773円 XmasFestivalボランティアお弁当代11,000円 ボランティアお茶1,836円 内部スタッフお弁当2,274円 春まつりボランティアお弁当3,200円
	交通費	¥ 4,000	打ち合わせ駐車場代 (2,000円×1) (500円×4)
	通信費	¥ 14,000	スタッフ3000円×4名 12,000円 1,000円×2名 2,000円
	その他経費の合計	¥ 67,083	
合計額		¥ 414,052	





松戸市民向け SDGs 普及啓発事業

まつど地域活躍塾つながりの会

## 活動状況報告書

1 事業名称 松戸市民向けSDGs普及啓発事業

2 実施主体

■団体名：まつど地域活躍塾つながりの会

従事者数：39名

団体概要：2017年松戸市で開設した「まつど地域活躍塾」（活躍塾）の修了生有志によって2019年に立ち上がった団体で、活躍塾の目標を実現するため、修了生の地域での活動・活躍を支援し、地域の活性化に寄与することを目的としている。

会の活動内容は決まっているわけではないが、現在注力していることは松戸市民がSDGsにより関心を持ち、個々の行動につながることを目指し、市内の活動団体・企業と連携した普及啓発活動を行っている。

3 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) SDGsネットワーク形成

日付	作業内容
1月4日 (R3年度事業の準備としてR2年度中に団体独自で実施)	R3年度市民活動助成事業「松戸市民向けSDGs普及啓発事業」全体概要の意見交換（つながりの会SDGs推進担当及び役員）
3月23日 (R3年度事業の準備としてR2年度中に団体独自で実施)	SDGs普及啓発ネットワーク形成声掛け対象団体の選定（つながりの会SDGs推進担当及び役員）
4月1日～ 4月10日	SDGs普及啓発ネットワーク形成参加の呼びかけ（つながりの会SDGs推進担当及び役員の手分けにより、約30の市内活動団体対象）
4月25日	SDGs普及啓発ネットワーク形成オリエンテーション実施（13団体・企業が参加表明）
5月9日	SDGs普及啓発ネットワーク形成第1回ミーティング実施 場所：まつど市民活動サポートセンター 大会議室A面 参加：21名（つながりの会10名、ネットワーク形成団体11名）

7月17日	SDGs 普及啓発ネットワーク形成第2回ミーティング実施 場所：まつど市民活動サポートセンター大会議室＋オンライン 参加：14名（つながりの会6名、ネットワーク形成団体8名）
12月5日	SDGs 普及啓発ネットワーク形成第3回ミーティング実施 場所：まつど市民活動サポートセンター大会議室＋Google Meet オンライン オンライン操作：佐藤秀樹 参加：6名（つながりの会3名、ネットワーク形成団体3名）

(2) スタディツアーを通じた能力の向上

日 付	作 業 内 容
4月10日	木更津市地方創生推進課に6月ごろをめどに10名程度のスタディツアーをメールで打診し、基本的受け入れを確認する。
4月23日	スタディツアーはオンラインに変更、開催時期を8月に延期で同意を得る（コロナ感染が収まらないことによる）
7月1日	スタディツアー日程を8月3日（火）を合意。 スタディツアー（オンライン）参加者を募る（つながりの会及びSDGsネットワーク形成団体対象） 木更津市への質問事項を募る。
7月20日	木更津市へ参加者情報、進行予定および質問事項を伝える。
7月26日	木更津市地方創生推進課長宛 木更津市 SDGs スタディツアー（オンライン）実施依頼書提出。提出者 会長佐藤孝逸
8月3日	木更津市スタディツアー（Google Meet オンライン）を実施する。 参加者15名（木更津市1名、つながりの会関連：6団体・企業14名。） オンライン操作：佐藤秀樹
9月26日	松戸市役所市政総合研究室とのSDGsに関する情報交換会実施（Zoom オンライン）。情報交換会で木更津市スタディツアー概要を伝える。参加者6名（松戸市2名、つながりの会関係4名）

(3) 松戸版市民向けSDGs教材に関する意見交換・議論

日 付	作 業 内 容
6月12日	松戸市SDGs教材骨子づくり案を作成・提示 提示者：佐藤秀樹
7月27日	松戸市SDGs教材骨子づくりの第1回意見交換会案を提示
8月28日	松戸市SDGs教材骨子づくりの第1回意見交換会を実施（Google Meet オンライン） オンライン操作：佐藤秀樹 参加者：8名 2グループに分けアイデア出し、アイデアはJamboardにピックアップし共有化する。次年度教材作成に反映。

(4) 松戸市民向けSDGs基礎講座の開催

日付	作業内容
6月12日	松戸市民向けSDGs基礎講座案作成・提示 提示者：佐藤秀樹
7月17日	松戸市民向けSDGs基礎講座案更新
7月20日～ 8月10日	基礎講座登壇候補団体・企業に打診をする。 企業（新松戸造園、マツキヨココカラ&カンパニー）、団体（外国人の子供のための勉強会、て to てナビ、メイク松戸ビューティフル、MamaCan, 岩瀬自治会、松戸地域猫スタートサポート）からの承諾を得る。
8月7日	松戸市民向けSDGs基礎講座案再更新 日程（10月23日、24日）（11月20日、21日）、場所（五香市民センター）、内容を確定する。2日で1セットとし、2セットを実施。1セット1000円の参加費とする。
8月10日	チラシの企画および作成
8月15日	チラシの印刷
8月18日	市の広報掲載依頼（10月15日号）
9月24日	市民自治課経由で市民センター等へチラシの配架依頼
10月23日、24日	松戸市民向けSDGs基礎講座第1回目開催 五香市民センター講師 1日目 ・平野将人（一社 銀座環境会議代表理事、つながりの会副代表） ・松戸克浩（(株)新松戸造園代表取締役） 2日目 ・海老名みさ子（認定NPO法人外国人の子どものための勉強会 代表理事） ・今泉麻美（て to てナビ 代表）、加藤木良子（同会） ・佐藤誠（メイク松戸ビューティフル） ・佐藤秀樹（つながりの会 副代表、江戸川大学 教員） 参加者 1日目12名（一般4名） 2日目16名（一般4名）
11月20日、21日	松戸市民向けSDGs基礎講座第2回目開催 五香市民センター講師 1日目 ・平野将人（一社 銀座環境会議代表理事、つながりの会副代表） ・関政紀（(株)マツモトキヨシホールディングス） 2日目 ・田中奈緒（NPO法人MamaCan） ・神田正昭（岩瀬自治会自治会長）、塚本輝雄（同自治会副会長） ・山中やすゆき（地域猫スタートサポート 代表）、川野ひろし（同 相談役） ・佐藤秀樹（つながりの会 副代表、江戸川大学 教員） 参加者 1日目15名（一般3名） 2日目13名（一般1名）

(5) 松戸市民向けSDGsフォーラムの開催

日 付	作 業 内 容
7月2日	松戸市民向けSDGsフォーラムのイメージ案作成 R4年2月13日(日)開催想定
7月2日	消費者庁地方協力課経由で”消費者庁エンカルライフスタイルSDGsアンバサダー”富永愛さんのSDGsフォーラム記念講演講師を打診。→消費者庁経由で当人の日程調整立たず辞退の連絡。
11月29日	SDGsフォーラム開催案の再検討 開催日を2月23日(水)、会場をまつど市民活動サポートセンター大会議室に決定。
12月1日～ 12月30日	フォーラム登壇候補対象に依頼打診をする。 松戸市：市政総合研究室、教育委員会指導課 企業：千葉銀行 団体：岩瀬自治会、銀座環境会議 12/3 松戸市出身宇宙飛行士 山崎直子様秘書経由でメールでフォーラム登壇の打診をする。
12月20日	市民自治課経由で市内市民センター等へのチラシ配架を依頼
12月21日	松戸市市政総合研究室に松戸市の後援を依頼。フォーラムの挨拶およびSDGsについての松戸市の取り組み説明を依頼する。 SDGsフォーラム学生運営委員会の参加提示いただく。了解
令和4年 1月7日	松戸市教育委員会指導課とSDGsに関する情報交換。 SDGsフォーラムへの登壇打診
1月26日	チラシの企画および作成
2月3日	市民自治課、チラシのチェック&指摘
2月4日	チラシ印刷
2月8日	市内のコロナ感染者数がまだ多く、フォーラム当日は会場でのリアル開催とオンラインのハイブリッド開催をするため、オンラインシステム及び操作理解のため講習を受ける。 場所：まつど市民活動サポートセンター 調理室 講師：齋藤 和輝 受講者：佐藤孝逸、石塚雄、小池ひろの、佐藤秀樹(オンライン)
2月21日	宇宙飛行士で松戸市天空スーパーアドバイザー兼松戸市民会館名誉館長の山崎直子様よりSDGsフォーラム応援メッセージ戴く
2月23日	松戸市民向けSDGsフォーラム開催 まつど市民活動サポートセンター。参加者52名(リアル会場30名、オンライン22名)。 進行：佐藤秀樹 オンライン操作：井坂千穂

	<p>講師：〔挨拶〕・佐藤孝逸（つながりの会 会長）</p> <p>〔挨拶〕・中平治（松戸市総合政策部総合政策課市政総合研究室 室長代理）（オンライン）</p> <p>〔メッセージ代読〕・遠藤友美子（宇宙飛行士 山崎直子様からのメッセージ代読）</p> <p>〔つながりの会 SDGs 普及啓発活動取組み〕・佐藤秀樹（つながりの会副会長、江戸川大学教員）</p> <p>〔SDGs の概要及び本質〕・平野将人（一社 銀座環境会議 代表理事、つながりの会副会長）</p> <p>〔行政の取組み〕・中平 治（松戸市市政総合研究室 室長代理）・菊地聖子（教育委員会指導課長）、戸部智美（教育委員会指導課 指導主事）（オンライン）</p> <p>〔企業の取組み〕・中尾雅一（千葉銀行地方創生部）（オンライン）</p> <p>〔市民社会の取組み〕・神田正昭（岩瀬自治会自治会長）、塚本輝雄（同自治会副会長）</p> <p>〔学校・学生の取組み〕・山下萌子（千葉大学生）（オンライン）</p>
--	--

## (2) 事業内容のふりかえり

<p>・松戸市民に SDGs を普及啓発していくにあたり 5 つのテーマを設定し進め、ほぼ計画通りに実施することができた。</p> <p>・コロナ禍での計画推進であり、テーマ (2) 木更津市スタディツアーは予定 (6 月中旬) より遅れたが 8 月上旬に実施できた。ただし、現地訪問学習は不可となりオンラインで実施することになった。</p> <p>そのため、事業予算のその他経費で交通費として計上していた¥30,000 (¥3,000×10 名)、保険料¥5,000 (¥500×10 名) は使用しなかった。</p> <p>・テーマ (4) 松戸市民向け SDGs 基礎講座開催は当初松戸市民活動サポートセンターを想定していたが、開催予定の 10 月、11 月は同センターは新型コロナ感染予防ワクチン接種会場に指定される可能性ありとして会場予約ができなくなり、結果五香市民センターを会場として予約した。同センターは会場での音響設備の使用料が発生した。</p> <p>・テーマ (5) 松戸市民向け SDGs フォーラムは令和 4 年 2 月 13 日 (日) を予定していたが、会場は新型コロナワクチン接種会場の確保の可能性で会場使用が出来なくなり、日程 (→2 月 23 日) と会場 (サポセンホール→大会議室) を変更した。</p> <p>・テーマ (5) の開催では一般の参加者はオンライン参加の希望があり、さらに講師の中でもオンライン参加が多くなり、円滑な運営を進めるために 2 月 8 日フォーラム担当者の Zoom によるオンラインシステムの理解と操作の理解のために講習を受けることとした。そのために当初予定のなかった会場代が新たに発生した。</p>
--

#### 4 事業成果について

##### ・目標の達成と課題の解決について

・市民のSDGsに関する認知がまだ低いととらえ、市民が当事者意識を持って進めていくには、SDGsをボトムアップで進めて、生活の実践や取り組みにつなげていく必要があることを課題と捉えた。

##### (1) SDGsネットワークの形成

・10以上のNGO/NPO、市民団体等が本SDGsネットワークに参加し、勉強会や意見交換会開催し、市民向けSDGsを普及啓発させるための方針や方向性を議論することを目標とした。

結果：市内13の活動団体・企業とのネットワーク形成が実現でき、これをベースに普及啓発テーマであるスタディツアーやSDGs教材作成に向けた意見交換にも参加協力をいただいた。松戸市民を対象としたSDGs基礎講座やSDGsフォーラムの開催にあたっては講師としての参加協力を得ることができた。3回のミーティング開催を通じてつながりの会の意図を理解いただいたと判断する。

目標達成度：95%。基礎講座やフォーラムへの参加を通じて、今後どのような方向性をもって進んでいくべきかについては議論がまだ十分とは言えず、共通認識できる議論が必要と考える。

##### (2) スタディツアーを通じた能力の向上

SDGsに先進的に取り組んでいる自治体（事業体）スタディツアー（意見交換、現地視察等）を実施し、参加者が松戸市でSDGsを普及啓発するためのアイデアが3つ以上出すことを目標とした。

結果：スタディツアー対象を、オーガニックシティをうたいSDGsの取組みを進めている木更津市に定め、市の承諾を得た。ただし、新型コロナウイルス感染者が増加している状況で現地視察、意見交換は叶わなかった。8月3日にオンラインで木更津市との情報交換を開催できた。

参加者は15名（木更津市1名（地方創生推進課）、ネットワーク形成団体（6団体・企業8名）、つながりの会6名）。

内容：①スタディツアー趣旨説明 ②木更津市の取組み「オーガニックなまちづくりなど取組み状況」（木更津市地方創生推進課 林氏） ③SDGsに関する木更津市への質問と説明（参加者による木更津市への事前質問と回答） ④全体的な意見交換

ふり返し：終了後、スタディツアー参加者はふり返しを①SDGs普及啓発促進のアイデア ②松戸市との情報交換の際の提言を視点に「振り返りシート」（作成 佐藤秀樹）に記入し送付することとした。SDGs普及啓発促進のアイデアとして「広報・情報発信」「活動」として、松戸市との情報交換の際の提言として「目標・テーマ・イ

メージ・共有化」「組織・運営」「行政・施策・リーダー」「連携」として括ることができた。

目標達成度：90%。コロナ禍の中にあってもオンラインで実施でき、参加者それぞれが感じることができそれを今後のSDGs普及啓発促進のアイデアの提示につなげることができた。100%未達部分は現地でのリアルな意見交換できなかったこと。

### (3)松戸版市民向けSDGs教材に関する意見交換・議論

市民に分かりやすい、教材の開発に向けた方向性（骨子案）作成のためのアイデア創出および活用方法を含めた意見交換・議論することを目標とする。

結果：8月28日（土）13：30～15：30 GoogleMeets オンラインで開催する。

参加者は8名（SDGsネットワーク形成団体4名、つながりの会3名、活躍塾5期生1名）。進行、オンライン操作：佐藤秀樹（つながりの会）

内容：参加者に当日の趣旨を伝える。既存の教材事例を示す。参加者が2グループに分かれアイデア出しの意見交換する。出されたアイデアをボードに記録し、各グループ代表が紹介しグループ間共有する。

目標達成度：90%。教材作成を目指し意見交換開催するまでは実施できた。意見交換で出たアイデアを共有し、骨子案として肉付け、方向づけするための議論が必要。

### (4)松戸市民向けSDGs基礎講座の開催

SDGsを松戸市民への普及啓発を図るための講座を開催し、受講者が講座で学んだことを活かし、松戸版アクションプランの作成を行うことを目標とする。

結果：10月23日（土）、24日（日）及び11月20日（土）21日（日）の2日間2回の開催を実施した。会場：いずれも五香市民センター。講師はSDGsネットワーク形成団体に積極的な協力をいただき、1回目2回目とも企業の参加をいただくことができた。司会進行はつながりの会佐藤秀樹。

参加者（一般）：1回目延べ8名（1日目4名、2日目4名）、2回目延べ4名（1日目3名、2日目1名）

目標達成度：80%。講座の2日目も参加しアクションプランまで進んだ受講者は、カードゲームでSDGsの概要を知り、市内活動団体の活動とSDGsとの結びつきを知り、アクションプランの参加で自分がどのようにかかわっていくべきかを知り、受講は有意義であった等の感想を述べられており、参加者に対する目標は達成したと考える。しかし、参加者自体が想定（1回20名）より少なかったことは、告知の仕方も含めて反省すべき点はある。

### (5)松戸市民向けSDGsフォーラムの開催

SDGsを松戸市民に広く知ってもらうために松戸市の取り組み、市内の活動団体や企業の取り組みを紹介、市民のSDGsに対する声（認知度等）を把握することも目標とする。



(市民の参加 50 名程度)

結果：松戸市の後援をいただき、2022 年 2 月 23 日（日）、会場：まつど市民活動サポートセンターでリアルと Zoom オンラインのハイブリッドで開催。

参加者：52 名（リアル会場 30 名、オンライン 22 名）

登壇者は松戸市（市政総合研究室、教育委員会指導課）、企業（千葉銀行）、活動団体（岩瀬自治会、銀座環境会議）、大学連携（代表発表 千葉大学）、つながりの会

目標達成度：90%。多角的な方面からの SDGs への取り組みを知ることができた。今回は小・中の学校での取り組みや高校生の活動の一端を知ることができ、さらに松戸市内の 4 大学の連携による SDGs の取組みは新たな情報であり、新たな活動の広がりを感じさせるものであった。主催者側および登壇者も含めての関係者側では手応えありと感じていたが、一般市民への伝達および呼び起しについてはどうであったか、引き続き反省・検討が必要であると考えます。

・ここ 1 年は社会的にも SDGs はメディアでも頻繁に取り上げられ、認知は急速に向上してきた。松戸市でも市政の重要な目標として取り入れられた。学校でも SDGs が取り込まれ子どもたちの認知が高まってきたことなども、本事業を推進する上でのあと押しになっていると認識する。

## 5 今後の事業展開

・SDGs の普及啓発活動は、単年度の活動で終わるものではなく継続していくことが重要である。令和 3 年度の事業をふり振り返り今後次のような展開を考えている（令和 4 年度松戸市民向け SDGs 普及啓発促進事業で実施）。

- ① SDGs ネットワークの拡大（13→20 団体・企業目標）：市内活動団体のパワーは大きく、つながることによりさらに大きな力を発揮できる。
- ② 活動推進のツールを活用：普及推進活動にはわかりやすい教材が必要であり、松戸版教材を作成し、講座等で試用し評価する。
- ③ 地域への普及啓発活動推進：市民への認知向上を進めるには、地域の自治会、団体、組織等での講座や勉強会・対話等を通じて機会を持つ。
- ④ 市内活動団体の活動を通じて SDGs を理解する：座学と実践で理解する。
- ⑤ SDGs につながる活動や行動を写真で記録し応募、コンテストとし共有で理解する。

・事業展開する上で、松戸市地方創生 SDGs 推進本部の取り組み状況を注視し、可能なものは協力しながら進める。また、高校や大学での SDGs 活動で協力可能なものは協力しながら進める。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	講座参加料	¥ 40,000	¥ 8,000	¥ 32,000	SDGs基礎講座の参加者8名 1,000円*8人
	団体拠出金	¥ 6,960	¥ 9,893	¥ ▲2,933	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 46,960	¥ 17,893	¥ 29,067	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 85,700	¥ 14,300	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 146,960	¥ 103,593	¥ 43,367	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 45,000	¥ 30,000	¥ 15,000	外部講師 3,000円×10回 (10/23・11/20・11/21・2/23)
	消耗品費	¥ 12,350	¥ 4,656	¥ 7,694	マジック1,689円・缶バッジ1,210円・消毒液657円など
	食糧費	¥ 1,050	¥ 0	¥ 1,050	コロナ感染対策として講師への飲料提供中止
	印刷製本費	¥ 46,500	¥ 26,717	¥ 19,783	基礎講座チラシ印刷(1000枚) 3,990円 フォーラムチラシ印刷(2000枚) 7,050円 他は配布資料コピー
	使用料及び賃借料	¥ 1,760	¥ 31,380	¥ ▲29,620	基礎講座で五香市民センター(4回) 22,700円 松戸市民活動サポートセンター(5回) 8,680円
	通信運搬費	¥ 800	¥ 2,470	¥ ▲1,670	基礎講座チラシ郵送 1,610円 フォーラムチラシ郵送 860円
	保険料	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	コロナ感染対策としてZOOM会議で対応のため発生無し
		対象経費の合計(D)	¥ 112,460	¥ 95,223	¥ 17,237
(対象外)経費	交通費	¥ 30,000	¥ 0	¥ 30,000	コロナ感染対策としてZOOM会議で対応のため発生無し
	食糧費	¥ 4,500	¥ 0	¥ 4,500	同 上
	会員の講師謝礼		¥ 8,000	¥ ▲8,000	4,000円×2回 (10/23・11/20)
	通信運搬費		¥ 370	¥ ▲370	会員宛フォーラムチラシ郵送代
		その他経費の合計額(E)	¥ 34,500	¥ 8,370	¥ 26,130
	合計額(F) = (D+E)	¥ 146,960	¥ 103,593	¥ 43,367	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 14,300
------------	----------

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団 体	講座参加料	¥ 8,000	SDGs基礎講座の参加者8名 1,000円*8人(10/23:4名・11/20:3名・11/21:1名)
	当団体拠出金	¥ 9,893	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 17,893	
市	市民活動助成金	¥ 85,700	助成金対象総費用¥95,223の90%=¥85,700のため、¥100,000との差額¥14,299返金
	合 計 額	¥ 103,593	

## 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 30,000	講師謝礼 1. 基礎講座講師 協力8団体 3,000円×8名 (10/23・11/20・11/21) 2. フォーラム講師2名(岩瀬自治会・千葉大:山下氏) 3,000円×2名 (2/23)
	消耗品費	¥ 4,656	マジック1, 689円・缶バッチ1,210円・消毒液657円など
	印刷製本費	¥ 26,717	基礎講座チラシ印刷(1000枚) 3,990円 フォーラムチラシ印刷(2000枚) 7,050円 他は配布資料コピー
	使用料及び賃借料	¥ 31,380	基礎講座で五香市民センター (4回) 22,700円 10/23・10/24・11/20・11/21 松戸市民活動サポートセンター (5回) 8,680円 5/9・7/17・12/5・2/8・2/23
	通信運搬費	¥ 2,470	基礎講座チラシ郵送 1,610円 フォーラムチラシ郵送 860円
	対象経費の合計	¥ 95,223	
	会員講師の謝礼	¥ 8,000	1. 基礎講座講師 ①銀座環境会議(平野氏) 4,000円×2回 (10/23・11/20)
	通信費	¥ 370	会員宛フォーラムチラシの郵送代
	その他経費の合計	¥ 8,370	
	合 計 額	¥ 103,593	



居場所提供と家出女性保護事業

NPO 法人仮り暮らし

## 活動状況報告書

1 事業名称 居場所提供と家出女性保護事業

2 実施主体

■団体名：NPO法人仮り暮らし

従事者数：11名

団体概要：この法人は、広く一般市民を対象として、保護を必要とする子どもの保護、保護した子どもとその家族の心身のケア、および非正規労働者への職の提供を行うことによって子どもの健全な育成と、非正規労働者への安定した労働環境の提供、就業支援を目的とする。

3 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

① 居場所提供事業の実施

日付	作業内容
4月1日～3月31日	毎週金土日祝に居場所提供および対面相談を開始
12月25日	まつど市民活動サポートセンターへチラシ配架の依頼

② 家出女性保護事業の実施

日付	作業内容
4月1日～3月31日	家出女性とSNSやメールで連絡を取り合い、仮り暮らしの家で保護
4月1日～3月31日	保護した女性の家庭復帰支援・自立支援

③ 資格取得の応援

日付	作業内容
4月1日～3月31日	毎週金土日祝に居場所提供および対面相談を開始
3月7日～3月18日	参考書籍の選定・購入

④ 家庭復帰・自立への支援

日付	作業内容
4月1日～3月31日	家庭復帰：家族との電話面談、意思疎通の仲介 自立支援：資格取得に向け参考書の選定・購入 病院、障害福祉相談支援センター、保健所、児童相談所等への同行・情報共有、支援依頼

⑤ 提供している居場所の環境整備をする

日 付	作 業 内 容
4月1日～3月31日	居場所の環境整備 ・インターネット環境の整備(光回線開通およびWi-Fi 設備強化) ・一般書籍、加湿器や本棚等の備品を導入

(2) 事業内容のふりかえり

2021 年度は松戸市内・市外を問わず児童相談所や児童養護施設から入居希望の打診をいただいたり、そもそも公的施設に抵抗感を持つ女性を保健所や児童相談所に繋いだりしました。

相談窓口に辿り着けないケースについては、対面相談をきっかけに保健所や基幹相談支援センター等の支援団体と一緒に探したり、同行したりすることができました。

また、2020 年度よりも 2021 年度の方が松戸市内の女性からの問い合わせがやや増えておりました。

なお、予算について、食糧費は、居場所の利用人数が当初の想定を大きく上回ったため、予算を上回りました。

4 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

①日中の居場所を探す女性が仮り暮らしを利用する（月の利用人数：10 名程度） ⇒結果：2 名程度 /月
②家出女性が仮り暮らしの家を利用する（月の利用人数：1～若干名）。 ⇒結果：2 名程度 /月
③家出女性が公的制度を利用し、家庭への復帰や自立を達成する（年単位で見た場合、1～若干名）。 ⇒結果：6 名 /月
④悩みを持つ男女が仮り暮らしに相談し、活路を見出す（月の利用人数：1～若干名）。 ⇒結果：10 名程度 /月
5月に受け入れた1名が思いがけず長期利用となってしまったので、2021 年度は受け入れた人数が年間6名となりました。うち4名が実家と和解し実家に戻り、2名は和解しつつ親御様や支援機関の援助とともに一人暮らしの開始となりました。シェルターはほぼ満室状態が続いています。居場所については、年間で50名の利用を見込んでいましたが、延べ100名以上に利用していただきました。松戸市内から何名か、実際に対面相談という形でお越しになったこともあります。よって、課題に対する成果目標は達成したものと考えます。

## 5 今後の事業展開

家出女性の保護について、受け入れ率をさらに増加できるよう、緊急性が高くない場合にかぎり、長期利用を希望する方を同時に受け入れないなど対策をしていきます。

居場所提供については、「来て良かった」と仰っていただくことが多かったことを強調し、遠方からでも「とりあえず行ってみよう」と思えるよう、備品の増設や、HP に掲載する写真を増やしたり、SNS での発信を強化するなどしたりして対応していきます。



## 収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	寄付金	¥ 1,476,000	¥ 196,794	¥ 1,279,206	正会員寄付金
	振り暮らし利用料	¥ 25,000	¥ 82,300	¥ ▲57,300	500円 × 28人, 300円 × 147人, 100円 × 242人
	団体拠出金	¥ 60,000	¥ 83,484	¥ ▲23,484	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 1,561,000	¥ 362,578	¥ 1,198,422	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 1,661,000	¥ 462,578	¥ 1,198,422	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 119,000	¥ 132,605	¥ ▲13,605	参考図書(35,107円(3,608円他9冊)), 本棚(4780円/1個) 一般書籍(63,232円(440円他292冊)), クッション(17,880円(2980円/6個)) シュレッダー(7,566円/1個) 加湿器(4,040円 × 1個)
	食糧費	¥ 36,000	¥ 107,590	¥ ▲71,590	利用者の軽食費用(お菓子85,380円、飲み物22,210円)
	通信運搬費	¥ 54,000	¥ 0	¥ 54,000	対象外経費に計上したため0円
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
		対象経費の合計(D)	¥ 209,000	¥ 240,195	¥ ▲31,195
(その他対象外経費)	家賃(居場所提供のテナント賃料)	¥ 600,000	¥ 0	¥ 600,000	施設等受入評価益として計上するため0円。
	光熱水費(居場所提供のテナント賃料)	¥ 120,000	¥ 50,067	¥ 69,933	
	家賃(シェルター家賃)	¥ 480,000	¥ 0	¥ 480,000	施設等受入評価益として計上するため0円。
	光熱水費(シェルター提供のテナント賃料)	¥ 252,000	¥ 162,966	¥ 89,034	
	通信運搬費(居場所提供のインターネット回線費用)	¥ 0	¥ 9,350	¥ ▲9,350	光回線契約初期費用
	その他経費の合計額(E)	¥ 1,452,000	¥ 222,383	¥ 1,229,617	
	合計額(F) = (D+E)	¥ 1,661,000	¥ 462,578	¥ 1,198,422	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	寄附金	¥ 196,794	正会員寄付
	仮り暮らし利用料	¥ 82,300	高校生以上500円 × 28人, 中学生以上300円 × 147人, 小学生以上100円 × 242人
	団体拠出金	¥ 83,484	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 362,578	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
合計額		¥ 462,578	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 132,605	参考図書(35,107円(3,608円他9冊)), 本棚(4780円/1個) 一般書籍(63,232円(440円他292冊)), クッション(17,880円(2980円/6個)) シュレッダー(7,566円/1個) 加湿器(4,040円 × 1個)
	食糧費	¥ 107,590	居場所提供事業利用者の軽食費用(お菓子85,380円、飲み物22,210円)
	対象経費の合計	¥ 240,195	
その他経費	光熱水費	¥ 213,033	居場所(50,067円)、シェルター(162,966円)
	通信運搬費	¥ 9,350	居場所提供のインターネット回線費用(光回線契約初期費用)
	その他経費の合計	¥ 222,383	
合計額		¥ 462,578	

みんなで育て、みんなでつくる  
沿道での食べられる景観事業

エディブルウェイプロジェクトチーム

## 活動状況報告書

1 事業名称            みんなで育て、みんなで作る 沿道での食べられる景観事業

2 実施主体

■団体名： エディブルウェイプロジェクトチーム

従事者数： 15名

団体概要： 沿道の住宅や店舗前のスペースで、野菜やハーブなど食べられる植物を育てる「食べられる景観」づくりをし、収穫物を使った共食活動やものづくり活動を行うことで、住民の交流のきっかけづくりや関係構築を図る。

3 事業の実施内容 （事業毎に記載）

(1) 事業内容

事業計画時に、打ち合わせでオンライン開催の希望があり、講座、ワークショップを実会場とオンラインの併用で行う計画でしたが、参加者を募集したところ、オンライン参加の希望がなく、結果的に実会場でのみの開催となりました。

① プランターへ苗植え講座開催と植え替え活動（4-5月・9-10月）

日付	作業内容
4/17	堆肥づくり講座・映画上映会、タネ・苗配布会（松戸三丁目東自治会館）参加者8名
5/4, 15, 22	苗・タネ配布、植え替えサポート活動、新規設置。
7/10・22、8/1、9/12、 3/6	打ち合わせ（植え替えの課題、植え替え計画、新規設置、栽培方法等に関して）（8/1 松戸市民会館。他は、メンバー自宅または、大学研究室で実施。）
8/29	プランター シルクスクリーンワークショップ（松戸市民会館）参加者5名
9/26	タネ・苗配布会・植え替え講座・植え替えサポート活動（松戸三丁目東自治会館）参加者10名
11/20	プランター撤去・植え替えサポート活動
12/19	プランタークラフトサイン修復作業

② 子どもと一緒にクラフト・アートワークショップ（WS）の開催（6・11月）

日付	作業内容
6/15, 11/14, 30	クラフトワークショップ打ち合わせ・試作会
6/27	ハーブバスボムづくり WS 実施（松戸三丁目東自治会館）参加者8名
12/19	木工 WS 実施（松戸三丁目東自治会館）参加者7名（2名付き添い）

③ ハーブクラフト講座 (7・12月)

日 付	作 業 内 容
6/29, 1/15, 2/27	ハーブクラフト試作会・打ち合わせ (2/27 は松戸市民会館で実施。他は、メンバー自宅または、大学研究室で実施)
7/11, (3/13)	ハーブバスソルトづくり WS 実施 (松戸三丁目東自治会館) 参加者 8 名 (3/13 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)

④ 毎月の活動を千葉大学学生有志グループみどりの回廊ワーキンググループが発行する瓦版に掲載し、参加者に配布する。

日 付	作 業 内 容
4/5, 5/3, 6/7, 7/5, 8/2, 9/6, 10/4, 11/1, 12/6, 1/10, 2/7, 3/7	みどりの回廊通信発行・配布
5/18	エディブルウェイプロジェクトチーム オープンチャット開設

⑤ コミュニケーションと振り返り

日 付	作 業 内 容
9/14, 3/20	植え替え案内・アンケートポスティング (9/14 : 49 世帯、3/20 : 87 世帯)

⑥ 地域住民へ報告会

日 付	作 業 内 容
3/20	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止、書面配布

(2) 事業内容のふりかえり

<p>① 事業目的については、食べられる景観づくり活動は、プランターを設置している家、事業所前 (49 ヶ所) で行いました。植え替え講座 2 回、植え替えの準備のためのシルクスクリーンワークショップの機会を設けました。春の植え替え時には、タネの配布と合わせて、堆肥づくり講座 (8 名参加) として、愛媛県産業技術研究所で開発された環境浄化微生物「えひめ AI」をイースト菌、納豆菌、乳酸菌をもとにつくりました。秋の植え替えに際し、プランターにロゴを印刷するプランターシルクスクリーンワークショップ (5 名参加) も参加者を対象に開催し、植え替え用のプランターをみなさんと作ることができました。これまでは、ロゴプリントは、学生でやっていたので、地域の方と一緒に作ることができてよかったです。秋の植え替えには、苗配布会・植え替え講座 (10 名参加) を実施しました。植え替え講座では、コロナの影響でなかなか会えなくなった参加者の方々が久しぶりに会ってお話しされている様子が印象的でした。また、参加者の方のアンケート等から育てている野菜のことが参加者同士が道で会った際の話や、水やりなどの世話の際に、通行人と挨拶を交わ</p>
--

すなど日常のコミュニケーションのきっかけになっているようでした。また、12月に全ての参加者のプランターに設置してあるクラフトサインの補修作業を行いました。

市民活動サポートセンターのレッツ体験（青少年向けボランティア体験講座）の受け入れ団体として、9月の植え替え時の4名のボランティアを受け入れました。12月のワークショップとクラフトサイン補修時は、独自にボランティアを募集し、2名に参加していただくことができました。

②・③ 子ども向けクラフトワークショップは、6月にハーブバスボムづくり（8名参加）、12月にトムテ（木工クラフト）づくり（9名参加）を実施しました。ハーブクラフトは、7月にハーブバスソルトづくり（8名参加）を実施しました。3月に、実施を計画していたアロマワックスバーづくりは、試作と準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止としました。

ワークショップへは、エディブルウェイ参加者以外の方や対象地域以外の松戸市内の方にも参加していただくことができ、プロジェクトの紹介をすることができました。店頭で、瓦版を手にした方が、ワークショップに参加してくださったり、ワークショップへの参加をきっかけに、来年度春からのプランター活動に参加していただける方がいて、それぞれの活動のつながりも出てきています。

④ 毎月の瓦版への原稿執筆と瓦版発行、配布を行いました。また、オンラインでもコミュニケーションができるように、LINEのオープンチャットを立ち上げ、希望者の方に参加していただいています（現在14名参加）。瓦版に関しては、予算で購入したトナー1セットでは、約50世帯+店舗への配布分を合わせた100枚（A4両面カラー印刷）、を12ヶ月分を印刷することができない見込みとなり、10月号からは、参加者の方にお伝えした上で、店舗での設置配布とオープンチャット、SNSでの配信に切り替えました。

⑤ 植え替え時には、植え替え案内、タネ・苗リスト、振り返りと植え替え希望を聞くアンケートを実施しました。植物の栽培の楽しみや、クラフトサインを見て楽しむ機会となっているようです。一方で、プランターを置いている場所によっては、栽培がうまくいかないこともあるようです。運営メンバーの中では、土壌や堆肥のこと、野菜それぞれの栽培方法について、もっとみんなで学ぼうという意欲がわいており、来年度に課題解決に向けて活動を進めていけると話し合っています。

⑥ 新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、身近に感染者が出てきた状況となり、報告会は、中止することにしました。報告会は、⑤の振り返りアンケートとともに、書面にて対応しました。

#### 4 事業成果について

##### ・目標の達成と課題の解決について

感染症対策をしながらの活動に慣れてきたとはいえ、感染症の状況や感染者数は、次々変化しており、感じ方や対策も人によって違いがあり、その都度、対応を考え、話し合い、活動を継続しました。対象が、お子さんから高齢者までと幅広い活動のため、3月の活動については、安心安全を考え、中止としました。

クラフトサインが好評であり、お子さんとクラフトを見て歩いたというお話を聞く等、沿道で見て楽しむ、歩く楽しみを提供する目標はある程度達成できたと思います。

プランターの新規設置は、目標 10 箇所、プランター 20 個でしたが、うまく広報ができず、達成 2 箇所、プランター 3 個となりました。現在は、新規のお申し込みが 76 名から関心があるとご連絡をいただいています。新規設置について植え替え案内と一緒にアンケートを実施した上で、令和 4 年度春からの新規設置を開始します。

植物を用いたイベントの開催を行い、学びや交流の場づくりは、実施できました。エディブルウェイ参加者以外の方の参加や、ワークショップのリピーター参加者もいて、景観づくり以外での地域のつながりも出来つつあると思います。

情報発信は、毎月発行する回廊通信の他に、LINE のオープンチャットを開設し、LINE での情報発信を始めました。双方向でコミュニケーションが取れるので、植え替え時や、ワークショップの感想をみなさんと共有することができるようになりました。

#### 5 今後の事業展開

地域の参加者の方も交えた打ち合わせを実施し、これまでの課題点や、体制、新規参加者をどのように広げるかについて検討することができました。来年度は、より参加者の方と協力し、参加の幅や地域の繋がりを広げていきたいと考えています。

また、来年度は、講座、ワークショップへ専門の講師をお招きし、参加者も運営メンバーもさらに知識を学び、得たものや活動記録をまとめて、地域に知識や技術を蓄積し、地域へ還元し、プロジェクトの継続性に繋げられるよう考えています。ここで、アンケートなどから、出ている栽培に関する課題（害虫や、収穫量が少ないなど）が少しでも解決していくことを目指しています。また、多くの方と協働できるきっかけづくりにつながるように、活動の情報発信も積極的に行いたいと考えています。

## 収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	イベント(WS・講座)参加費	¥ 24,000	¥ 15,100	¥ 8,900	4/17 植え替え・堆肥づくり講座 200円×8名 6/27 クラフトワークショップ 500円×8名 他
	団体拠出金	¥ 18,000	¥ 4,374	¥ 13,626	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 42,000	¥ 19,474	¥ 22,526	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 142,000	¥ 119,474	¥ 22,526	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 85,600	¥ 93,087	¥ ▲7,487	トナー4色セット 15224円×1セット、紙コップ (228円) 土のリサイクル材 (215円×10袋、415円×16袋、497円×10袋) 他
	使用料及び 賃借料	¥ 30,000	¥ 8,140	¥ 21,860	4/17 植え替え・堆肥づくり講座実施分 松戸三丁目東自治会館 202,203会議室 400円×3時間 他
	食糧費	¥ 18,000	¥ 229	¥ 17,771	12/19 参加者お茶代 お茶 (116円×1本) ・ジュース (113円×1本)
	通信運搬費	¥ 8,400	¥ 7,308	¥ 1,092	アンケート回収 切手代 84円×87件
	印刷製本費	¥ 0	¥ 2,420	¥ ▲2,420	瓦版一部印刷代、チラシ・ワークショップ当日資料 4月号 カラーコピー30円×20部 11月号 原稿20円×2部、コピー5円×39部両面 他
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計(D)	¥ 142,000	¥ 111,184	¥ 30,816	
(その他経費)	学生スタッフ交通費	¥ 0	¥ 4,290	¥ ▲4,290	学生スタッフワークショップ・講座当日交通費 314円×1人×5回、1360円×1人×2回
	スタッフお弁当	¥ 0	¥ 4,000	¥ ▲4,000	9/26植え替え講座・植え替えスタッフ・ボランティアお弁当 (500円×8個)
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 0	¥ 8,290	¥ ▲8,290	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 142,000	¥ 119,474	¥ 22,526	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----



## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	講座参加料	¥ 15,100	4/17 植え替え・堆肥づくり講座 200円×8名 6/27 クラフトワークショップ 500円×8名 7/11 ハーブクラフトワークショップ 500円×8名 9/26 植え替え講座 200円×10名 12/19 クラフトワークショップ 500円×7名
	団体拠出金	¥ 4,374	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 19,474	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
合計額		¥ 119,474	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 93,087	事業用消耗品 トナー4色セット 15224円×1セット、紙コップ（228円） 土のリサイクル材（215円*10袋、415円*16袋、497円*10袋） クラフト素材（重曹 603円*2袋、クエン酸 380円*4袋） 他
	使用料及び賃借料	¥ 8,140	会場使用料 4/17 植え替え・堆肥づくり講座実施分 松戸三丁目東自治会館 202,203会議室 400円×3時間 6/27 クラフトワークショップ実施分 松戸三丁目東自治会館101会議室 800円×2時間 7/11 ハーブクラフトワークショップ実施分 松戸三丁目東自治会館101会議室 800円×2時間 8/1 会議実施分 松戸市民会館201会議室 220円×2時間 他
	食糧費	¥ 229	12/19 参加者お茶代 お茶（116円*1本）・ジュース（113円*1本）
	通信運搬費	¥ 7,308	アンケート回収用 84円×87件
	印刷製本費	¥ 2,420	瓦版印刷代（プリンタ故障等により一部コピー、印刷で対応）、チラシ、ワークショップ資料印刷代 4月号 カラーコピー30円×20部 11月号 原稿20円×2部、コピー5円×39部両面 3月号 1050円（両面カラー100枚） 他
	対象経費の合計	¥ 111,184	
その他経費	交通費	¥ 4,290	学生スタッフワークショップ・講座当日交通費 JR常磐線 亀有一松戸（片道157円） 314円×1人×5回 松戸→（新京成線）新津田沼＝津田沼→（JR総武線）千葉→（外房線）鎌取（片道680円）1360円×1人×2回
	お弁当	¥ 4,000	9/26植え替え講座・植え替えサポートスタッフ・ボランティアお弁当（500円*8個）
	その他経費の合計	¥ 8,290	
合計額		¥ 119,474	



各世代の交流を深め、  
地域の輪を広げる地域活性化事業

北小金ドリームプロジェクト

# 活動状況報告書

1 事業名称 各世代の交流を深め、地域の輪を広げる地域活性化事業

2 実施主体

■団体名： 北小金ドリームプロジェクト

従事者数： 15名

団体概要： 本会は、松戸市北小金駅周辺に隣接する商店及び事業を営む者を会員とし、活力と魅力ある地域づくりを目指し、業務の振興・地域経済の発展を主な目的とし、この活動を次世代に繋げていけるよう会員の親睦と結束を図り活動を行うために、2019年1月1日設立した。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

①黄金クリスマスマーケット【事業計画の黄金クリスマスマーケットを中止(コロナ感染者数増加のため)】

日付	作業内容
4月22日	事業企画発案
8月22日	コロナ感染者数増加なうえ、開催場所が駅前で不特定多数の方が利用するので、感染対策が困難だと思われたため中止を決定

②ハロウィンイベント開催【事業計画のハロウィンイベントを中止(共同開催予定のAEONと協議の結果)】

日付	作業内容
4月22日	事業企画発案
8月18日	協力予定だったAEONと協議の結果中止

③朝市開催【事業計画作成時は、隔月開催予定だったが、メインの野菜販売農家さんより、野菜の収穫状況が夏場を難しいこと、外での開催では梅雨時期の予定が立てづらいことにより、隔月開催を断念した。また感染者数の増加による朝市を中止後、日中開催の北小金ドリームマルシェに変更したが中止(開催予定時期にまん延防止が発令されていたため)】

日付	作業内容
4月22日	事業企画発案

6月22日	開催場所の検討
7月22日	開催場所・日程決定 (Soy diner、10月31日(日))
8月22日	感染者増加のため10月の開催中止を決定
10月22日	日中開催の北小金ドリームマルシェ企画・開催場所・日程の検討
11月22日	開催場所・日程決定 (88cafe、2022年2月27日(日))
12月22日	出店料、フライヤー、レイアウト、ブルゾンの検討・作成
1月21日	まん延防止措置発令のため、3月13日に延期を決定
2月12日	まん延防止措置延長のため開催中止を決定

④ドリームプロジェクトパンフレット発行【パンフレット発行を2022年6月以降に延期】

日付	作業内容
4月22日	事業企画発案
7月22日	掲載内容等の検討 (朝市開催に合わせて印刷・配布)
8月22日	朝市開催中止のため、一旦作成保留
11月22日	掲載内容・配布時期等の再検討
12月22日	パンフレットに先立ち、メンバー店掲載用ポスターの作成
1月6日	ポスター印刷
1月22日～2月	パンフレットの内容検討・作成
3月10日	2022年度のイベント予定が直近にはないため、パンフレットの作成・印刷を延期決定

⑤北小金応援プロジェクトの運営および地域情報紙の制作・配布

日付	作業内容
4月22日	応援プロジェクトの投稿は飲食店のみではなく、全業種の掲載検討
5月21日	全業種掲載にあたり、投稿ルールの検討
7月1日	新ルールに移行し、全業種投稿可能に
8月～12月	地域情報紙の制作内容や発行の仕方について検討
12月22日	地域情報紙の制作延期(人員不足のため)
現在	継続してフェイスブック・インスタグラム・ツイッター・ブログにて情報発信中

(2)事業内容のふりかえり

イベント事業は全て開催出来なかった。  
朝市開催に合わせて作成予定だったパンフレットは、朝市の中止により、直近にイベントが行われなかったため、2022年6月以降に作成を延期した。

予算に関しては、イベント開催がなかったため、出店料収入がなく、またイベント告知チラシの印刷及び地域情報紙の印刷は行わなかった。

#### 4 事業成果について

##### ・目標の達成と課題の解決について

①クリスマスマーケット、ハロウィンイベント及び朝市は延べ1,000人の一般参加者の来場を呼び込む。

コロナ禍により本年度も予定していたハロウィン及びクリスマスマーケットのイベントを中止せざるを得なくなり、小規模で感染対策も配慮しつつどうにか開催しようと延期を2回したにも関わらず、感染者数増加により断念した。

②北小金応援プロジェクトのフェイスブックグループメンバー数を700人にする。

北小金応援プロジェクトは当初の飲食店のみの投稿からどの業種でも投稿可能にしたことにより、フォロワー数も増えて好評いただいている。SNSのフォロワー数は現在、フェイスブック420名、インスタグラム750名、ツイッター296名で、さらにフェイスブック内の北小金応援プロジェクト（公開グループメンバー）が833名となっており、合計2,272名と昨年の1,514名から大幅に増加することが出来、今後も発信の重要性を再認識した。

また、SNSを利用しない世代に向けての紙媒体での発信の必要もあるかと思うが、高齢層へのスマホ普及率も高まっていることもあり、紙媒体とともにSNSを高齢層へ普及出来るように講習会を行うなどして広めていけるように検討していきたい。

#### 5 今後の事業展開

①来年度こそは小金の街に人を呼び込み毎年楽しみに待っていてくれるようなイベントを開催する。

②北小金応援プロジェクトの更なる周知

③SNSを通じての北小金の様々な情報発信

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 171,000	¥ 5,552	¥ 165,448	事業費の一部を団体の会計より拠出
	イベント出店料	¥ 70,000	¥ 0	¥ 70,000	イベント中止のため、収入なし
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 241,000	¥ 5,552	¥ 235,448	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 47,982	¥ 52,018	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 341,000	¥ 53,534	¥ 287,466	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	印刷製本費	¥ 80,000	¥ 1,810	¥ 78,190	広報チラシの印刷代 北小金ドリームプロジェクトポスター 1,810円(20枚) パンフレット印刷 イベント時に配布予定だったがイベント中止のため作成延期
	報償費	¥ 50,000	¥ 0	¥ 50,000	クリスマスマーケット中止
	保険料	¥ 15,000	¥ 0	¥ 15,000	クリスマスマーケット中止
	消耗品費	¥ 85,000	¥ 51,504	¥ 33,496	事務用品、コピー用紙等 3,104円 ブルゾン作成 48,400円(25枚)
	使用料及び賃借料	¥ 11,000	¥ 0	¥ 11,000	クリスマスマーケット中止
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計 (D)	¥ 241,000	¥ 53,314	¥ 187,686	
(その他経費)	備品購入費	¥ 100,000	¥ 0	¥ 100,000	クリスマスマーケット中止
	振込手数料	¥ 0	¥ 220	¥ ▲220	ブルゾン作成料振込手数料
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 100,000	¥ 220	¥ 99,780	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 341,000	¥ 53,534	¥ 287,466	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 52,018
------------	----------

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 5,552	事業費の一部を団体の会計より拠出
	イベント出店料	¥ 0	クリスマスマーケット・朝市中止
	自己資金の合計額	¥ 5,552	
市	市民活動助成金	¥ 47,982	
	合計額	¥ 53,534	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の 交付対象 経費	印刷製本費	¥ 1,810	広報チラシの印刷代 北小金ドリームプロジェクトポスター 1,810円(20枚) パンフレット印刷代 イベント開催時に配布予定だったが中止のため作成延期
	報償費	¥ 0	クリスマスマーケット中止
	保険料	¥ 0	クリスマスマーケット中止
	消耗品費	¥ 51,504	ラミネートフィルム 1,041円(163円、878円)、ペーパータオル 97円、ラベルシール(値札用) 174円、 養生テープ 438円、ごみ袋 96円、レジ袋 658円、コピー用紙 273円、手指消毒用アルコール 327 円、 ブルゾン作成 48,400円(25枚)
	使用料及び賃借料	¥ 0	クリスマスマーケット中止
	対象経費の合計	¥ 53,314	
その他 経費	備品購入費	¥ 0	クリスマスマーケット中止
	振込手数料	¥ 220	ブルゾン作成料振込手数料
	その他経費の合計	¥ 220	
	合計額	¥ 53,534	



地域横断型まちづくりバーベキュー事業

竹ヶ花昭成会

# 活動状況報告書

1 事業名称 地域横断型まちづくりバーベキュー事業

2 実施主体

■団体名： 竹ヶ花昭成会

従事者数： 22人

団体概要： <当会会則より抜粋>

(第4条) 本会は、昭和以降に生まれた成人者に依り組織し、会員相互の連携・提供により会員間の親睦を図ることを目的とする。

(第5条) 本会は第4条の目的達成の為に以下の事業を行う

- 1 会員相互の親睦を深めるための事業
- 2 町会等各種別団体との連携・提携に関する事業
- 3 その他必要と認められた事業

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容「地域横断型まちづくりバーベキュー事業」

新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた企画が中止となり、計画していた以下の事業について実施できなかった。

①「地域横断型まちづくりバーベキュー事業」を開催。

②具体的な活動

- 1) バーベキュー準備、実行、後片付け共同作業で交流増加・向上。
- 2) 若手親子中心の花火遊びを通じた「火の取り扱い・消化体験」で防災意識向上。
- 3) 町会所有の防災道具の試し使用訓練と防災リスト・保管場所案内書のクリアファイル同封化で情報提供、持参土産を図る。
- 4) 幼児向けイベント開催で新成年夫婦呼び込み  
(「操り人形、ジャグリング」パフォーマンス) 予定：ドレミファそんりゅう
- 5) 現行キーマンから次世代成年へ事業計画、実行ノウハウ継承

## (2) 事業内容のふりかえり

住民交流のエリア拡大・親交から、防災を意識した子供・成年参加中心のイベントを加味した8月「地域横断型まちづくりバーベキュー事業」を企画したが、緊急事態宣言等、外部要因で開催が叶わなかった。

また、代替の変更案として時期・内容を変更し「餅つき大会」の企画を12月開催の検討したが、新型コロナウイルス感染症の影響を払拭出来ず、代替案も実施見送とした。

年が明け、令和3年度内の事業開催を検討を重ねたが、社会環境の改善見込めず、本年度の事業中止を最終決定した。

## 5 事業成果について

### ・目標の達成と課題の解決について

上記の理由により企画が未実施となり、事業中止となったため解決できなかった。

申訳無く思う。

## 6 今後の事業展開

社会環境の様子を見ながら、令和5年度実施に向けて再度企画を図り、地域の交流増加・向上、防災意識向上の、当初目的を遂行したい。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 80,000	¥ 0	¥ 80,000	
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 80,000	¥ 0	¥ 80,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 99,000	¥ 0	¥ 99,000	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 179,000	¥ 0	¥ 179,000	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 35,000	¥ 0	¥ 35,000	新型コロナウイルス感染症のため事業を実施できなかったため
	消耗品費	¥ 50,000	¥ 0	¥ 50,000	同上
	食糧費	¥ 12,500	¥ 0	¥ 12,500	同上
	印刷製本費	¥ 7,500	¥ 0	¥ 7,500	同上
	保険料	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	同上
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計(D)	¥ 110,000	¥ 0	¥ 110,000	
(その他)経費	食糧費	¥ 36,000	¥ 0	¥ 36,000	新型コロナウイルス感染症のため事業を実施できなかったため
	使用料及び賃借料	¥ 6,000	¥ 0	¥ 6,000	同上
	消耗品費	¥ 27,000	¥ 0	¥ 27,000	同上
	その他経費の合計額(E)	¥ 69,000	¥ 0	¥ 69,000	
	合計額(F) = (D+E)	¥ 179,000	¥ 0	¥ 179,000	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 99,000
------------	----------

